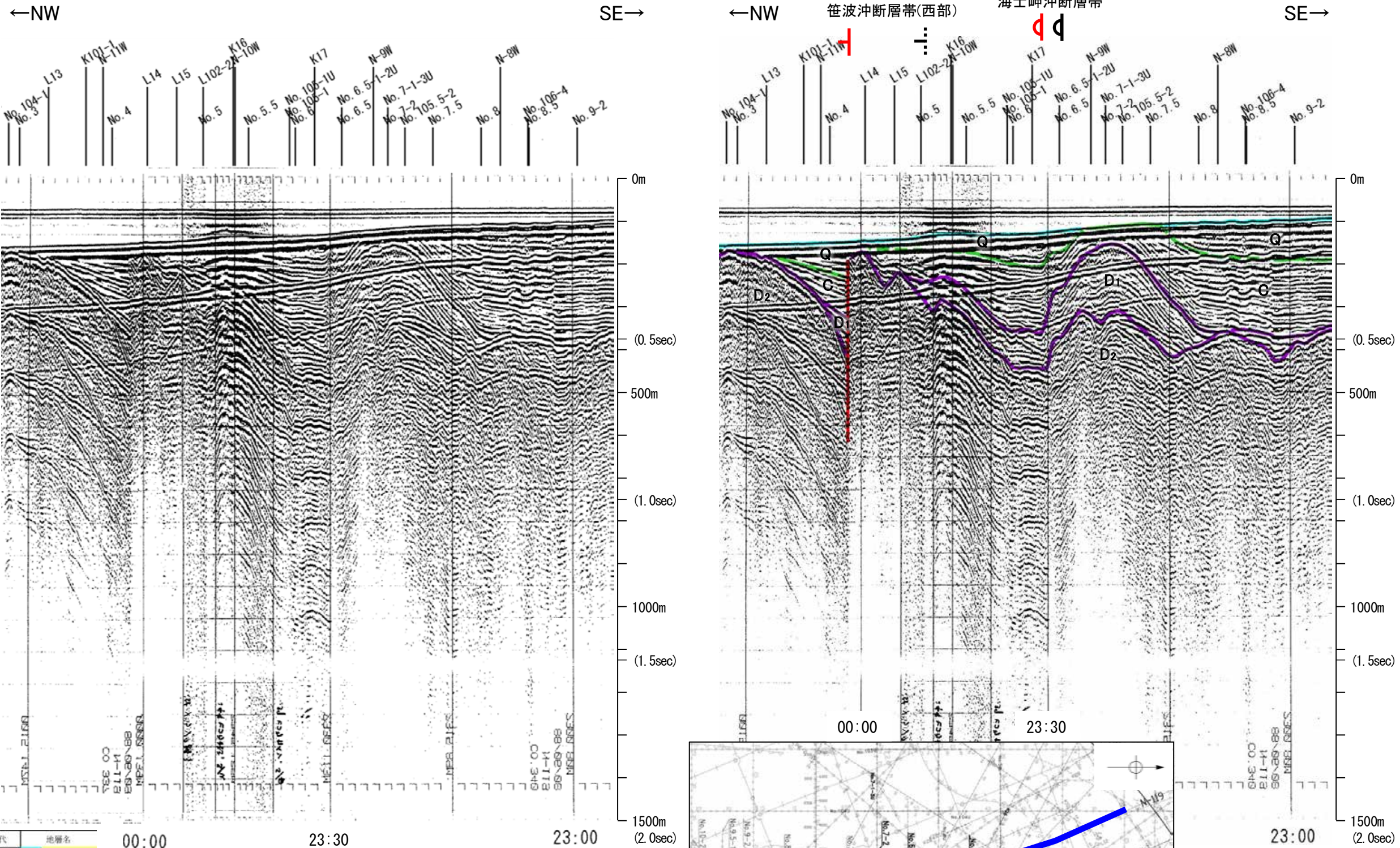
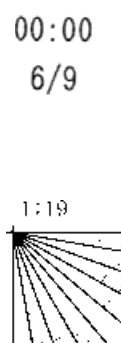


地質調査所エアガン N-119

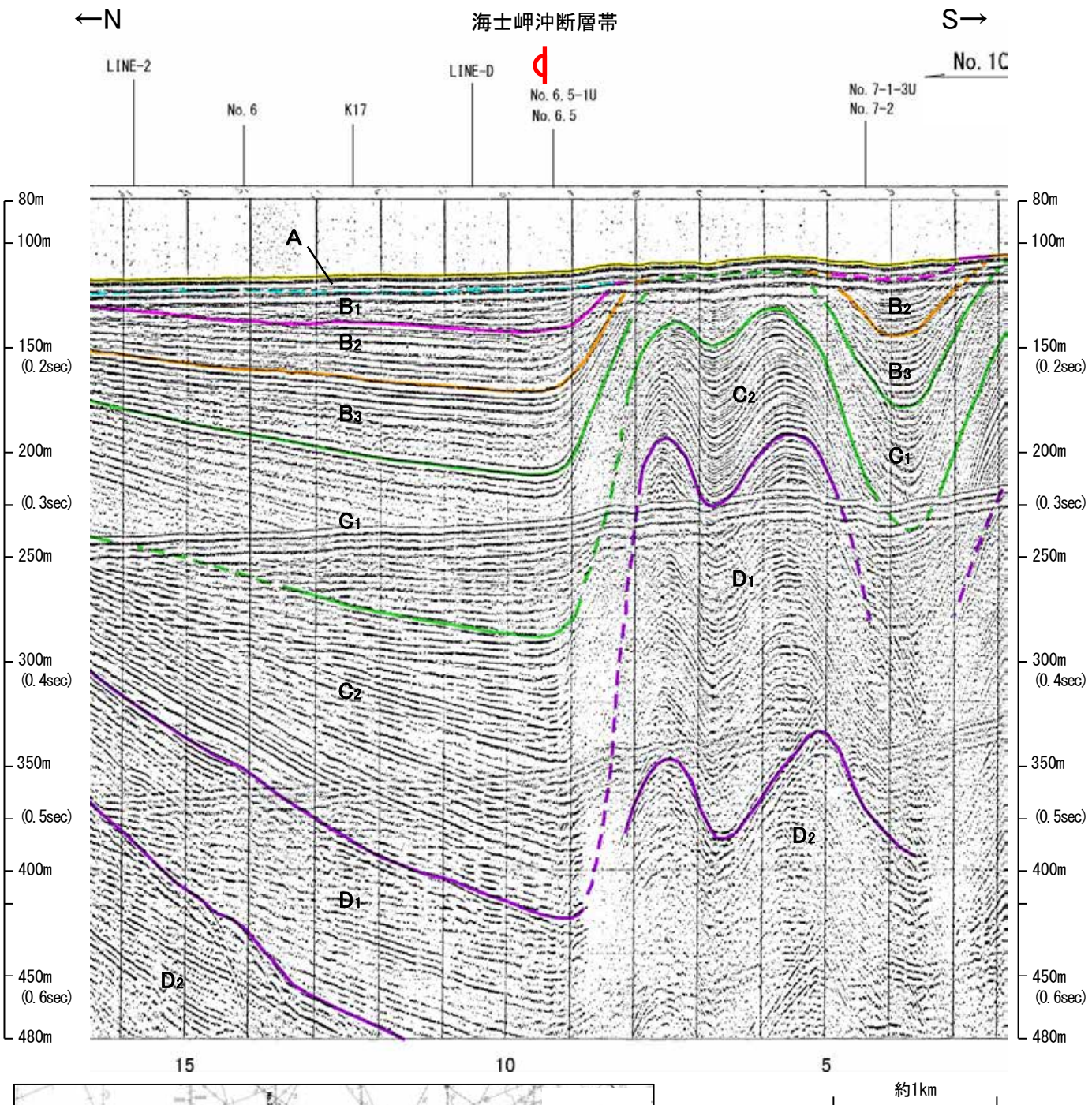
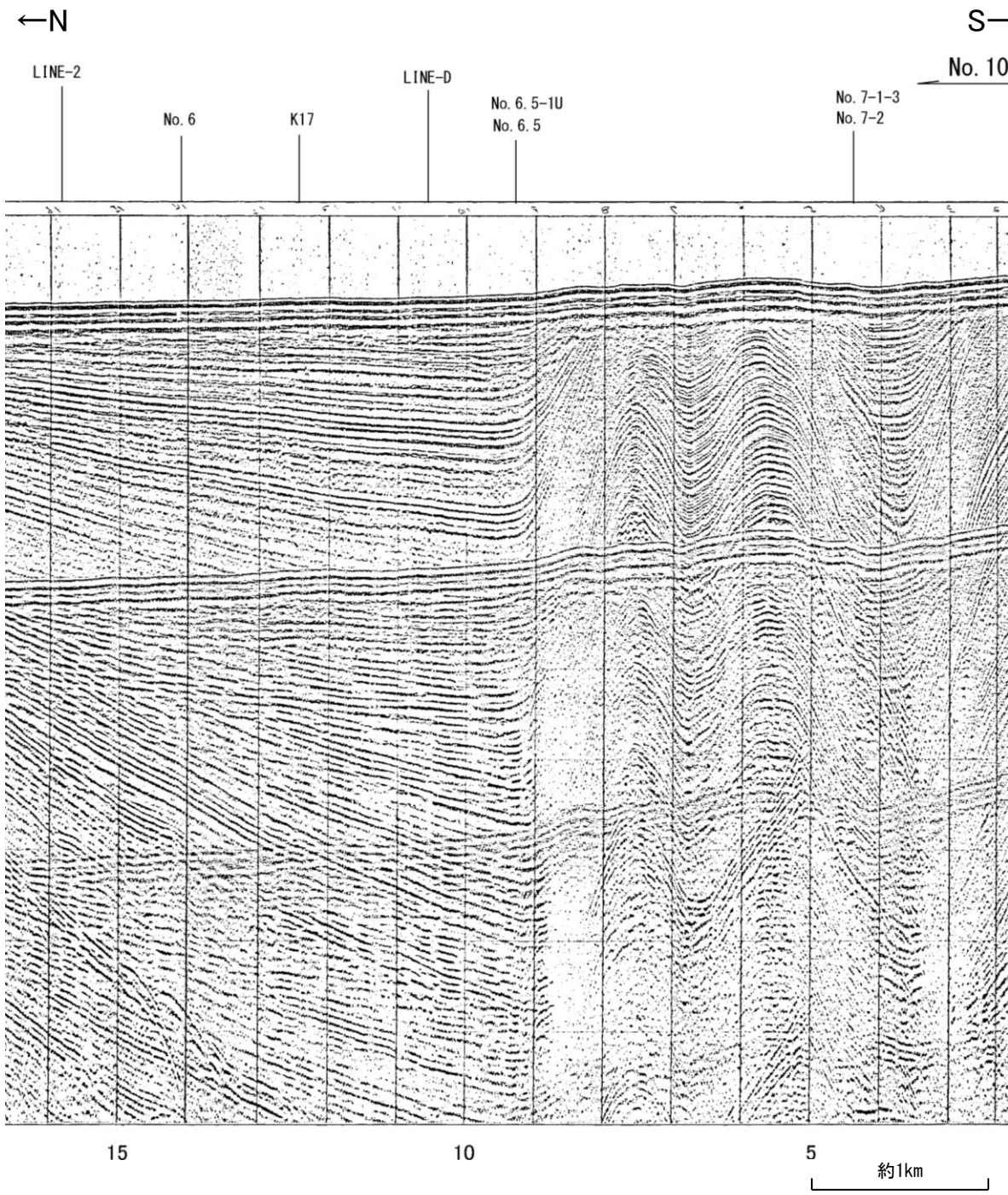


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	

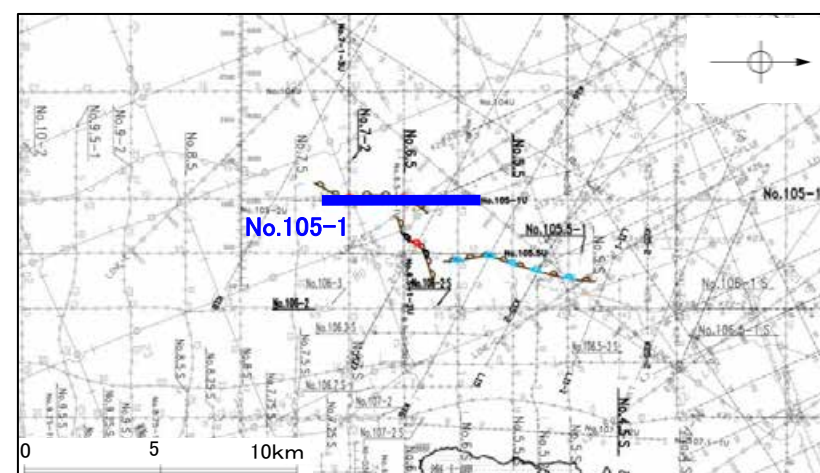
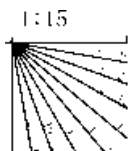


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

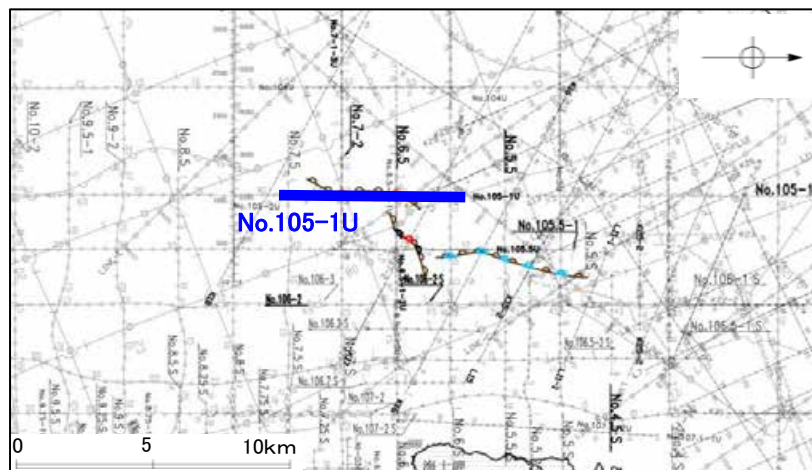
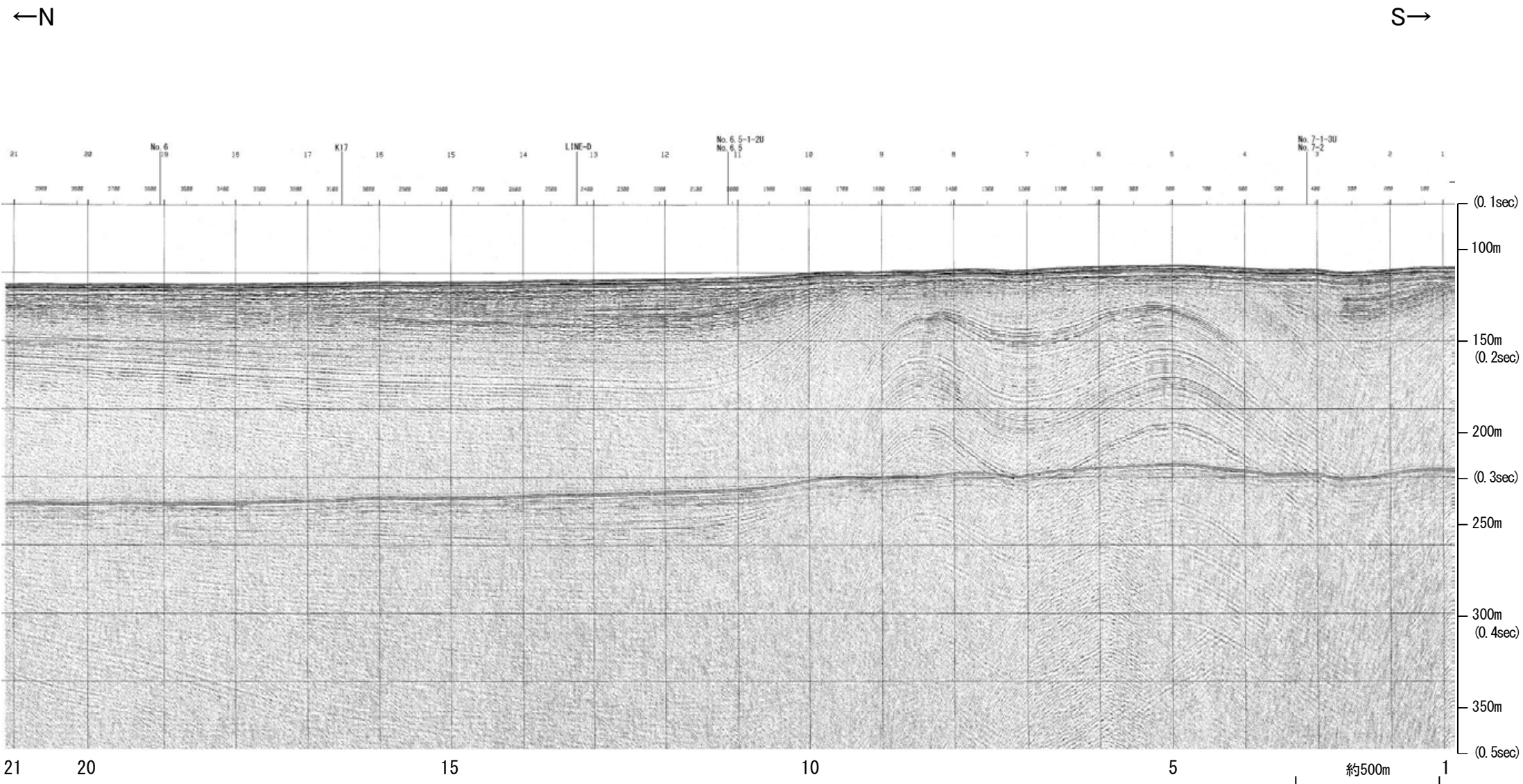
北陸電カスパーカー No.105-1



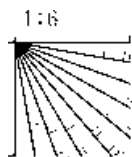
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層	
	中新世	C ₂ 層	
	古第三紀	D ₁ 層	
先第三紀	D ₂ 層		



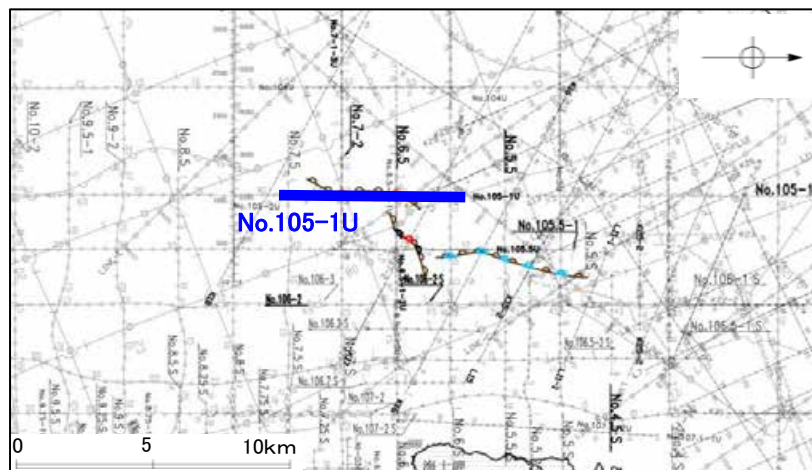
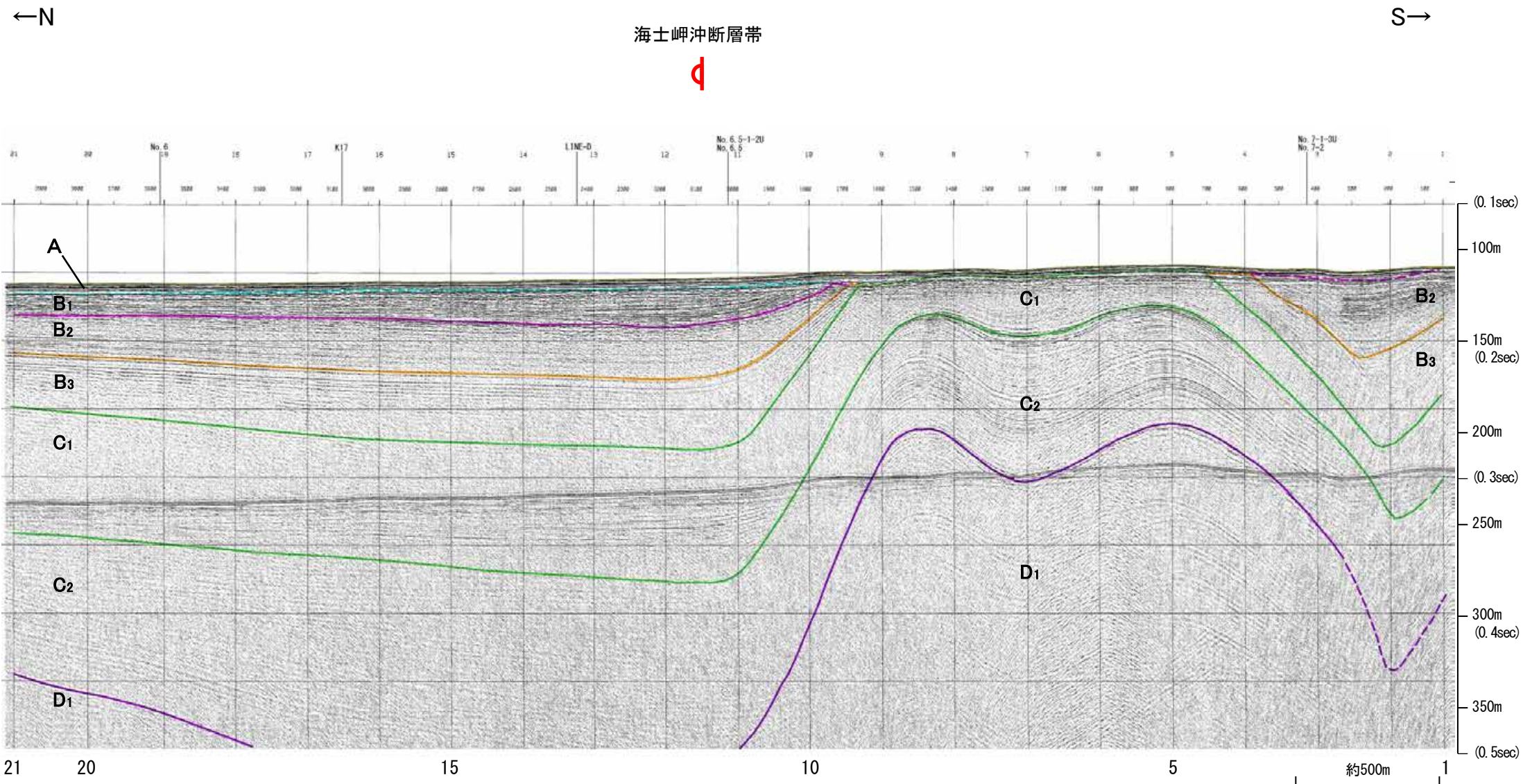
北陸電カブーマー No.105-1U



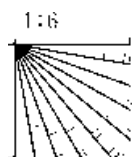
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	C層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀		D層
先第三紀		D層



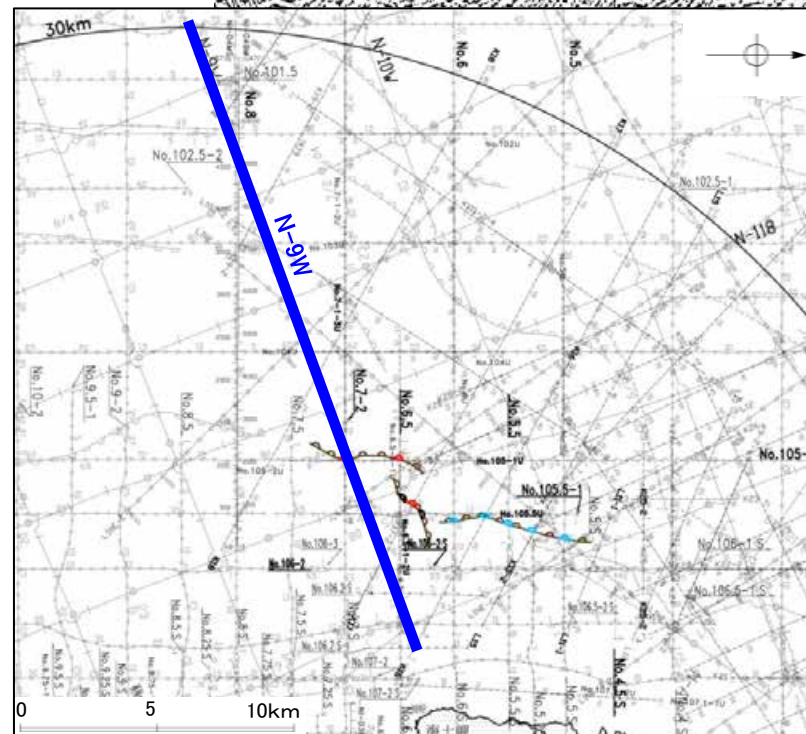
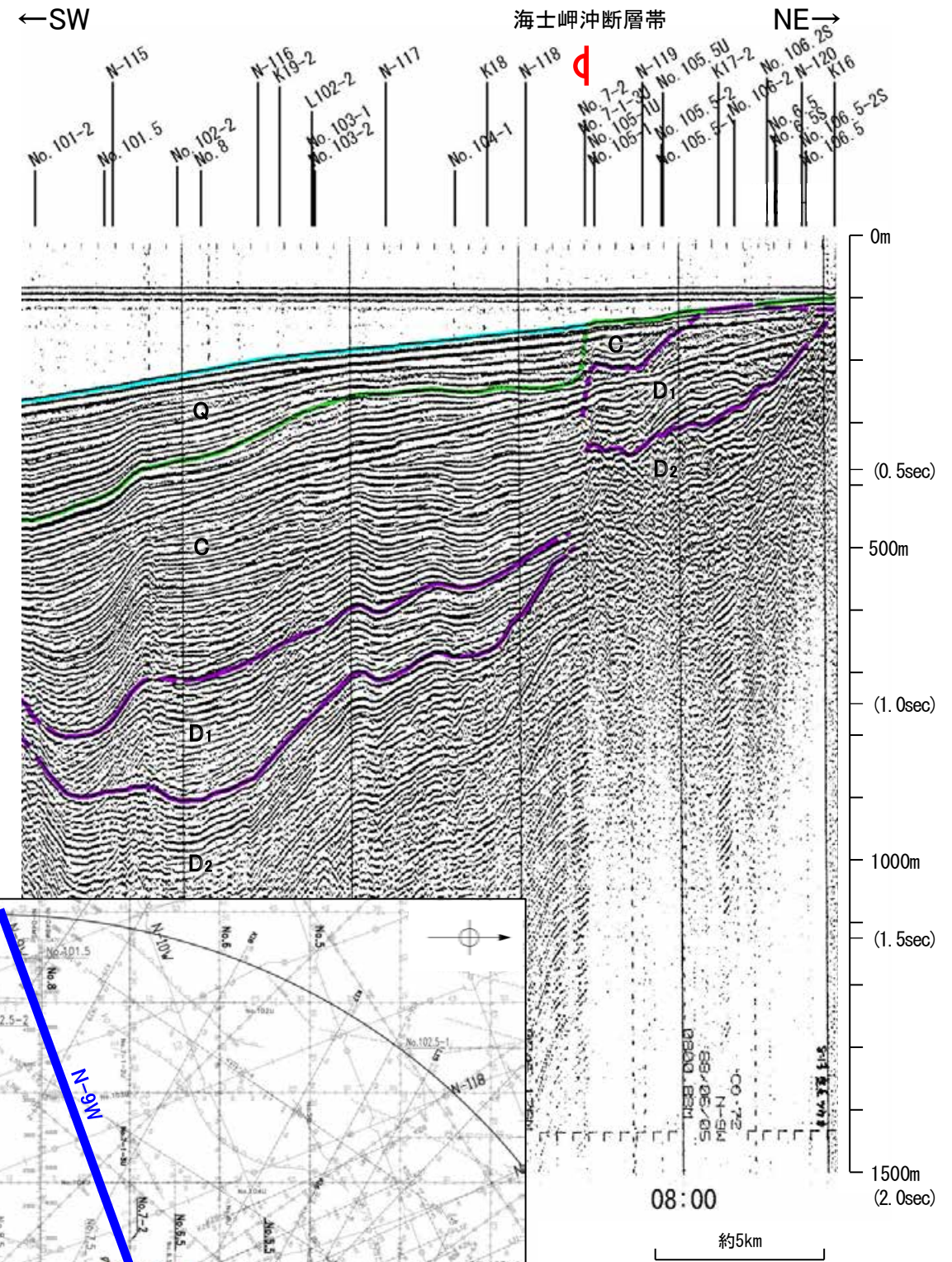
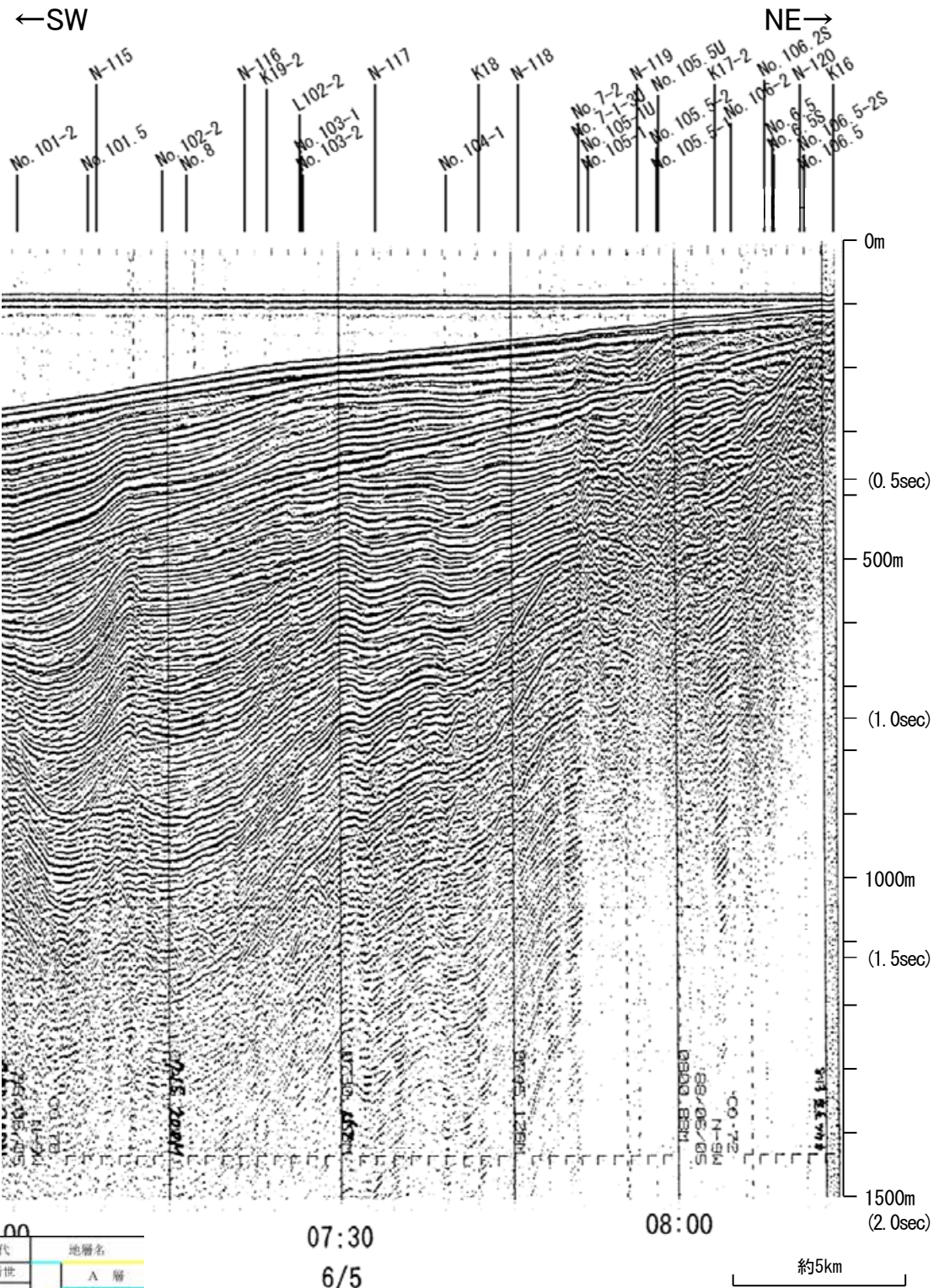
北陸電カブーマー No.105-1U



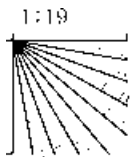
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層
	中新世	C ₂ 層
	古第三紀	D ₁ 層
先第三紀	D ₂ 層	



地質調査所エアガン N-9W



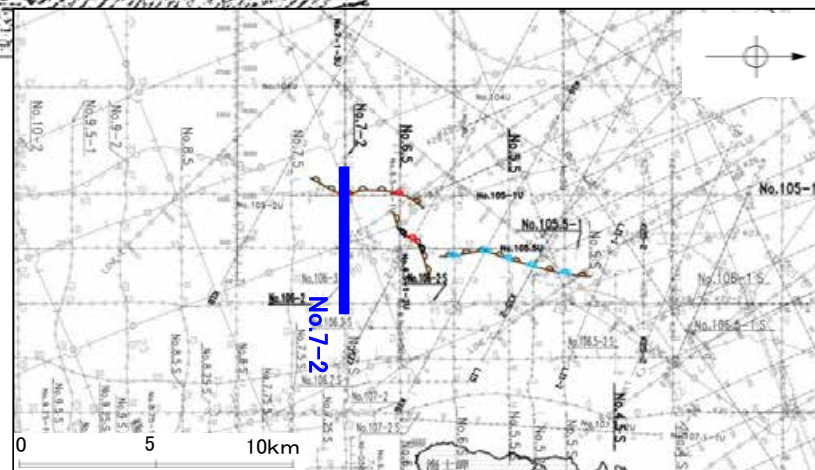
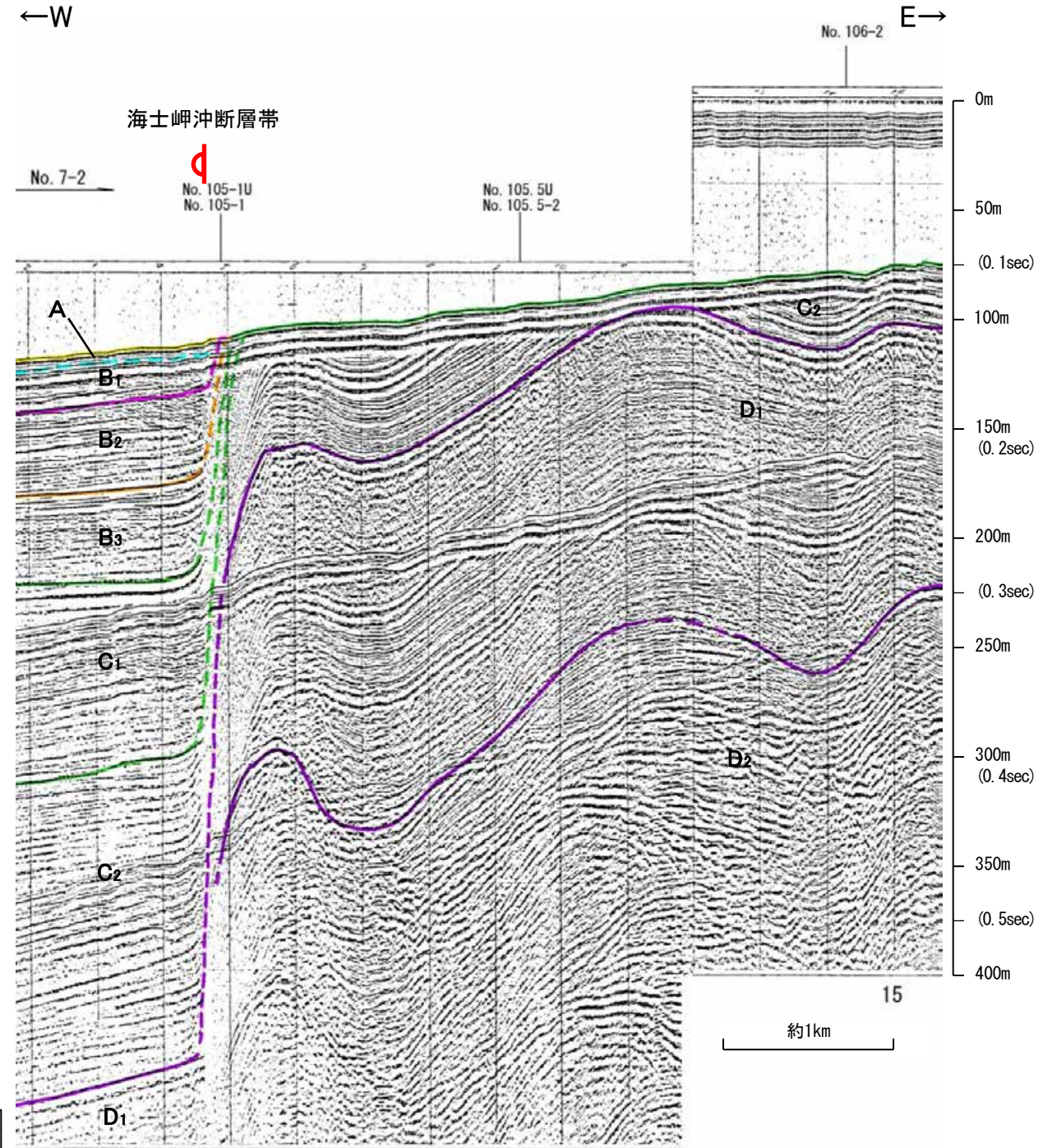
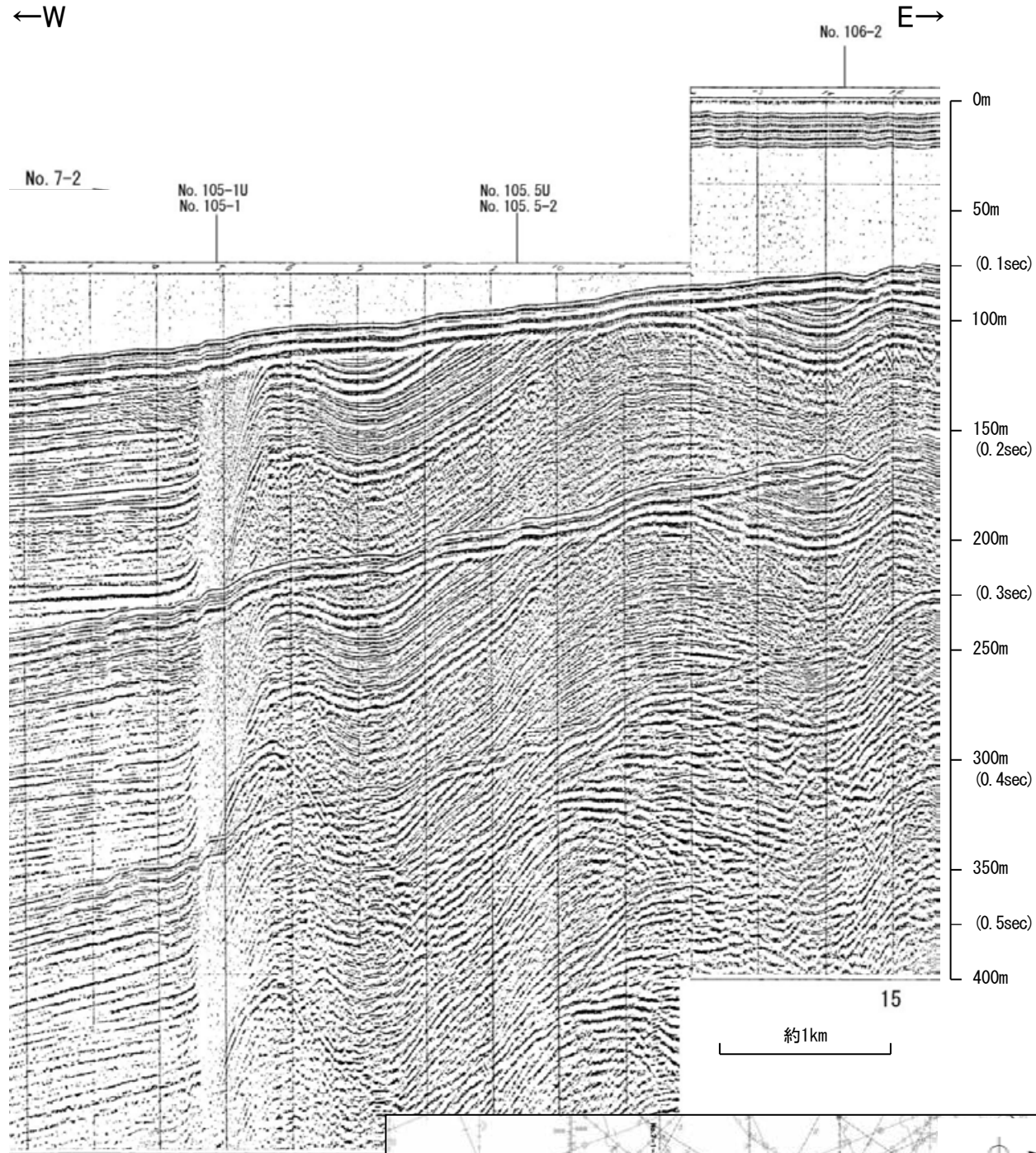
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



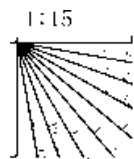
07:30
6/5

・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

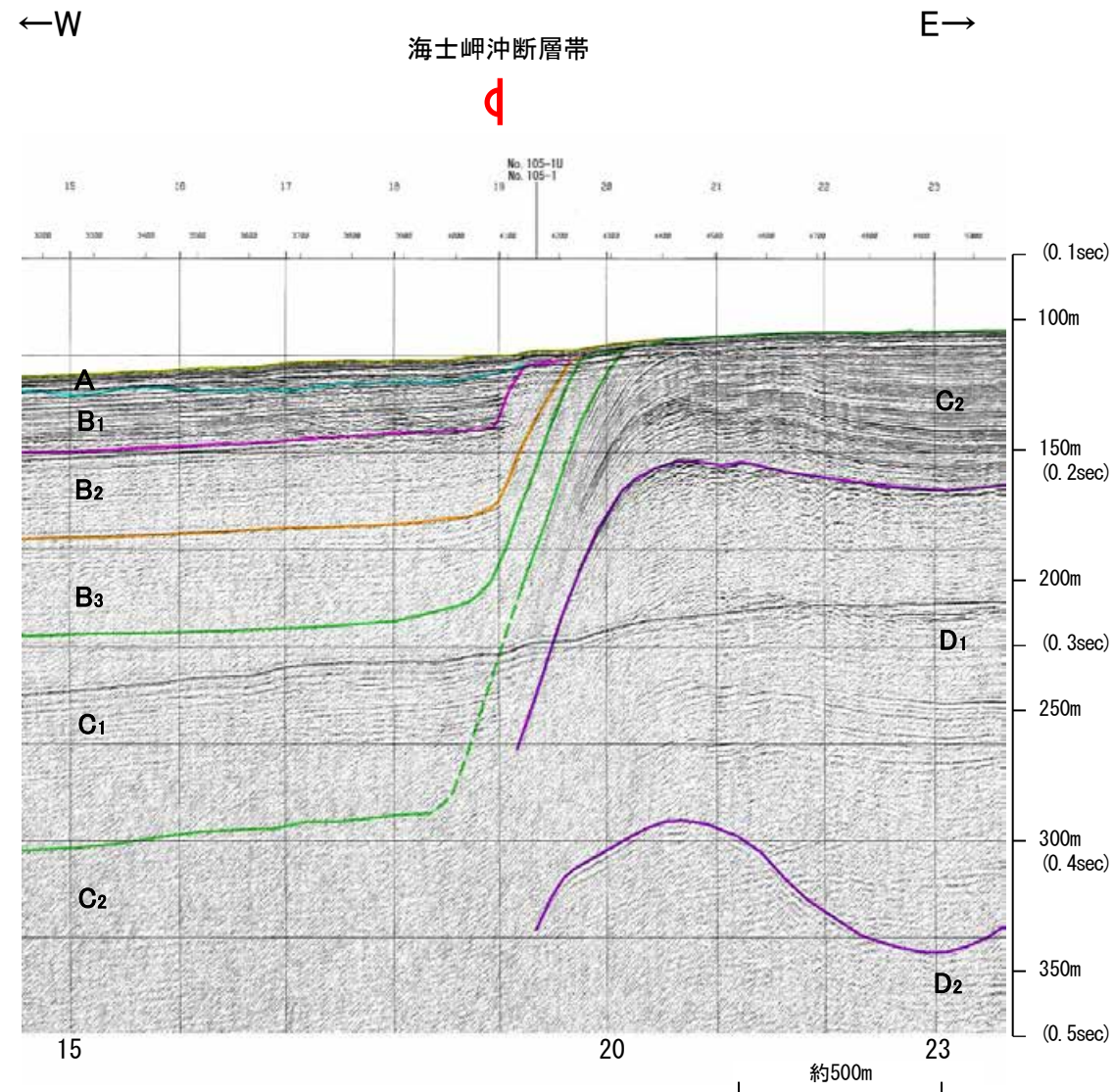
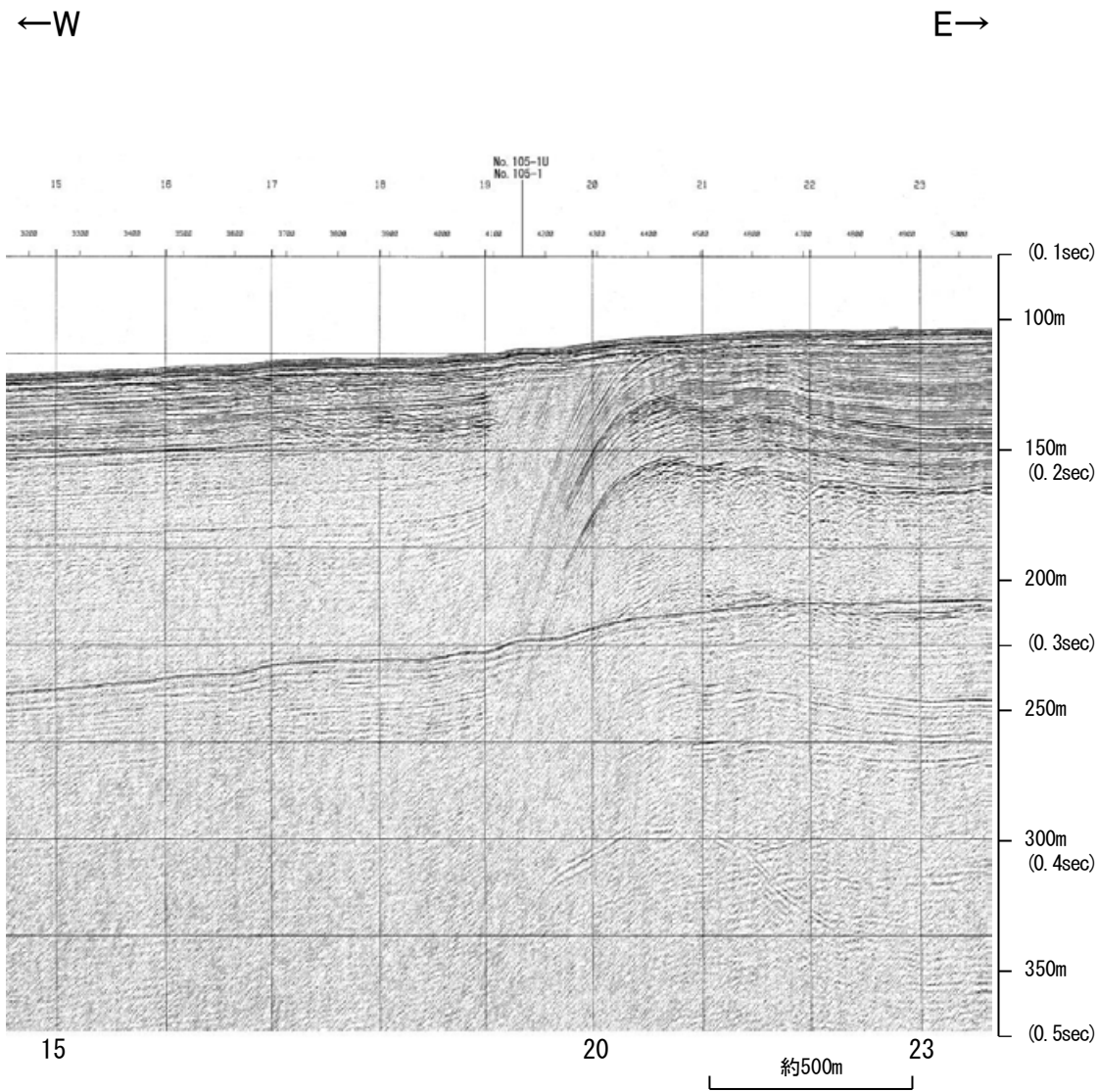
北陸電カスパーカー No.7-2



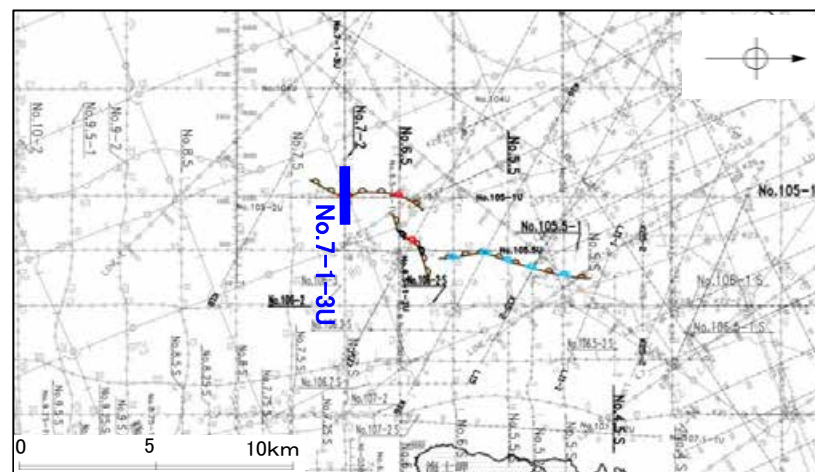
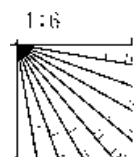
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	D ₁ 層
		B層
	更新世	中期
新第三紀	前期	B ₂ 層
		C ₁ 層
	鮮新世	C ₂ 層
古第三紀	中新世	D ₂ 層
	D層	
先第三紀	D層	



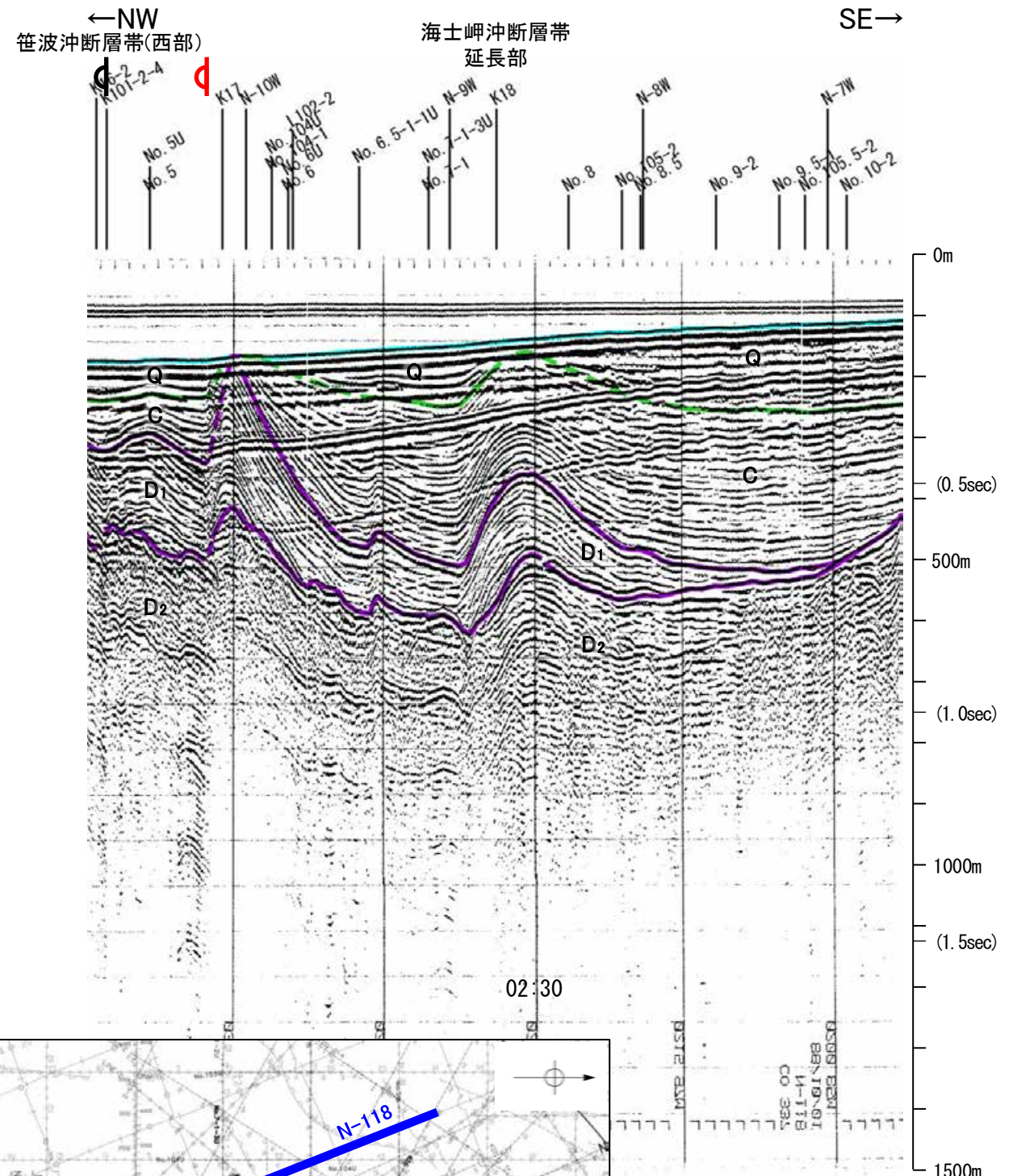
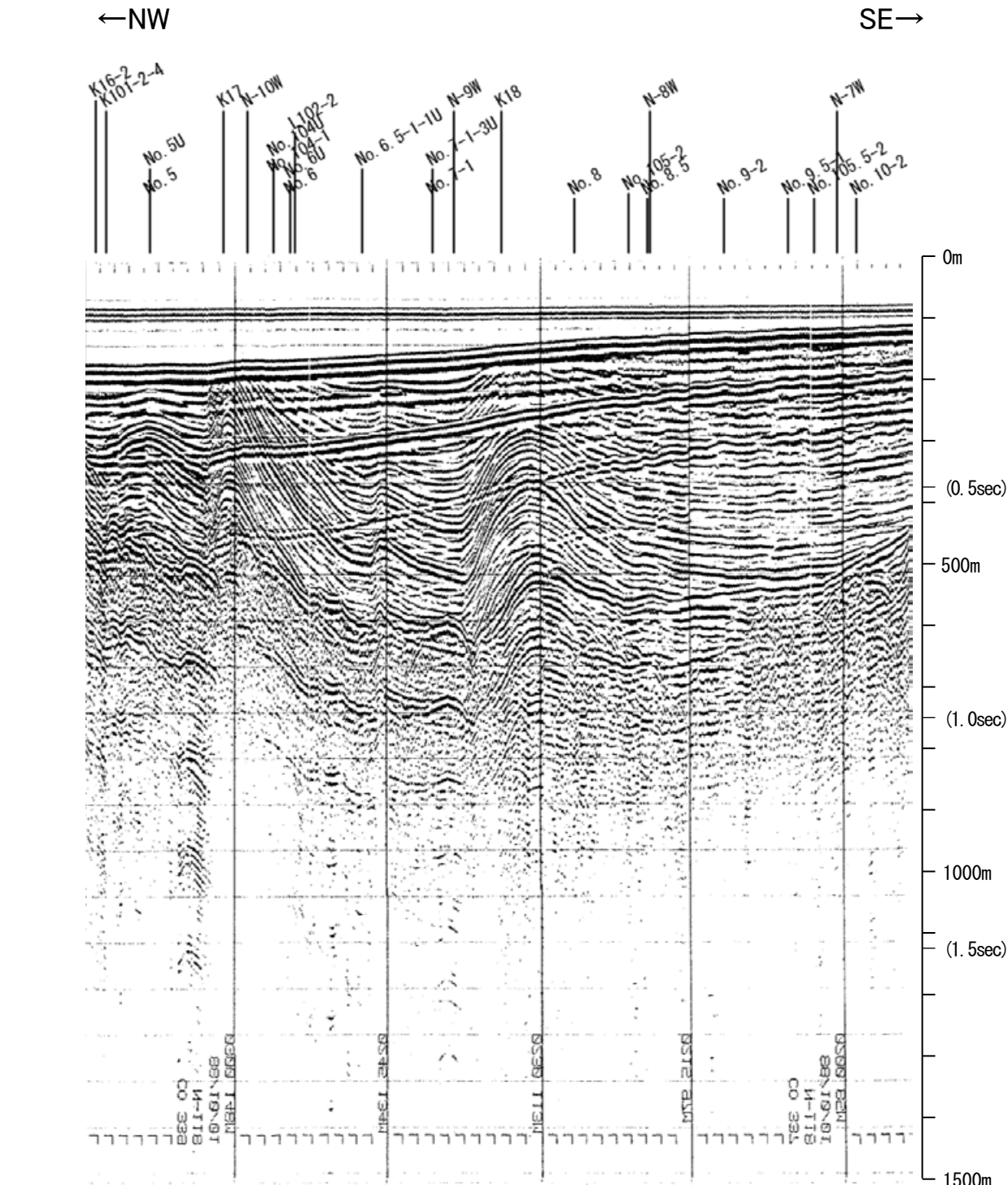
北陸電カブーマー No.7-1-3U



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層 B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
第三紀	鮮新世	C ₂ 層
	中新世	D ₁ 層
古第三紀		D ₂ 層
先第三紀		D ₂ 層

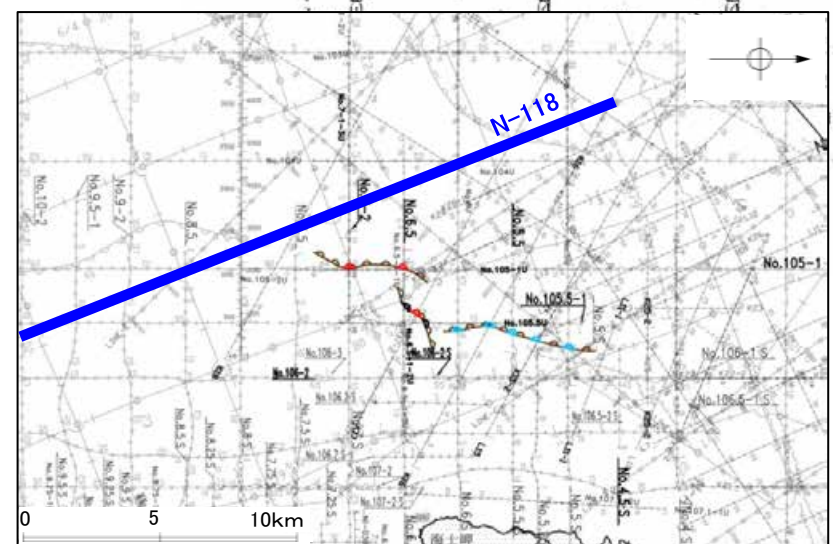


地質調査所エアガン N-118



地質時代	地層名	3:00	02:30	02:00
第四紀	完新世	A層		
	後期	B層		
	更新世	Q層		
	中期	B層		
第三紀	前期	B層		
	中期	C層		
古第三紀	鮮新世	C層		
	中新世	D層		
先第三紀		D層		
		D層		

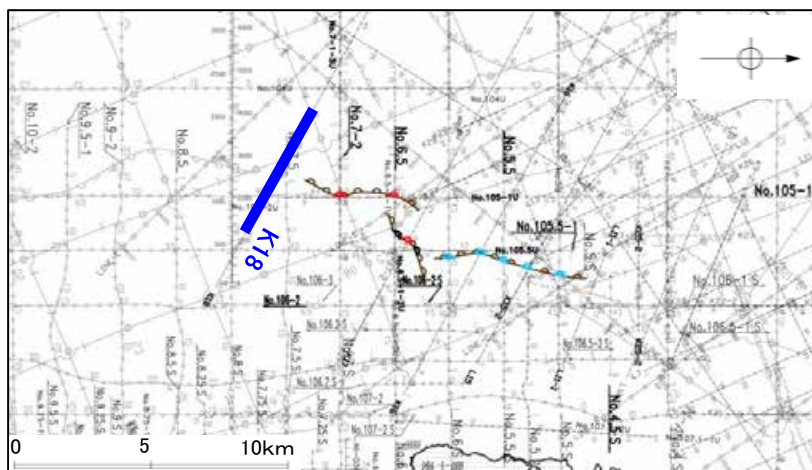
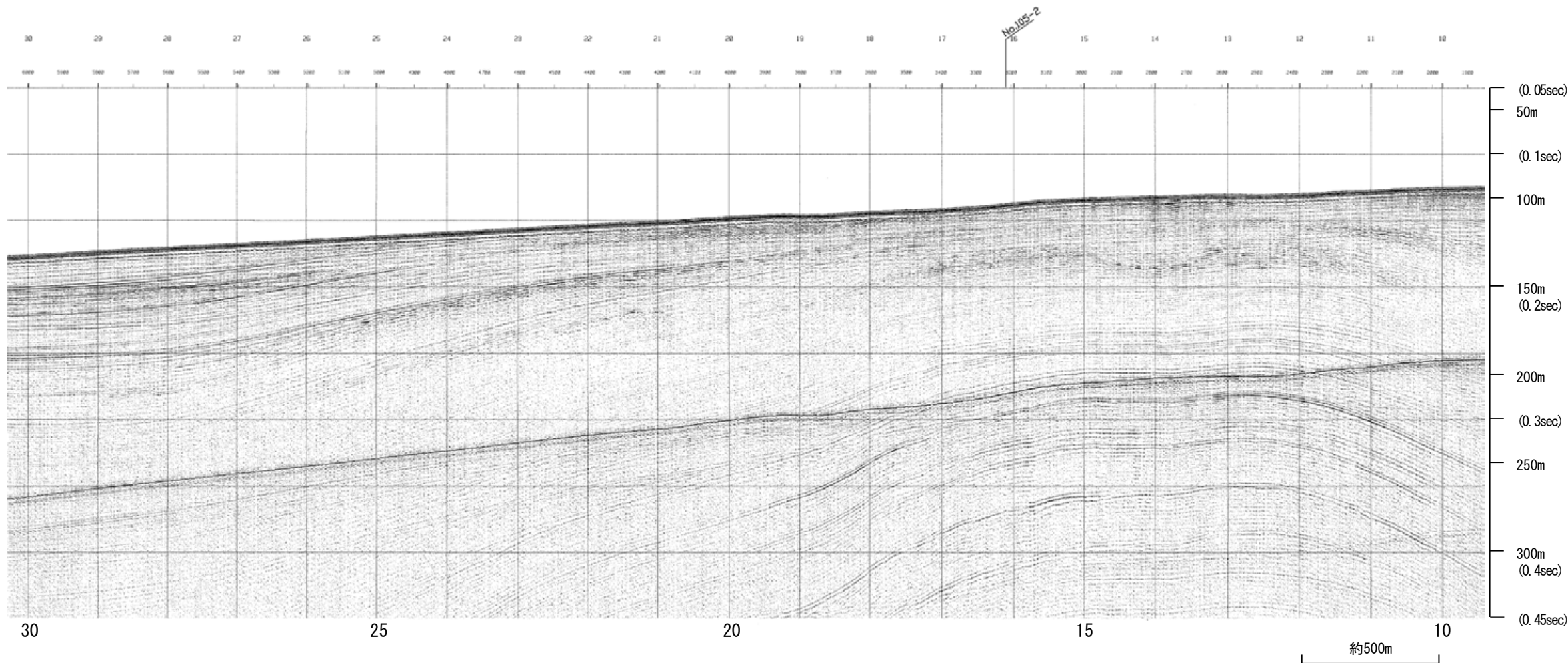
この図面は、地質調査所(現産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



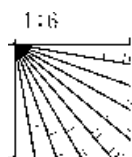
地震研ブーマー K18

←NW

SE→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	C層
	鮮新世	D ₁ 層
第三紀	中新世	D ₂ 層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

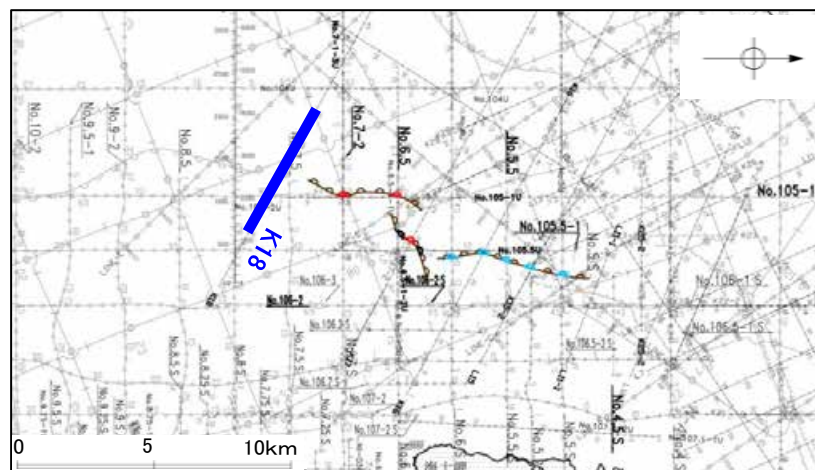
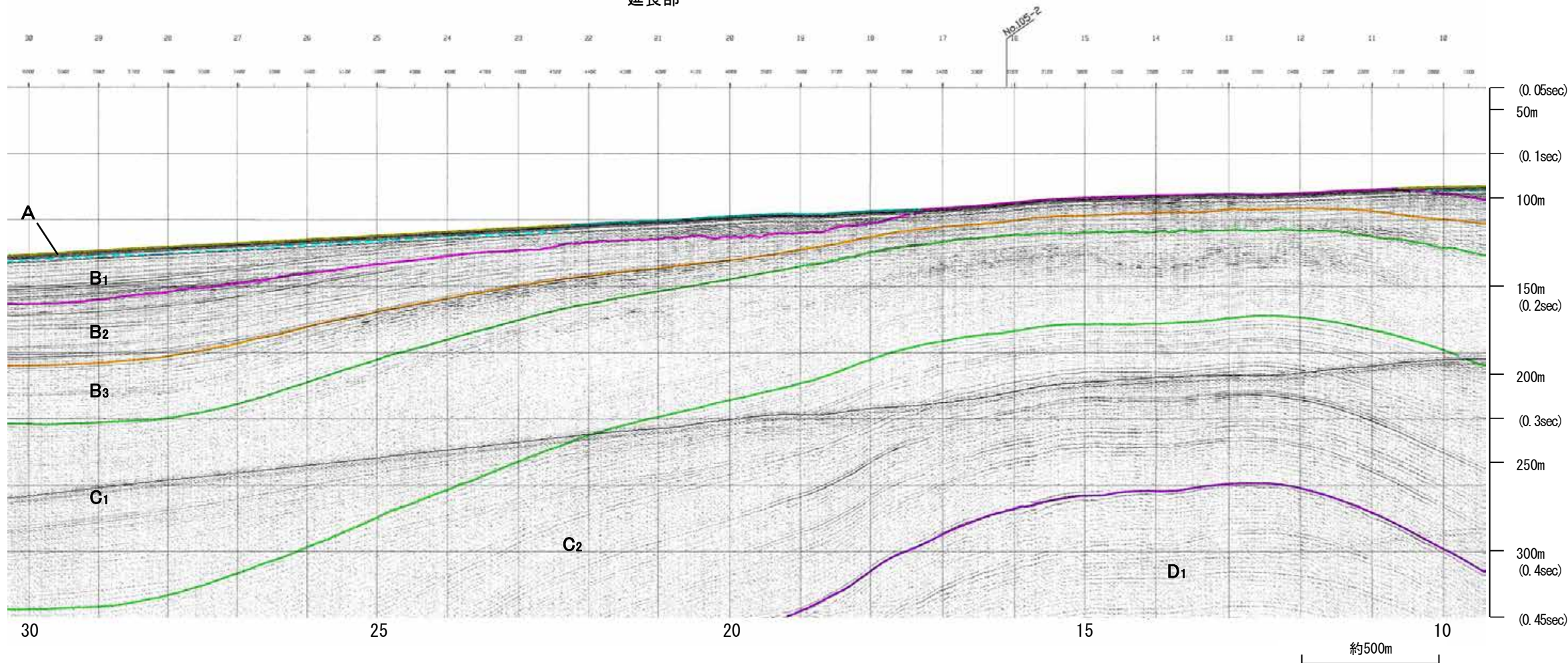


地震研ブーマー K18

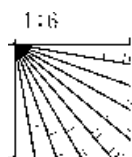
←NW

SE→

海士岬沖断層帯
延長部

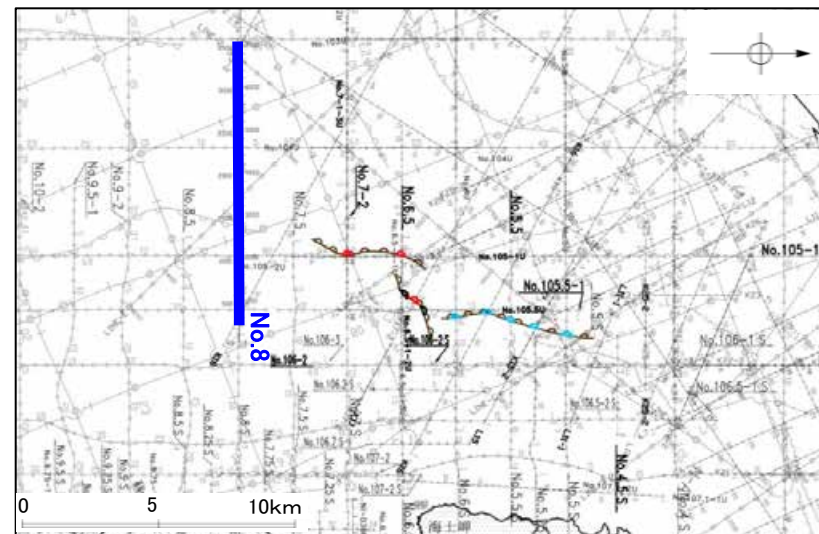
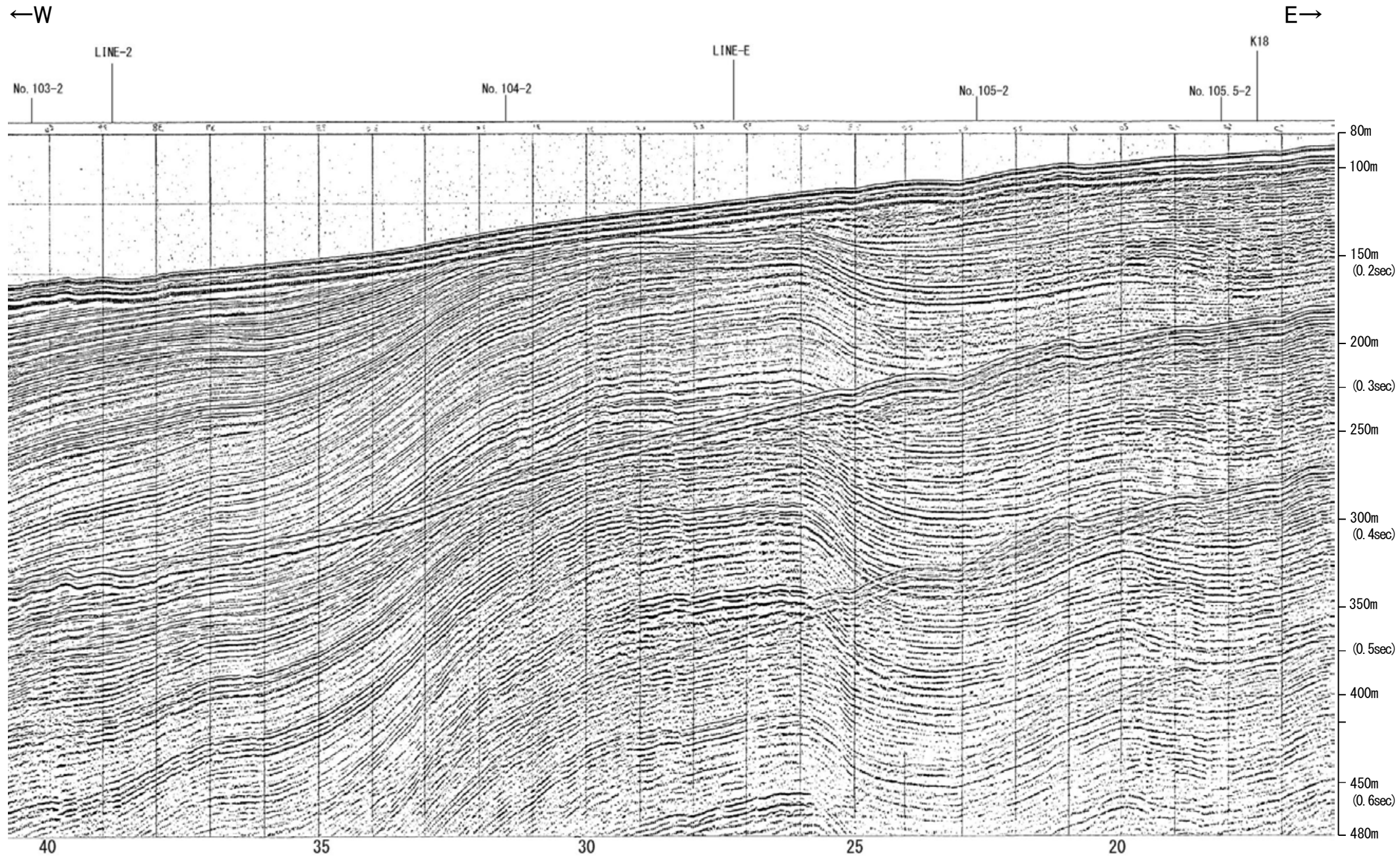


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	更新世	後期 B層
		中期 B ₁ 層
		中期 B ₂ 層
	更新世	前期 C ₁ 層
第三紀	鮮新世 C ₂ 層	
	中新世 D ₁ 層	
	中新世 D ₂ 層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

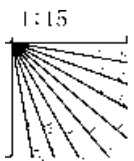


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

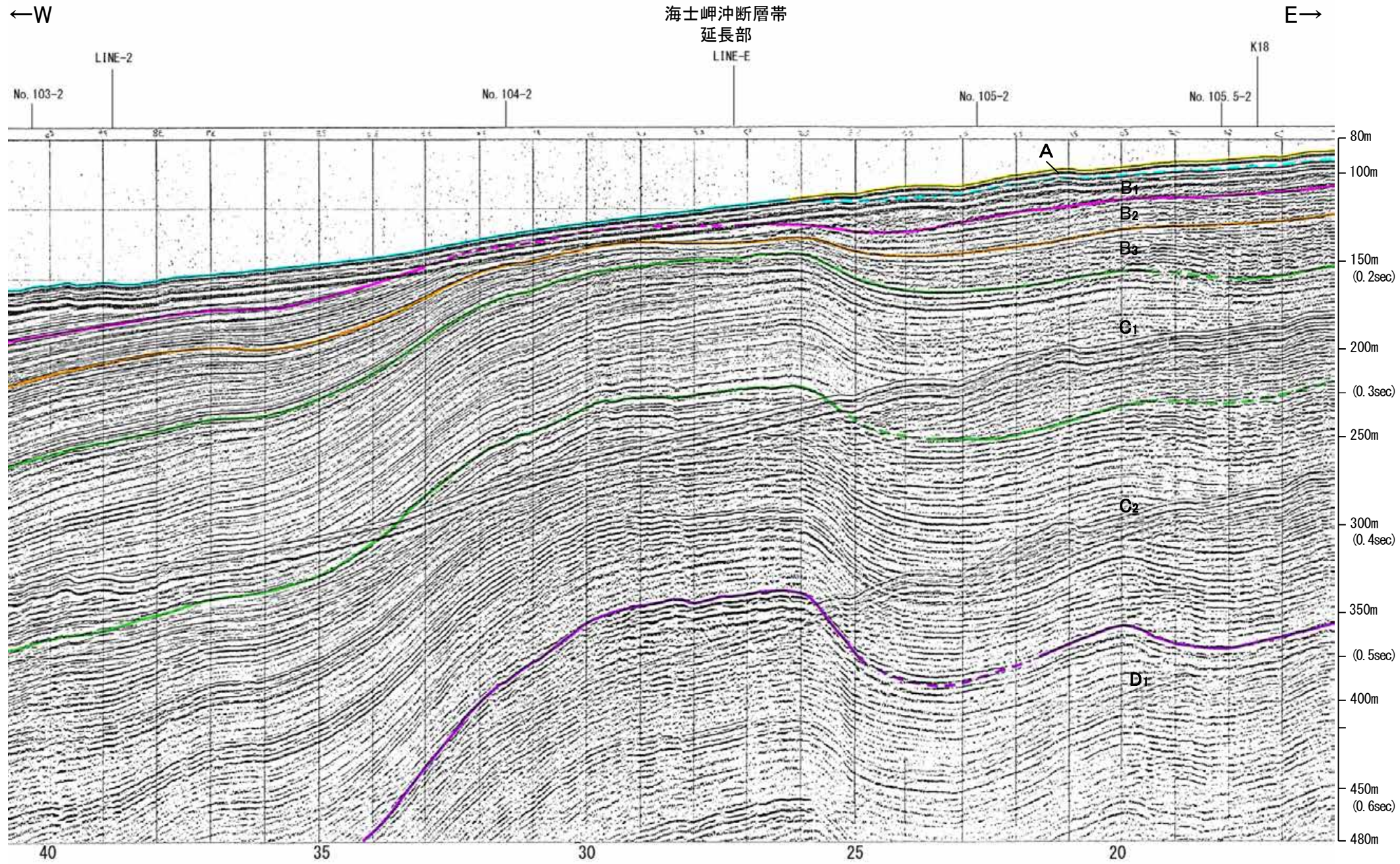
北陸電カスパーカー No.8



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
	鮮新世	前期	C層
中新世		D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	

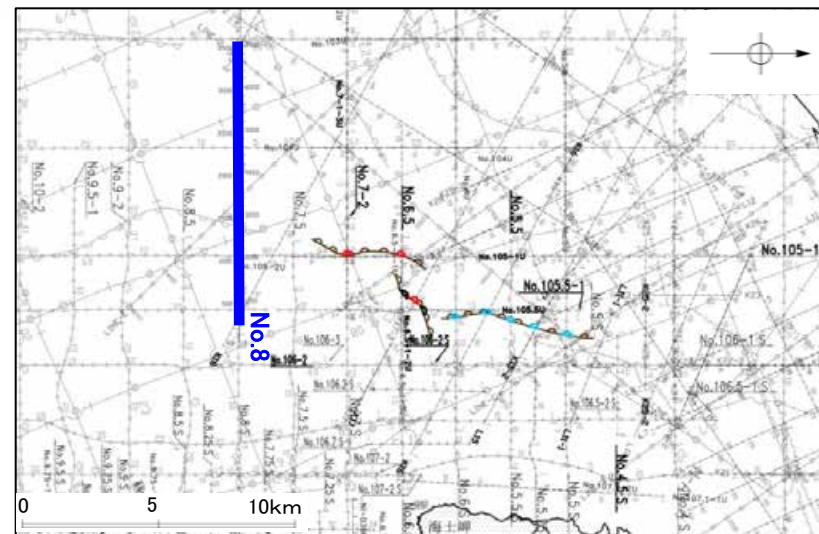
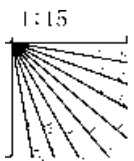


北陸電カスパーカー No.8



約1km

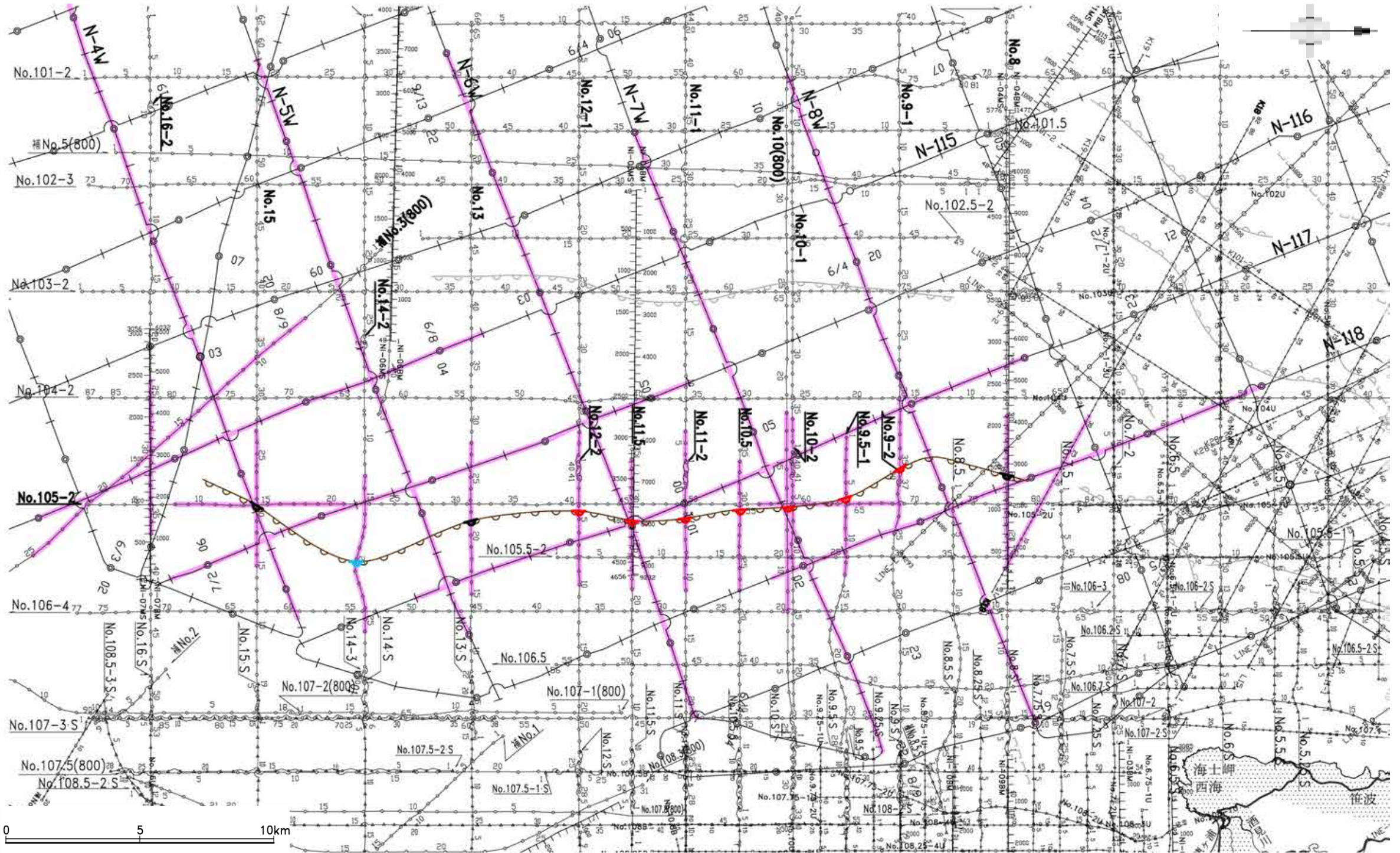
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	中期	B ₁ 層
		B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
第三紀	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D層
先第三紀		D層



余白

羽咋沖東撓曲

音波探査記録 添付測線(羽咋沖東撓曲)



凡 例

- 断層 (伏在断層)
- 断層
- 伏在断層 } 連続性のない断層
- 撓曲

- No. 8 調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
- No. 9.S 調査測線 (北陸電力: スパークー・シングルチャンネル・約360ジュール)
- No. 8U 調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)
- No. 11B 調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)
- LINE-A 調査測線 (東京大学地震研究所: エアガン・マルチチャンネル)

- K17 調査測線 (東京大学地震研究所: プーマー・マルチチャンネル)
- L5 調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)
- N1-06BM 調査測線 (原子力安全保安院: プーマー・マルチチャンネル)
- N1-06MS 調査測線 (原子力安全保安院: ウォーターガン・マルチチャンネル)
- N-118 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)

(測線位置における活動性)

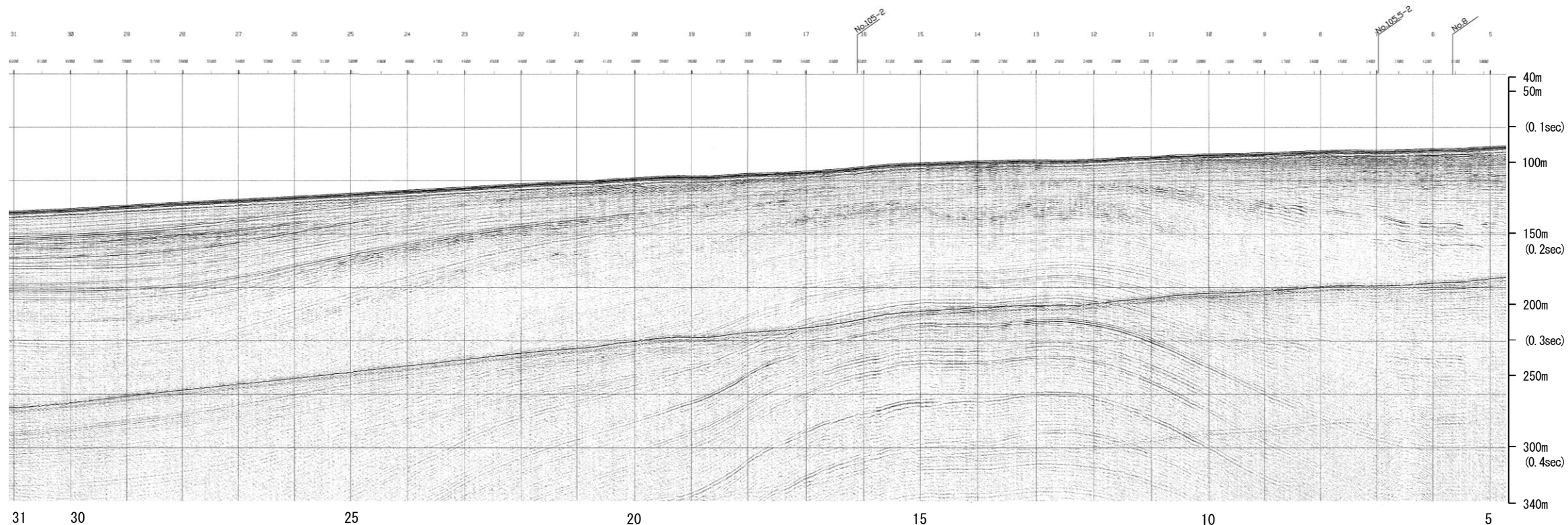
- B₁層以上に変位, 変形が認められる
- B₁層以上に変位, 変形の可能性が否定できない
- B₁層以上に変位, 変形が認められない

添付した音波探査記録

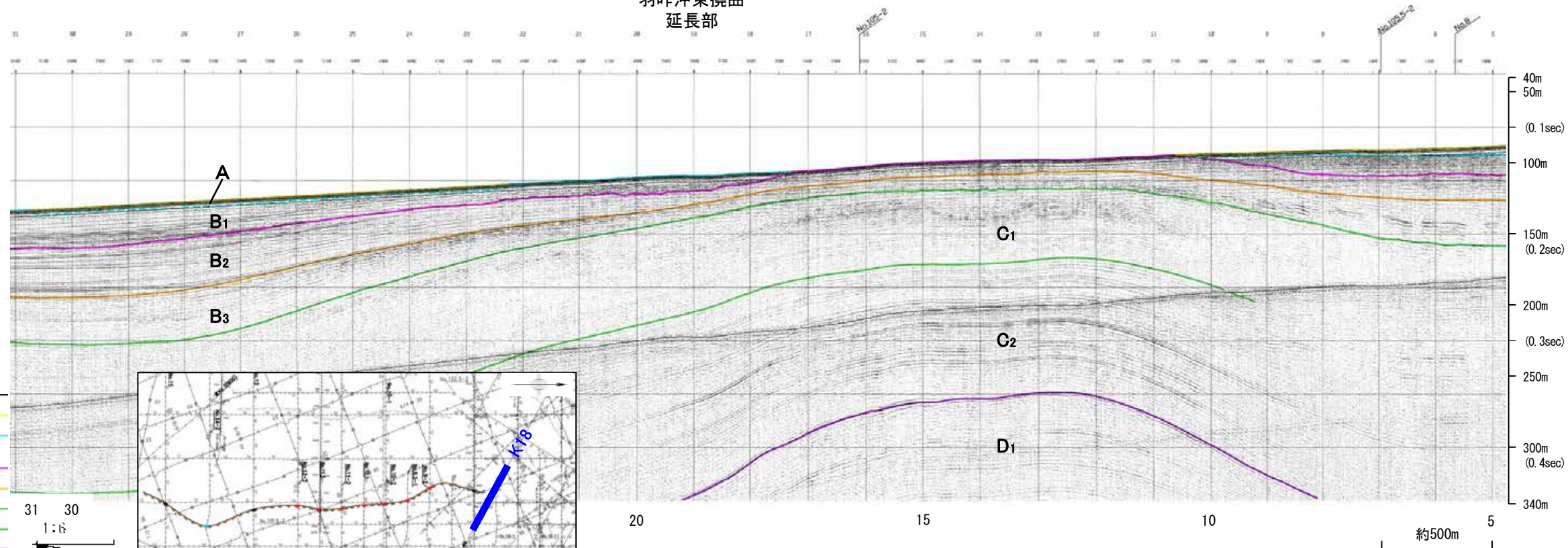
地震研ブーマー K18

←NW

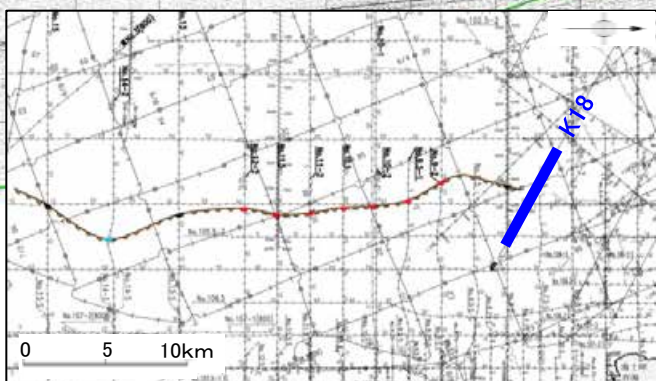
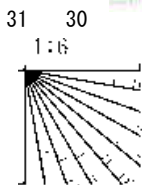
SE→



羽咋沖東撓曲
延長部

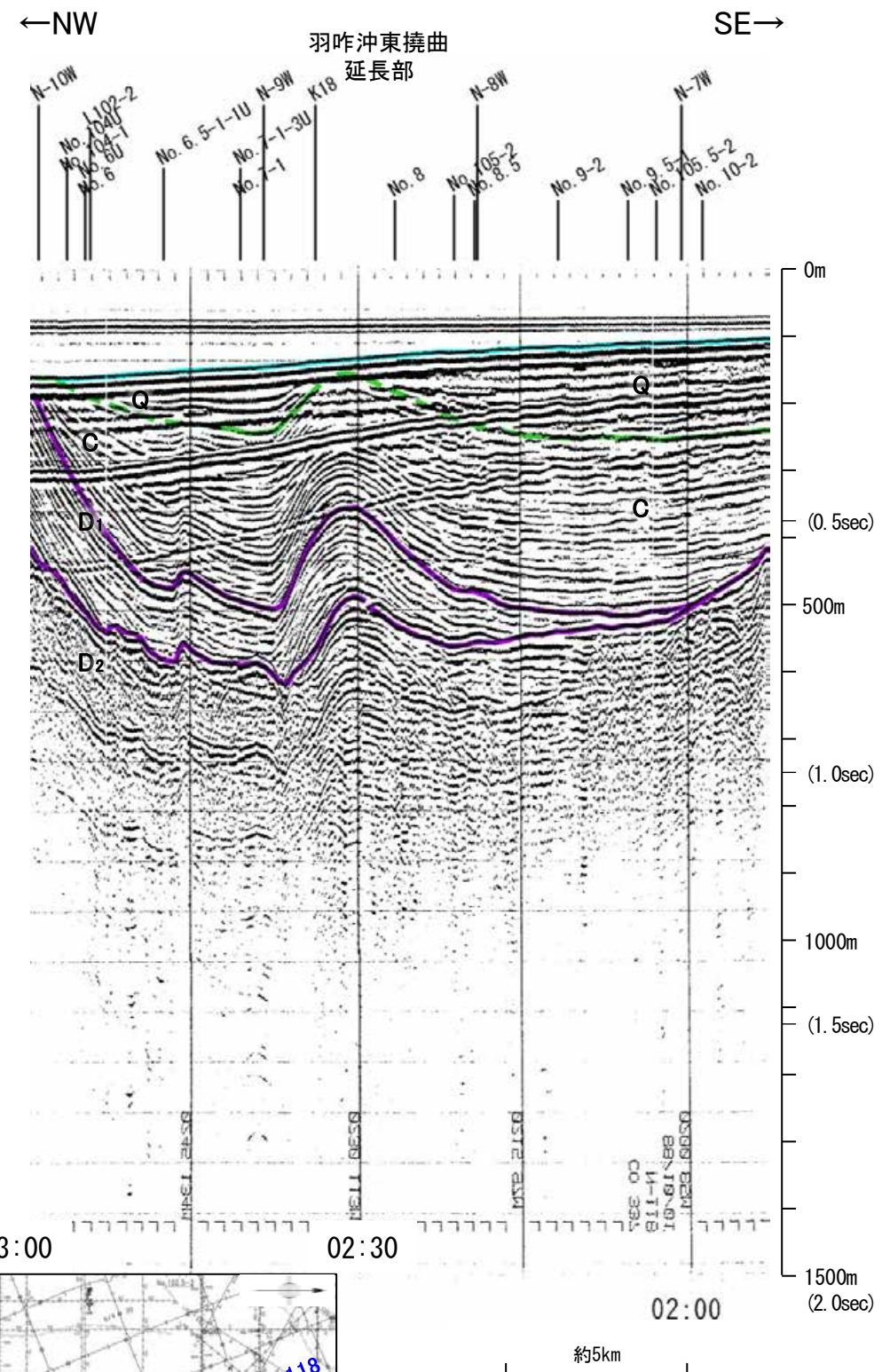
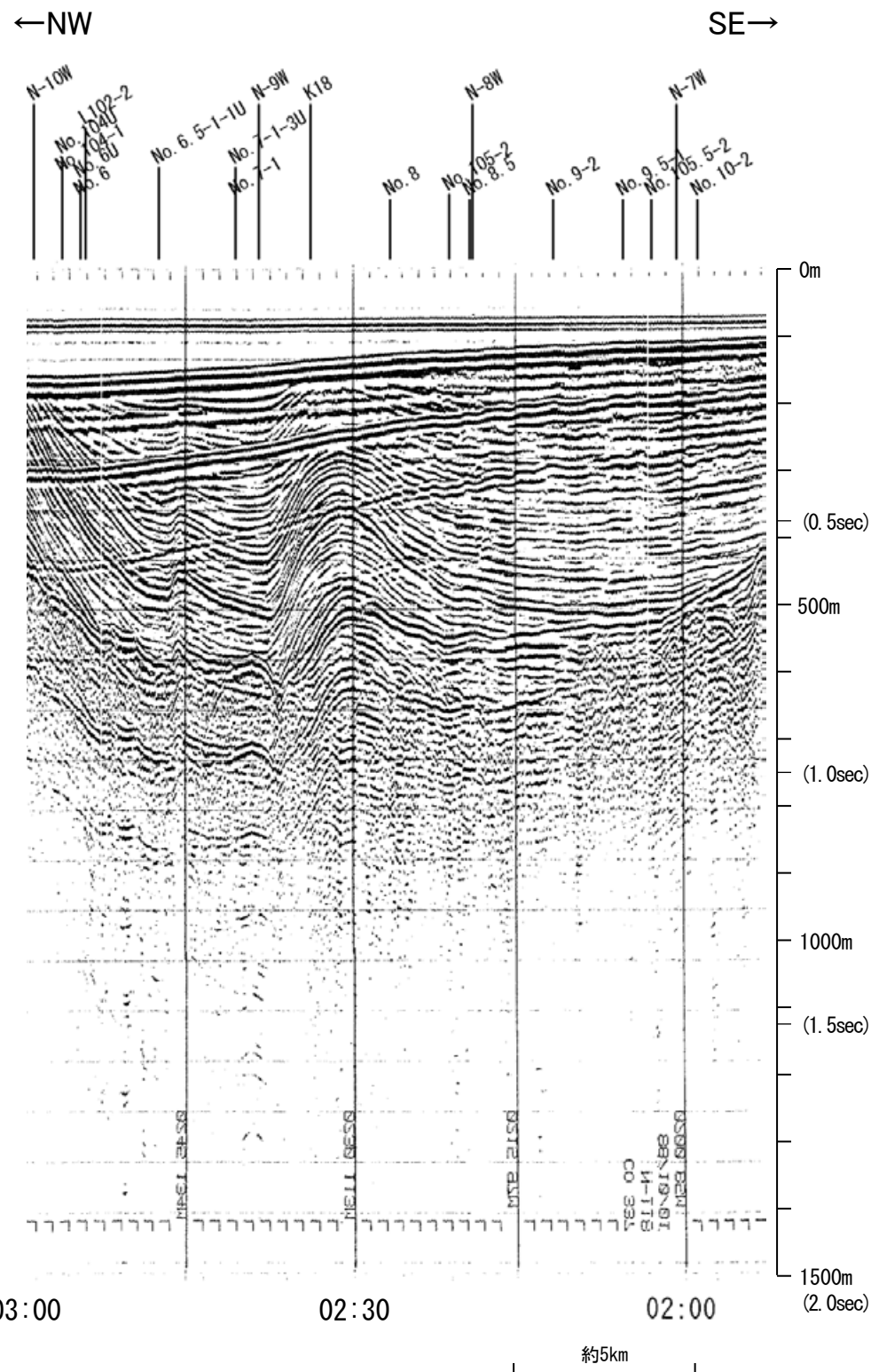


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	更新世	後期 B ₁ 層
		中期 B ₂ 層
		前期 B ₃ 層
	鮮新世	C ₁ 層
C ₂ 層		
中新世	D ₁ 層	
	D ₂ 層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

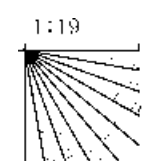


※この図面は東京大学地震研究所の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

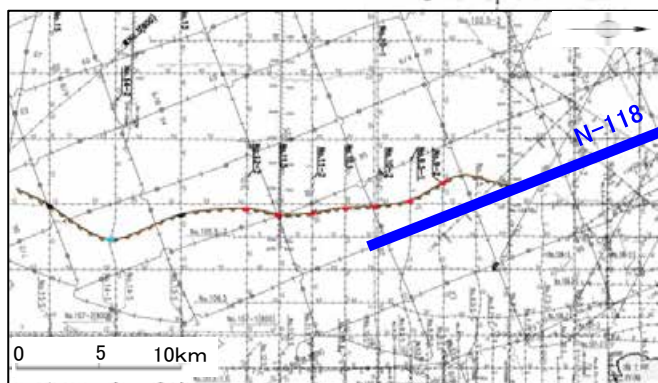
地質調査所エアガン N-118



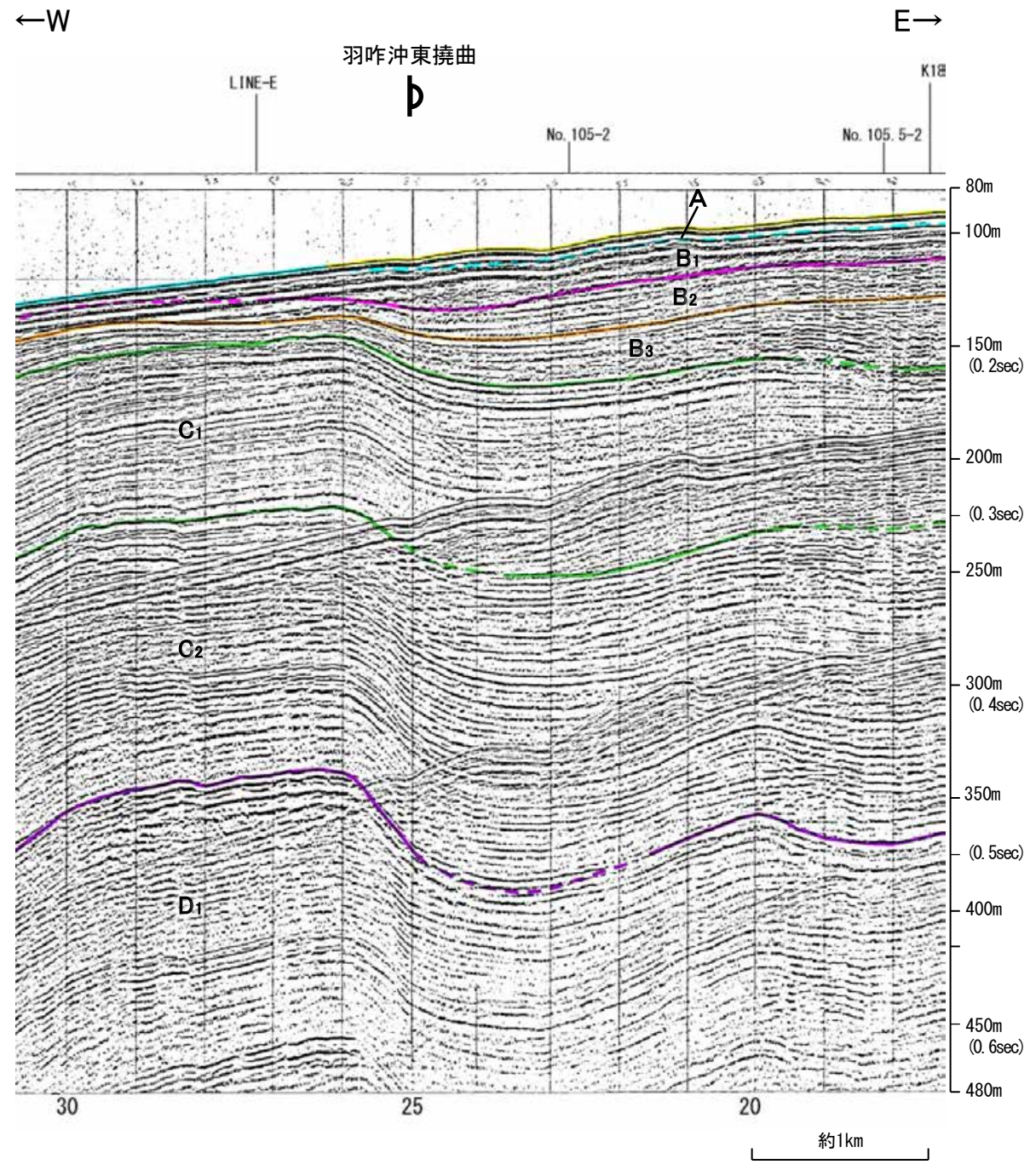
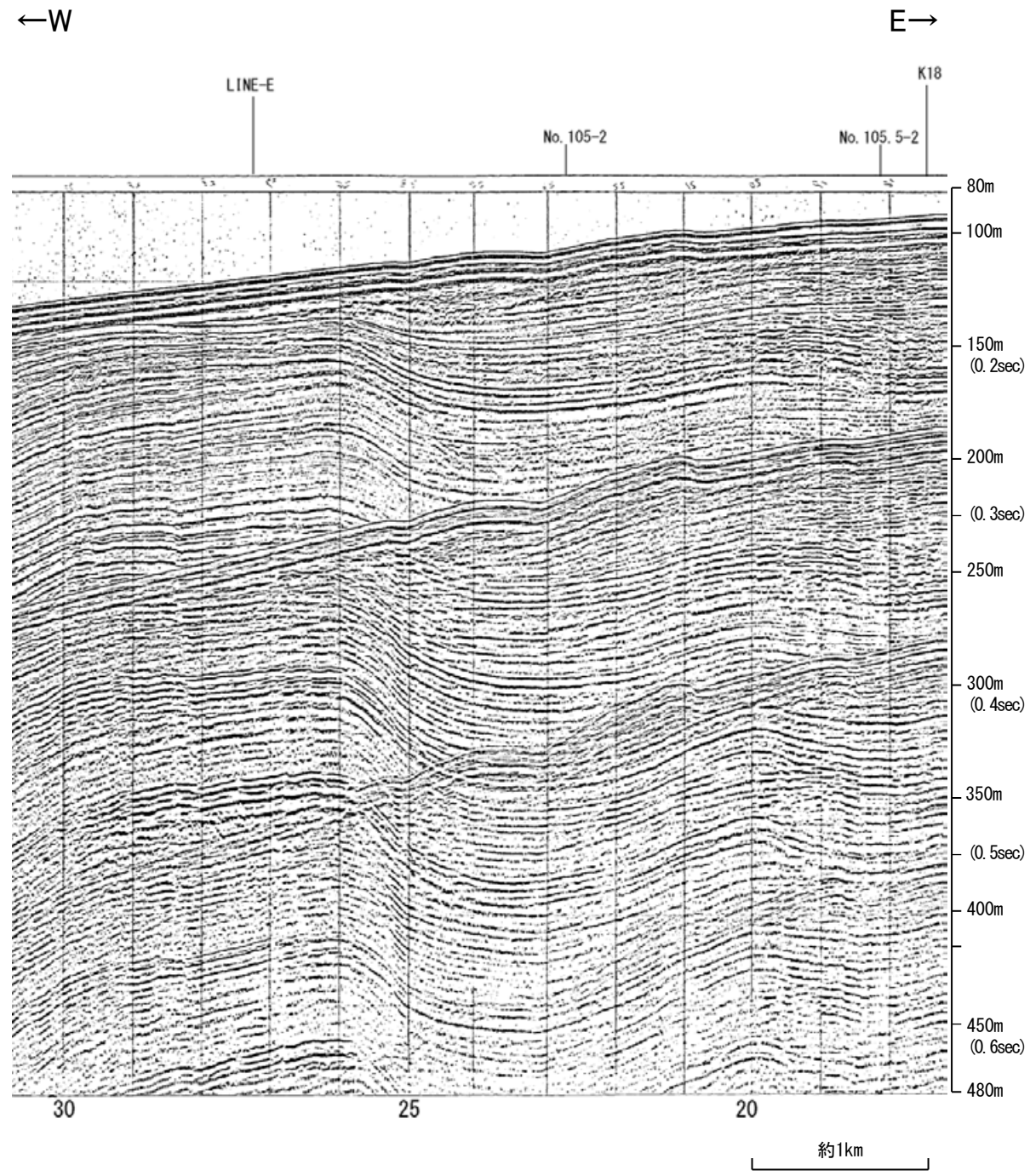
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
		B層
	更新世	Q層
第三紀	中期	B層
	前期	B層
		C層
	鮮新世	C層
中新世	D層	
	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



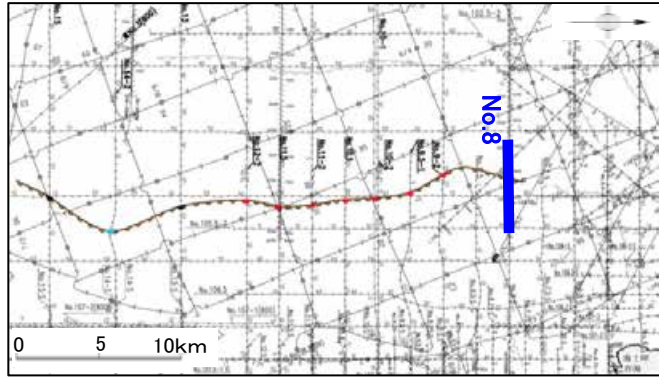
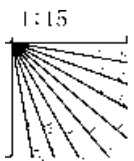
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



北陸電カスパーカー No.8



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
C ₂ 層		
第三紀	鮮新世	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
古第三紀		D層
先第三紀		D層



地質調査所エアガン N-8W

←SW

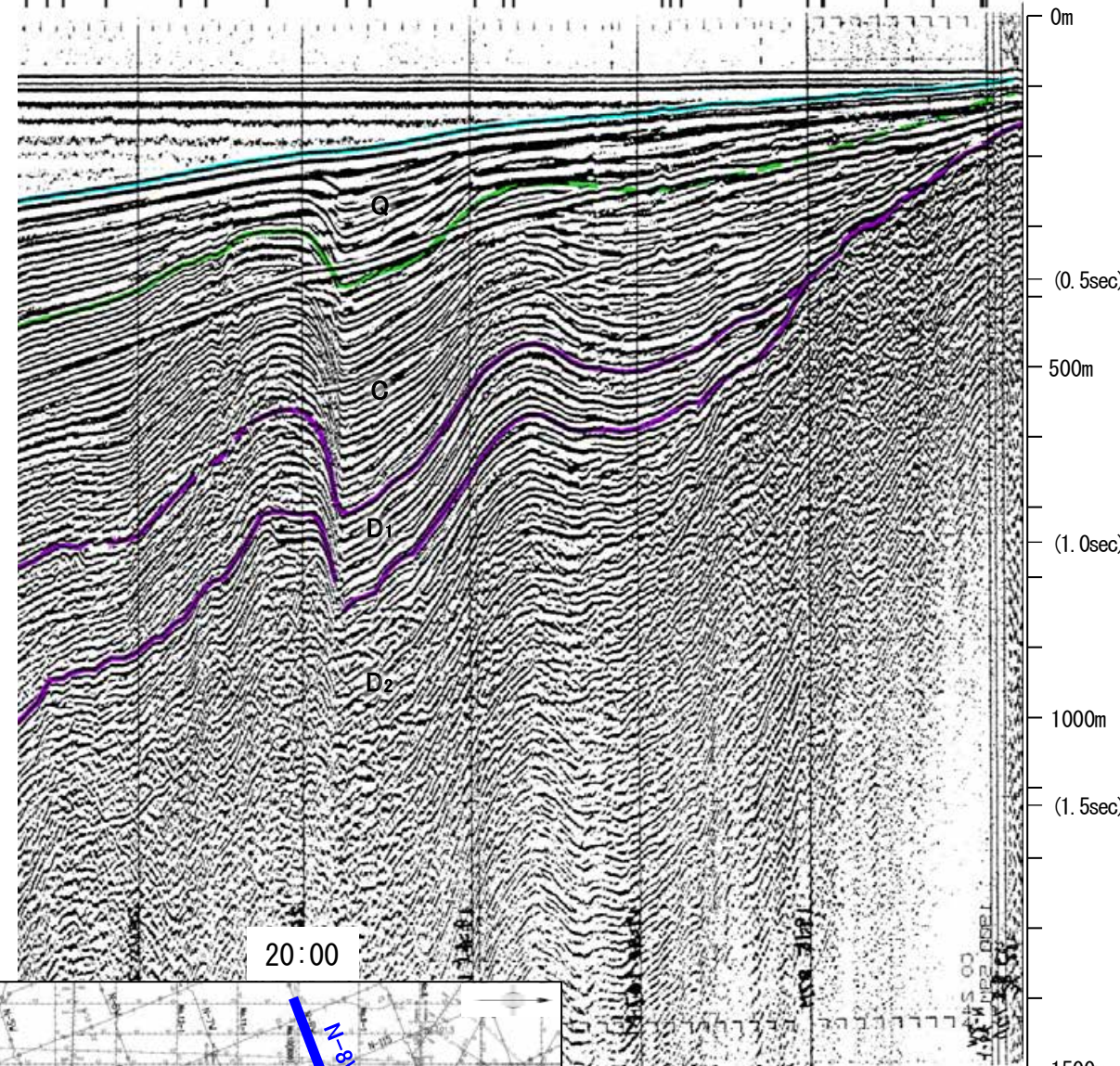
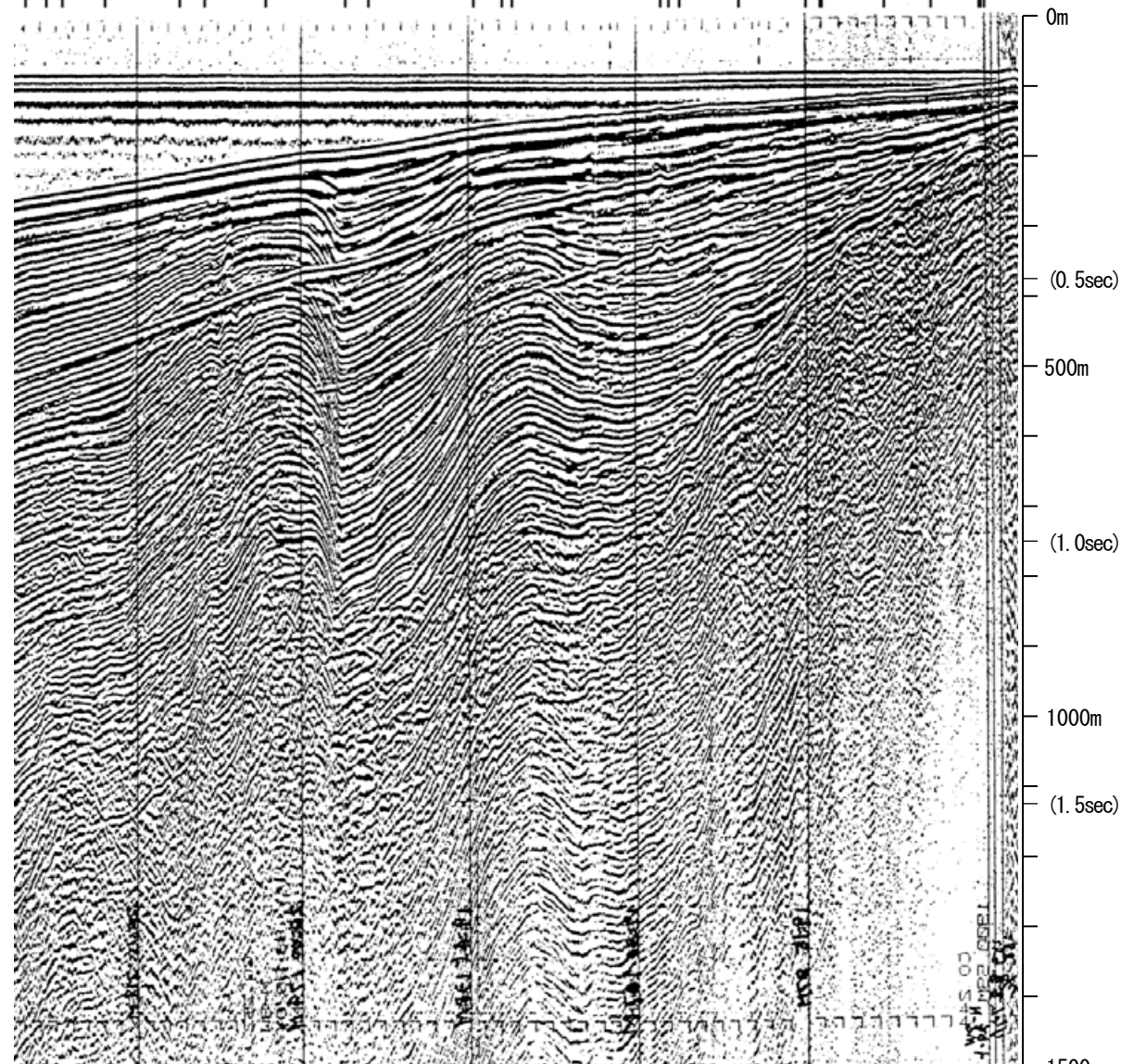
NE→

←SW

NE→

N-114
No. 101-2
No. 10-1
No. 101.5
N-115
No. 102-3
N-116
No. 102.5-2
No. 103-2
N-117
No. 9-1
No. 104-2
N-118
No. 105-2
No. 8.5
N-119
No. 105.5-2
No. 106-3
No. 106-4
No. 8
N-120
No. 106.5
No. 107-2S
No. 107-2

N-114
No. 101-2
No. 10-1
No. 101.5
N-115
No. 102-3
N-116
No. 102.5-2
No. 103-2
N-117
No. 9-1
No. 104-2
N-118
No. 105-2
No. 8.5
N-119
No. 105.5-2
No. 106-3
No. 106-4
No. 8
N-120
No. 106.5
No. 107-2S
No. 107-2



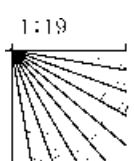
羽咋沖西撓曲

羽咋沖東撓曲

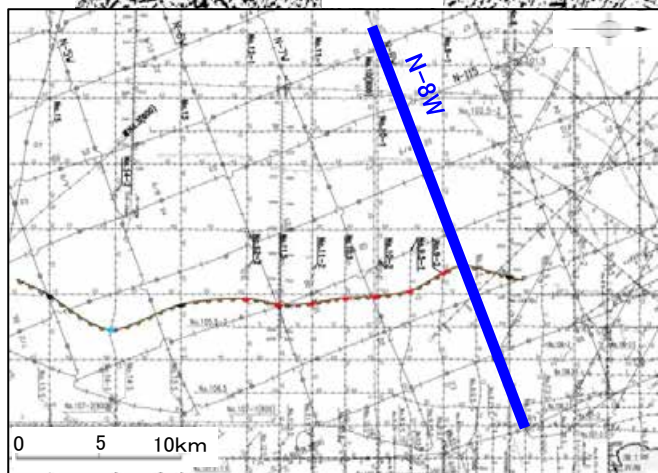
β

β

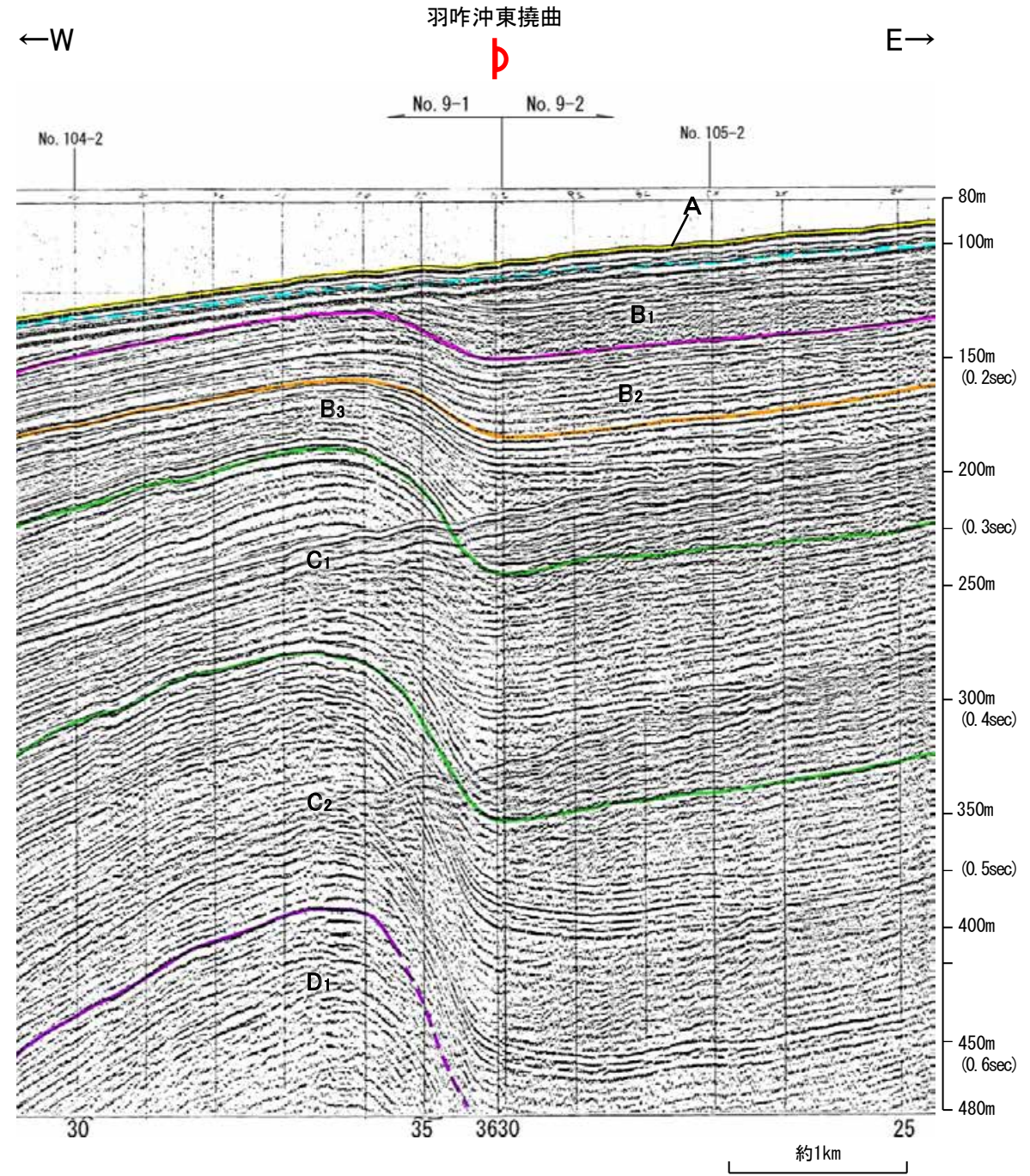
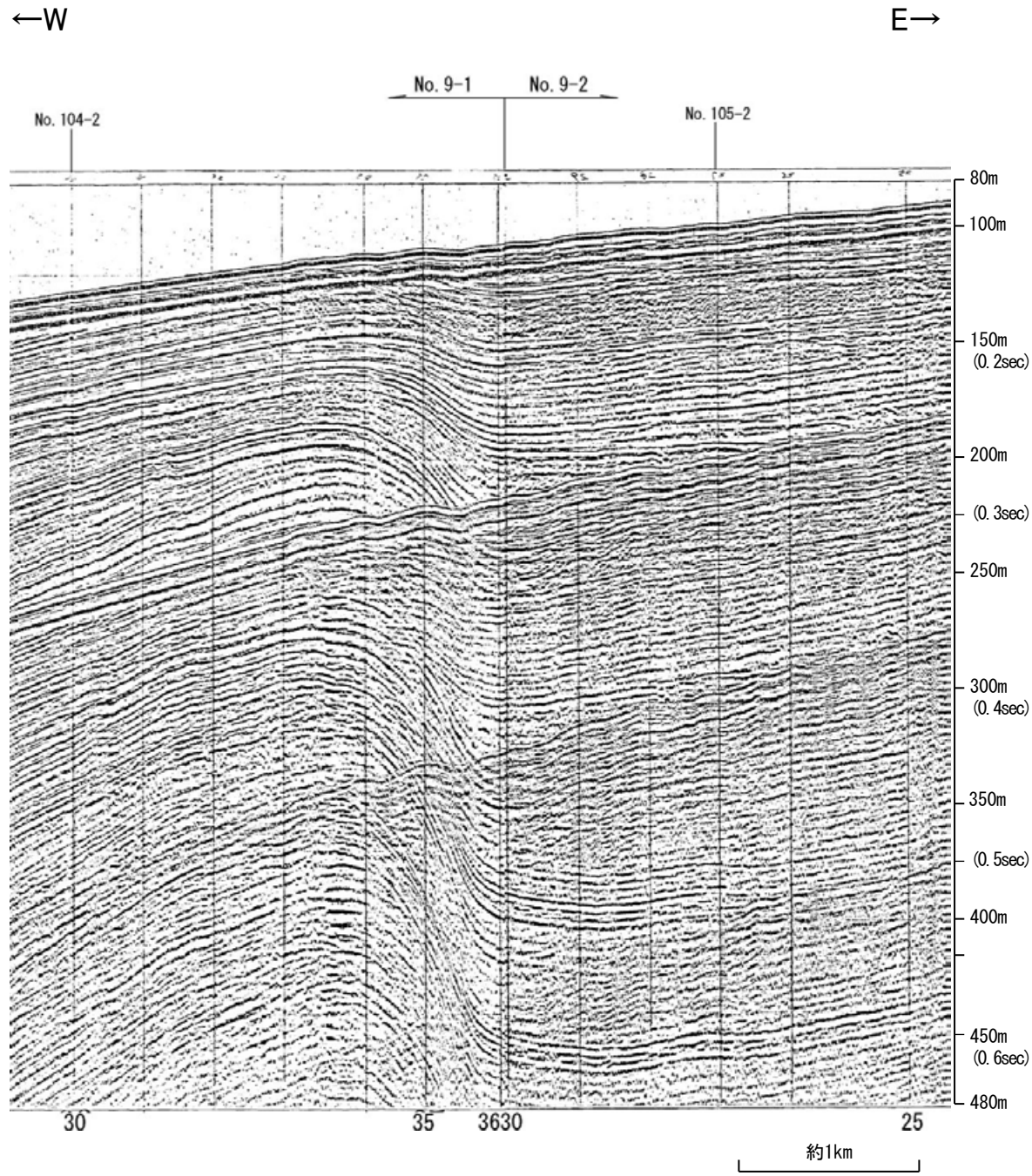
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世	Q層
	中期	B層
第三紀	前期	B層
	鮮新世	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



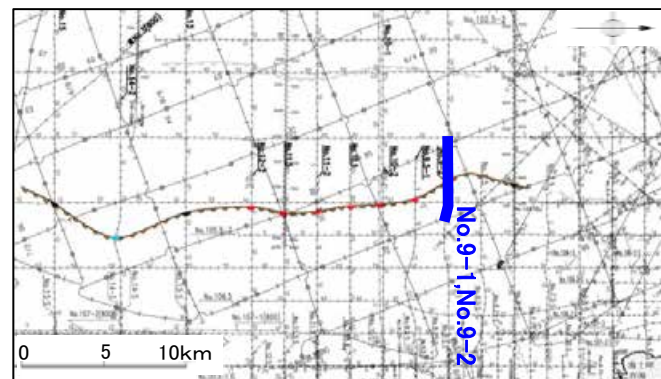
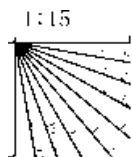
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



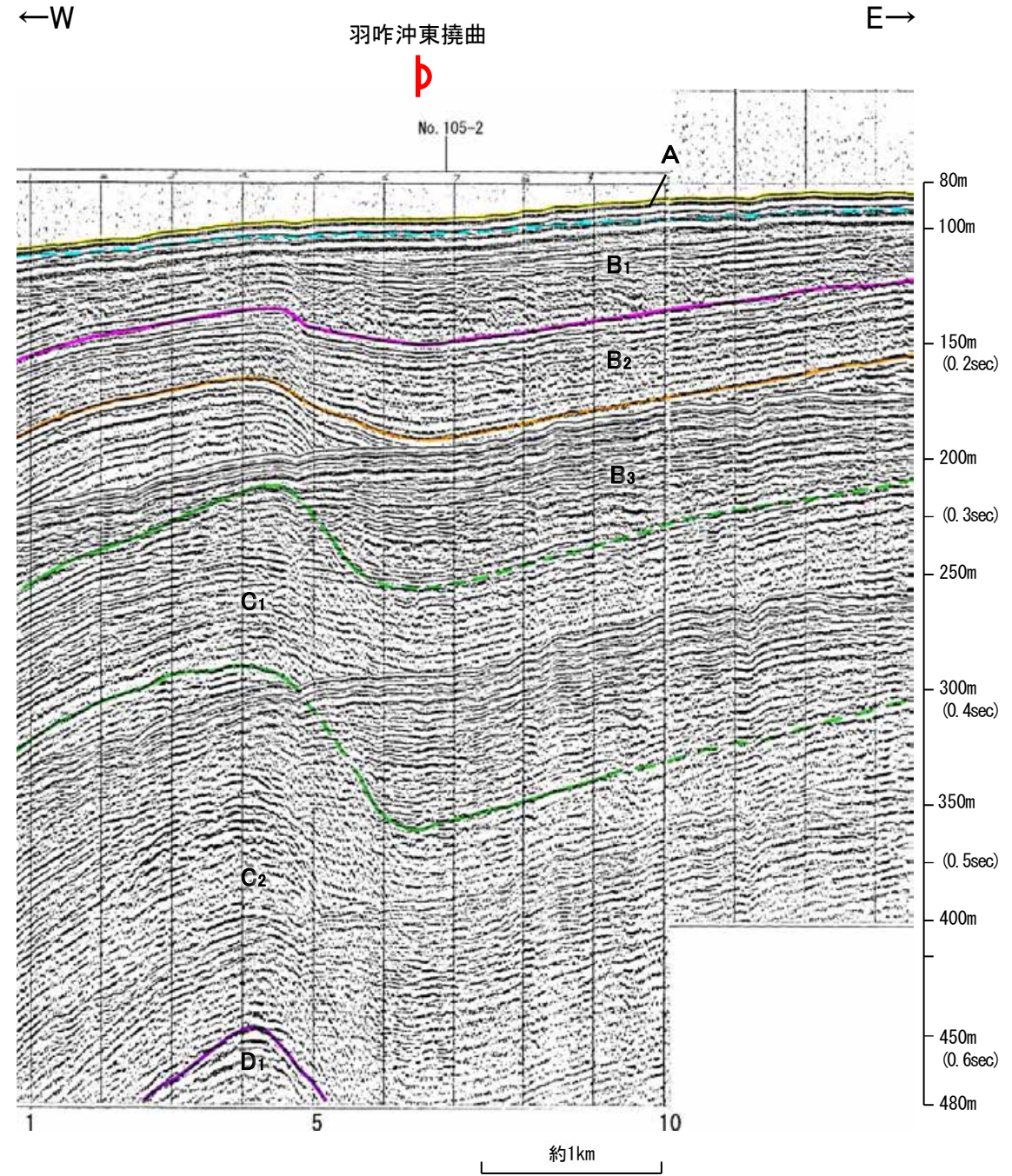
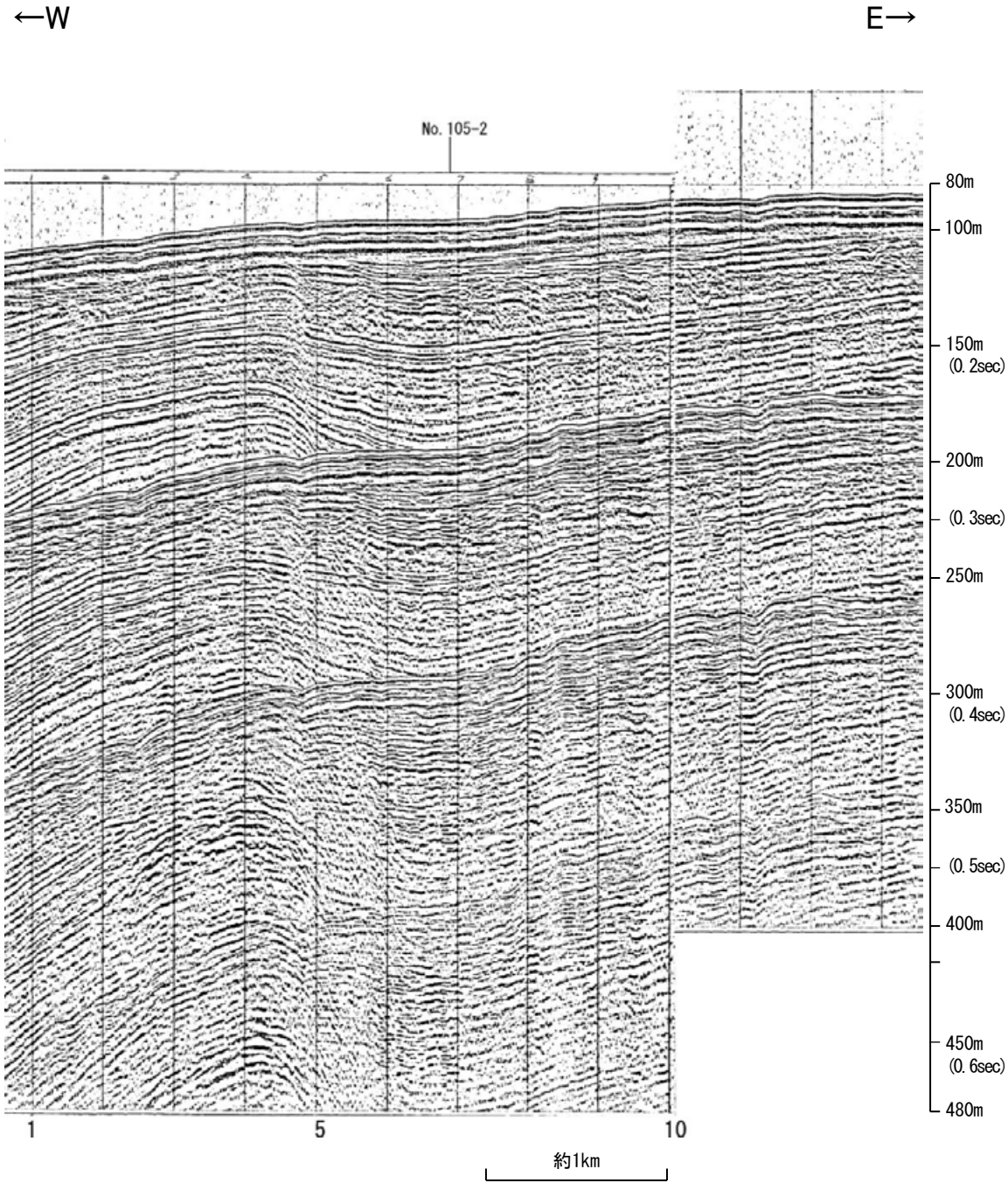
北陸電カスパーカー No.9-1, No.9-2



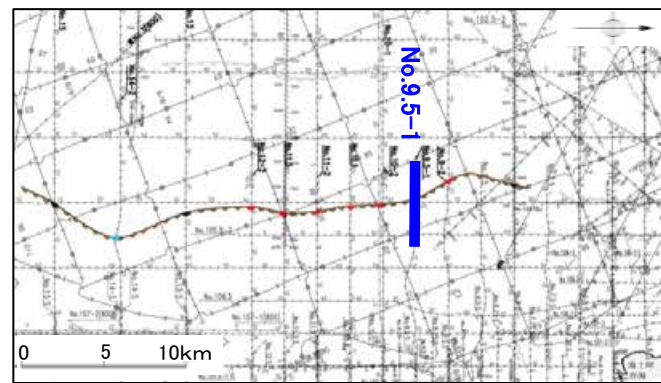
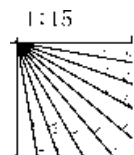
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
C ₂ 層		
第三紀	鮮新世	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



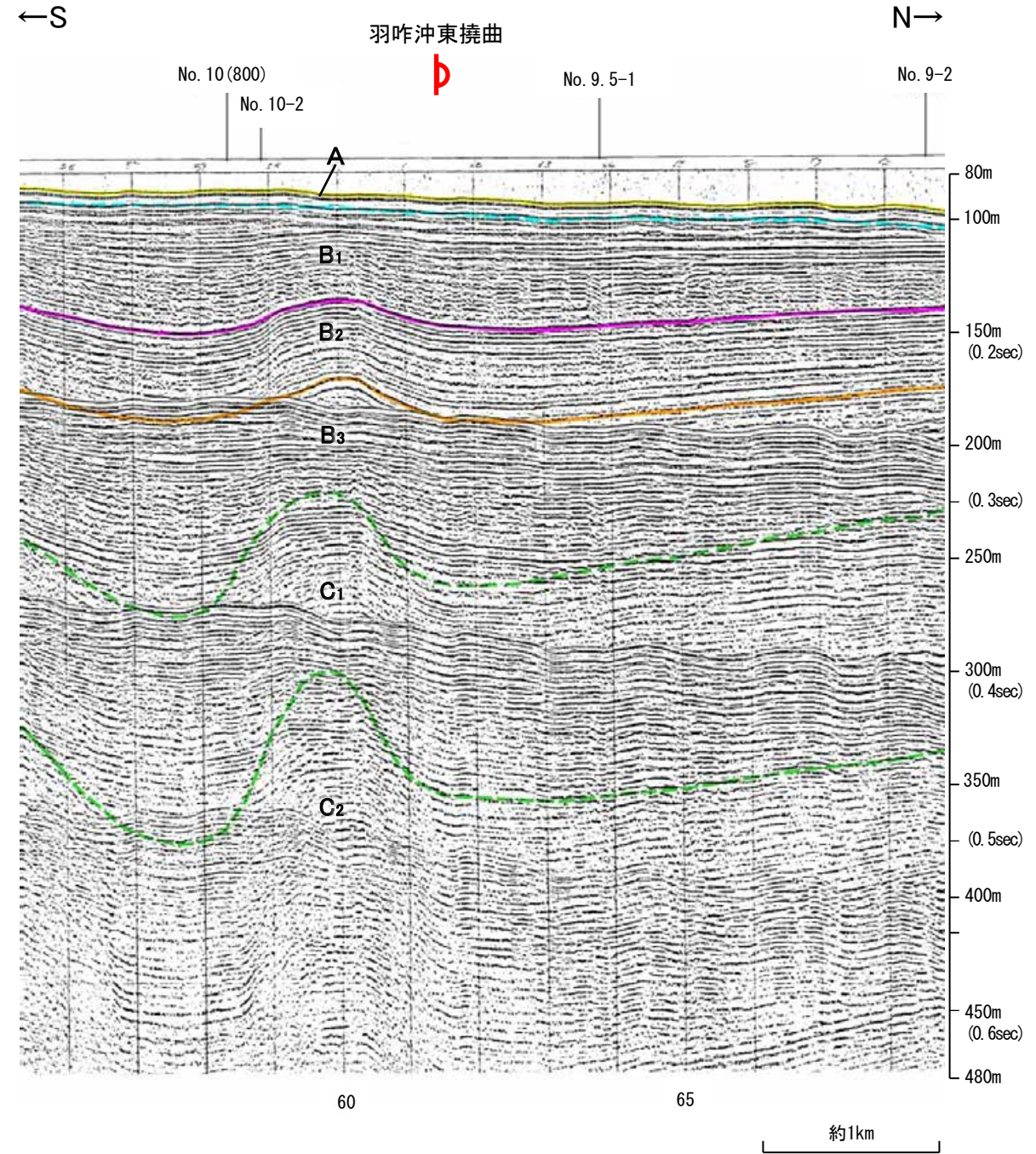
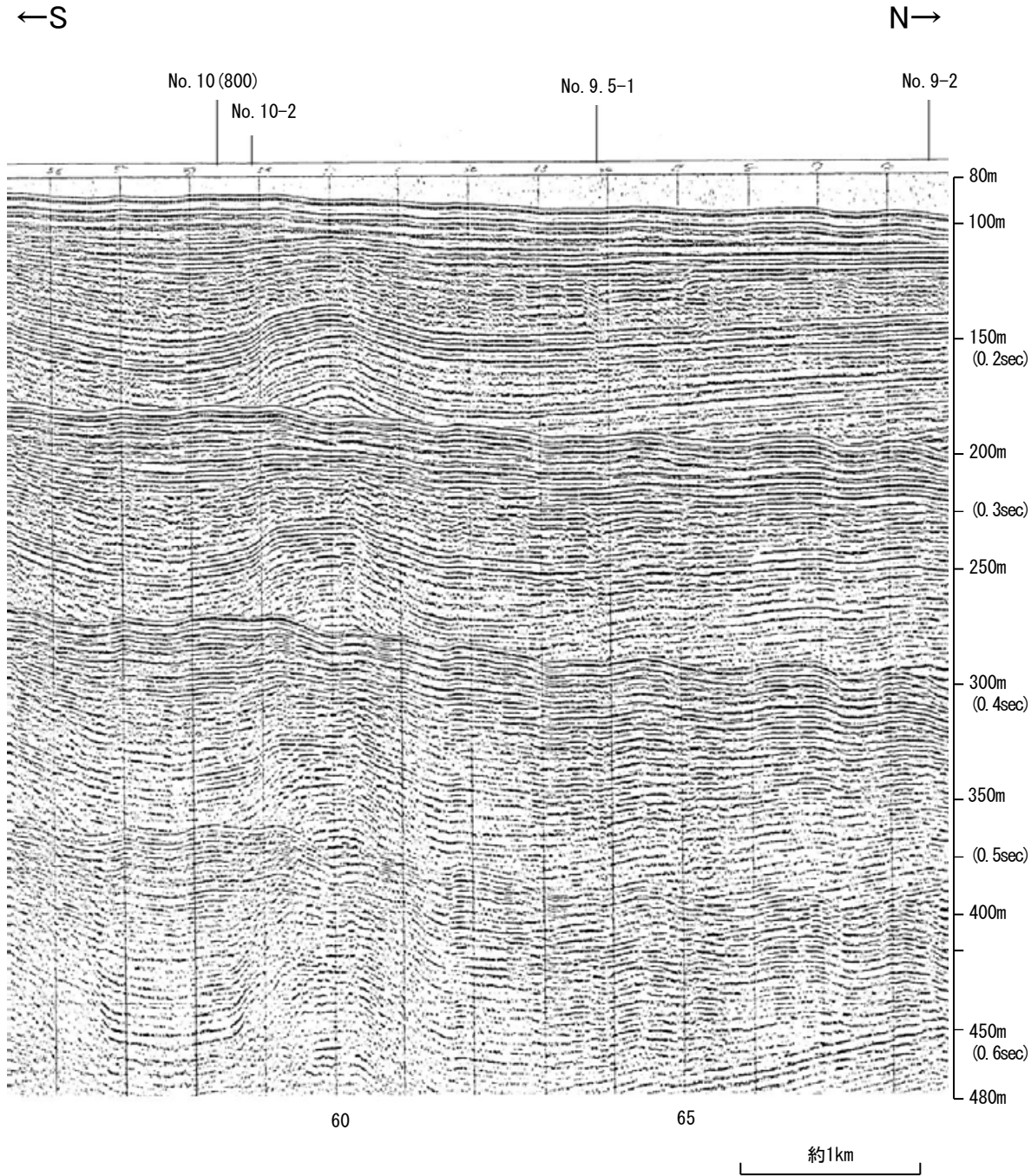
北陸電カスパーカー No.9.5-1



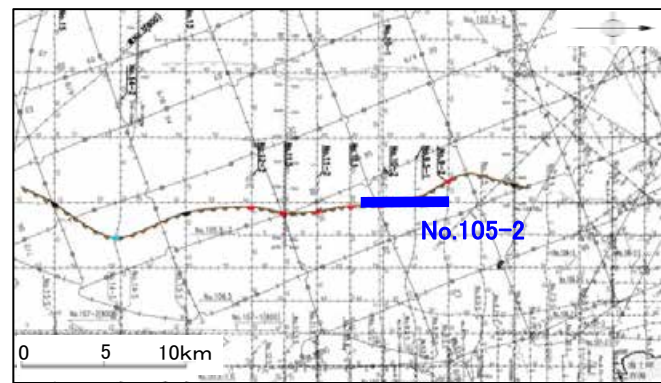
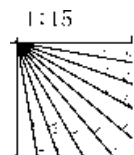
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
鮮新世	C ₂ 層	
第三紀	中新世	D ₁ 層
	古第三紀	D ₂ 層
先第三紀	D ₃ 層	



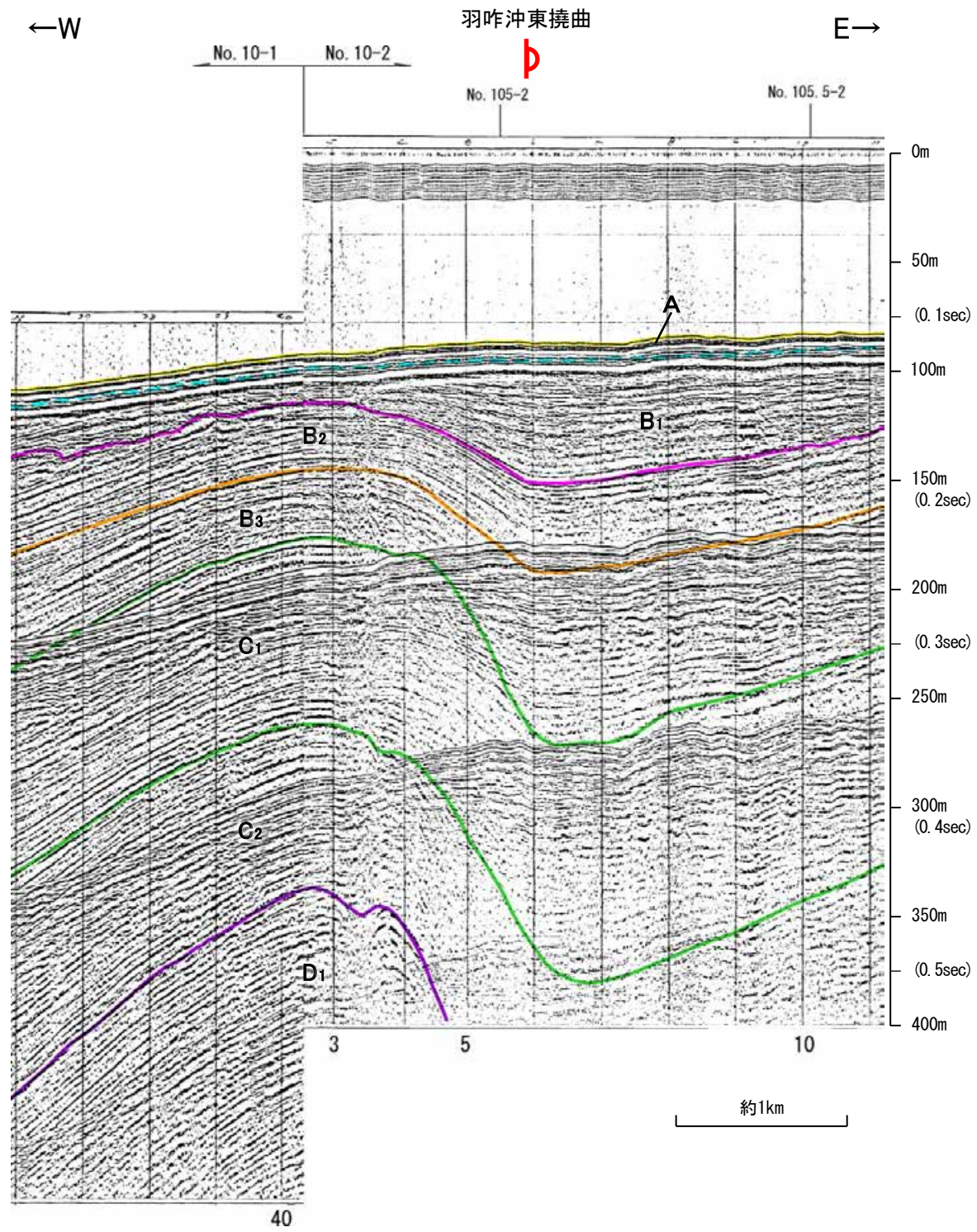
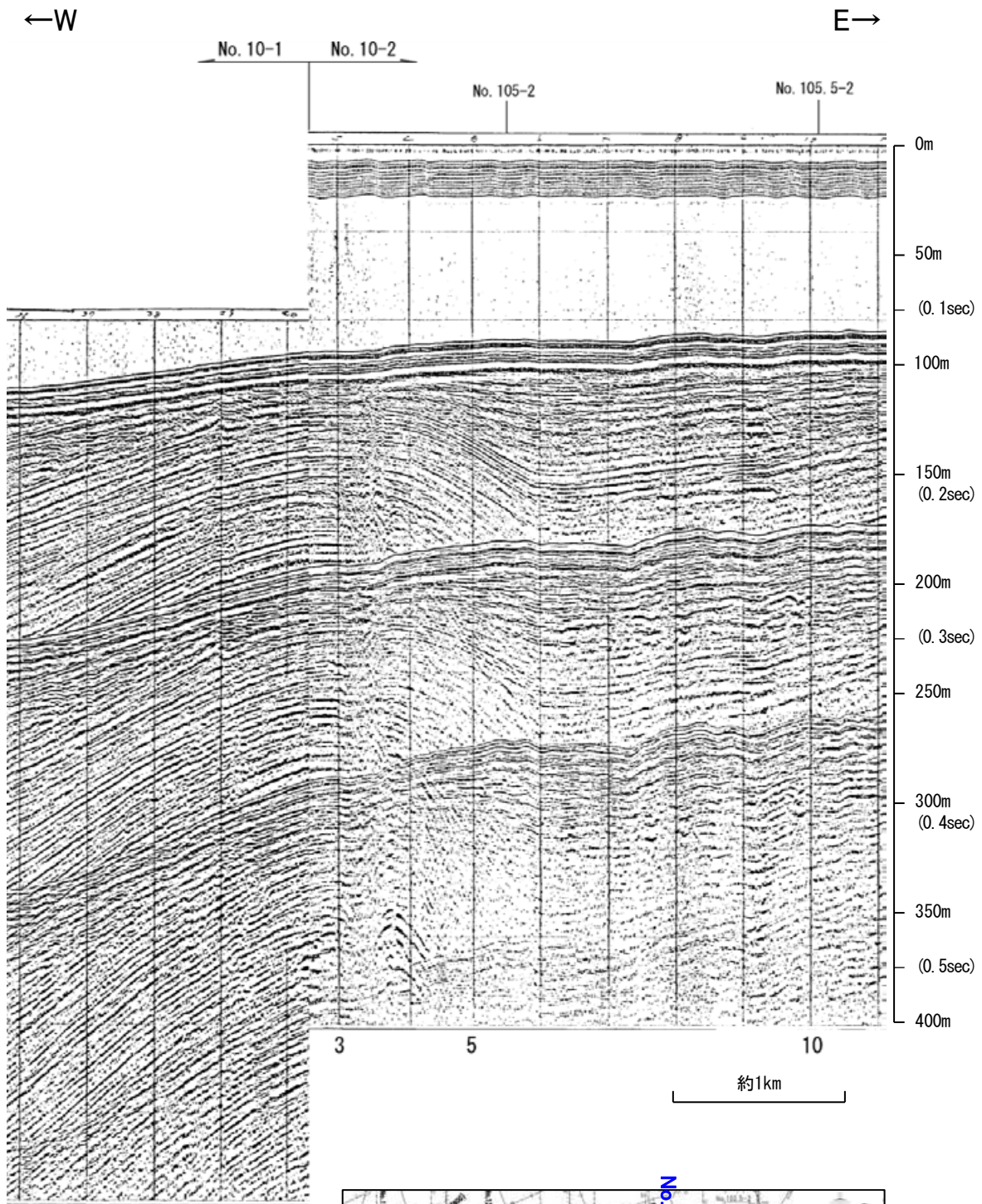
北陸電カスパーカー No.105-2



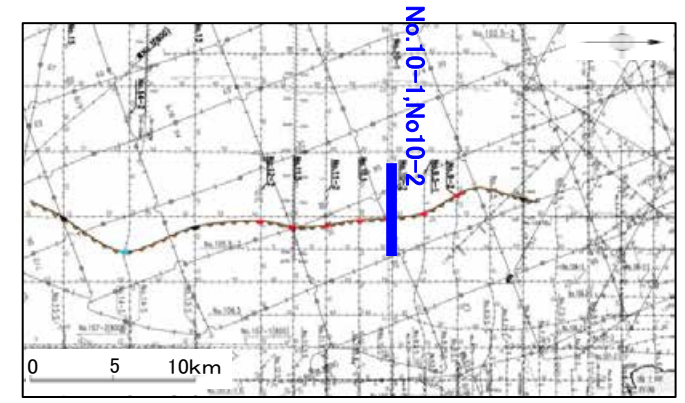
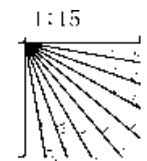
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	更新世	B層
中期	B ₁ 層	
	B ₂ 層	
前期	C層	
	C ₁ 層	
鮮新世	C ₂ 層	
	D層	
中新世	D ₁ 層	
	D ₂ 層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



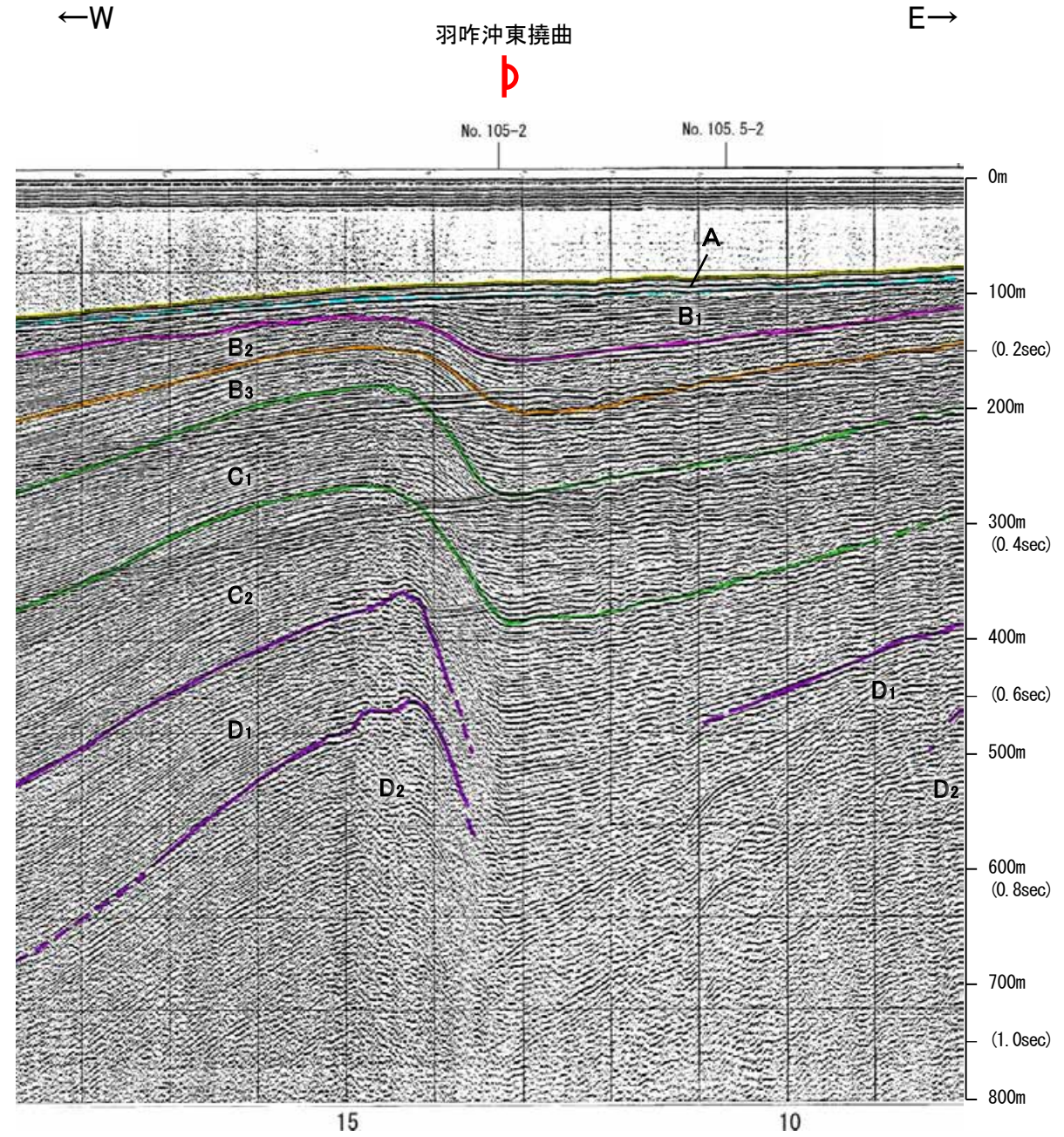
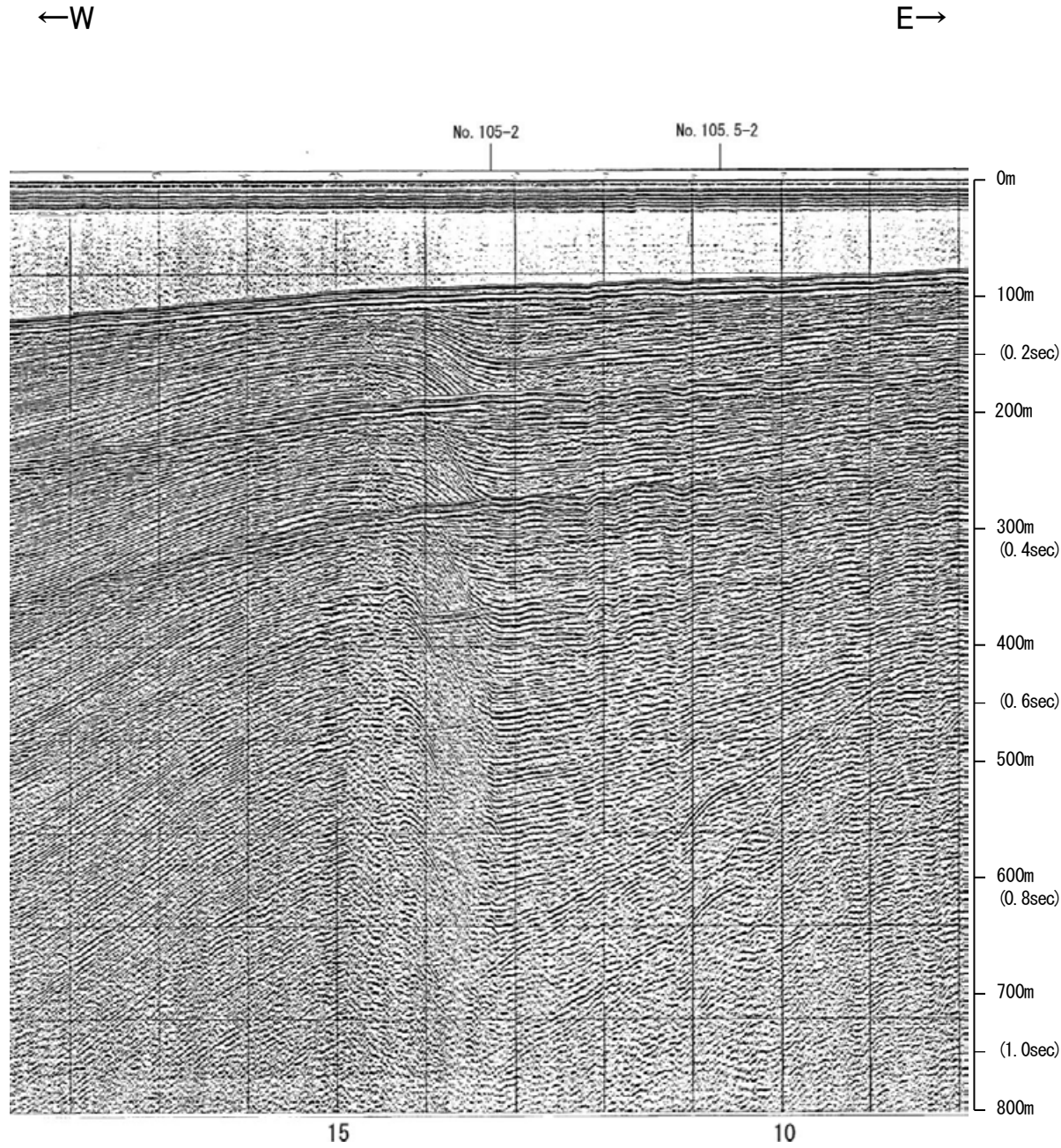
北陸電カスパーカー No.10-1, No.10-2



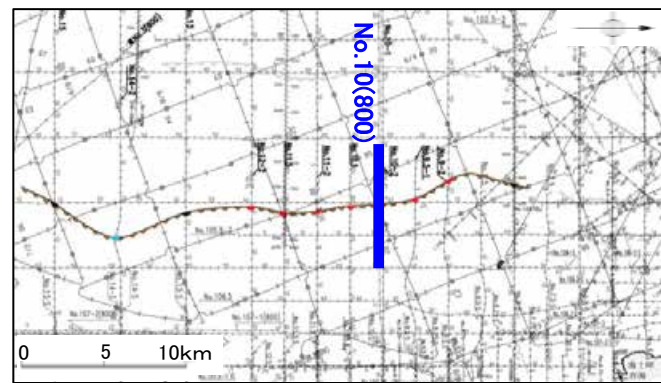
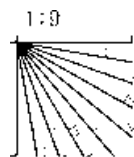
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
第三紀	鮮新世	C ₂ 層
中新世	D ₁ 層	
	D ₂ 層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



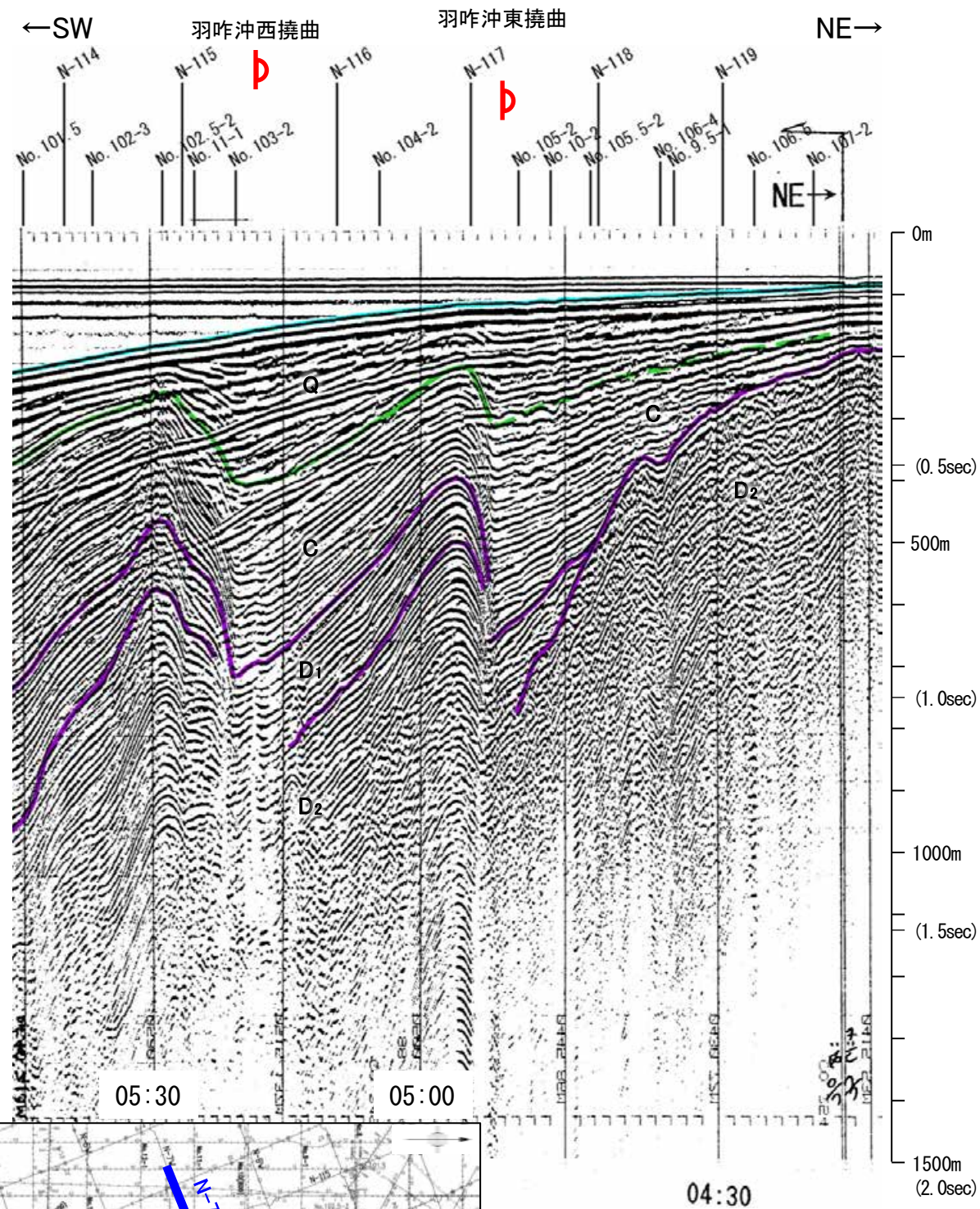
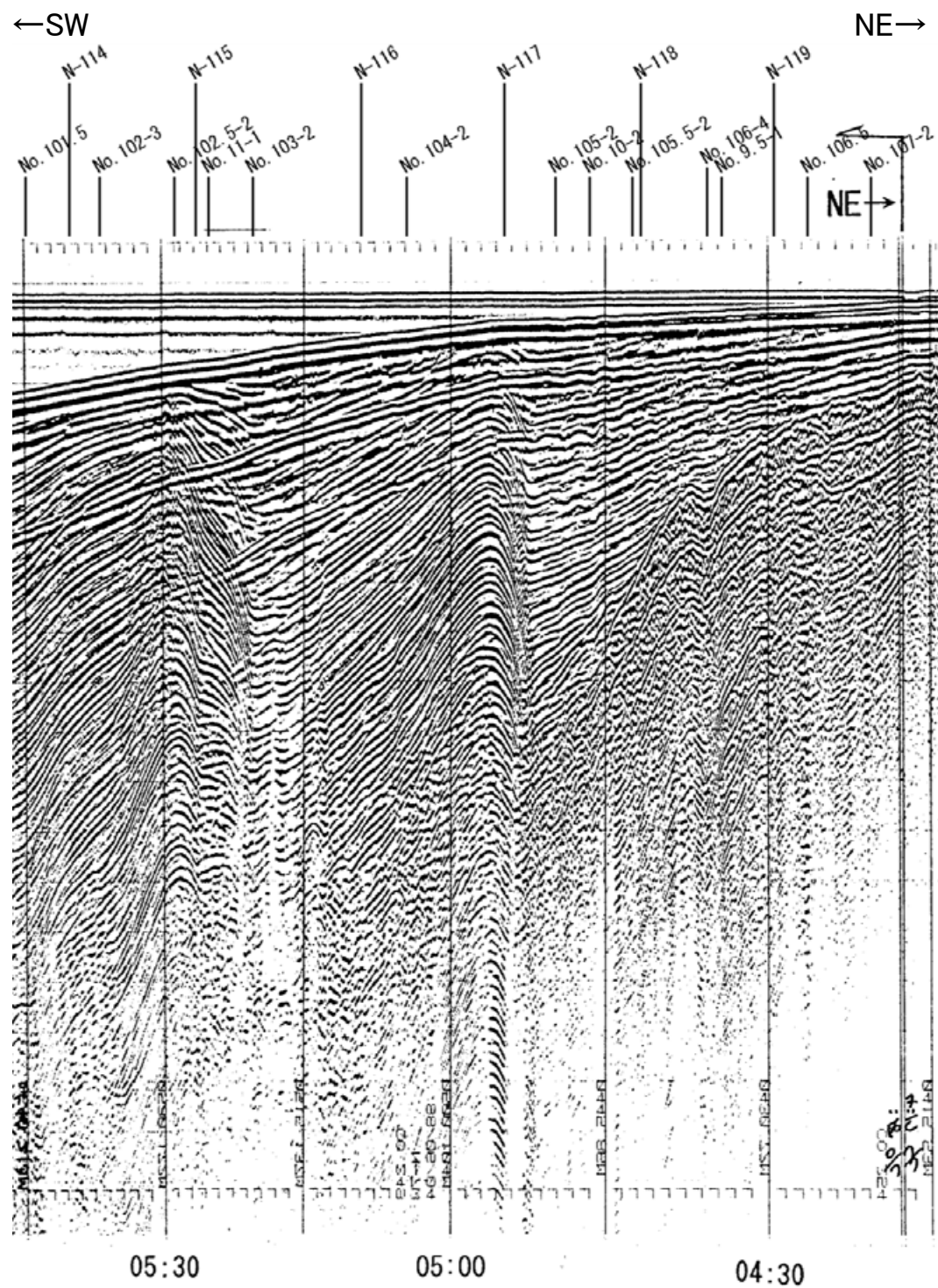
北陸電カスパーカー No.10(800)



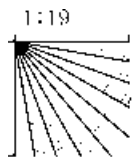
地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
		B ₃ 層
	前期	C層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層
中新世	D ₁ 層	
	D層	
古第三紀		D層
先第三紀		D層



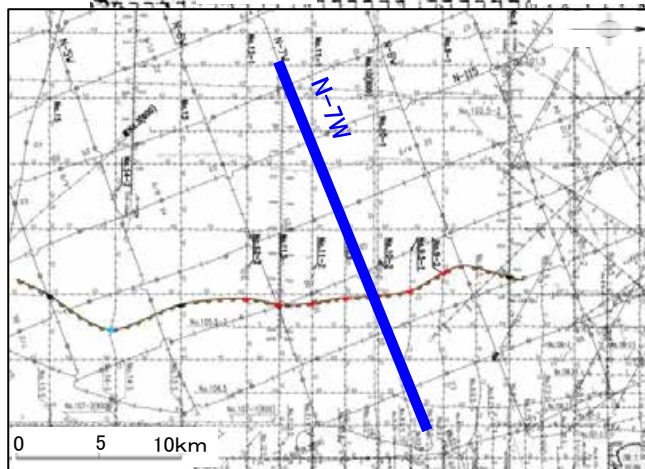
地質調査所エアガン N-7W



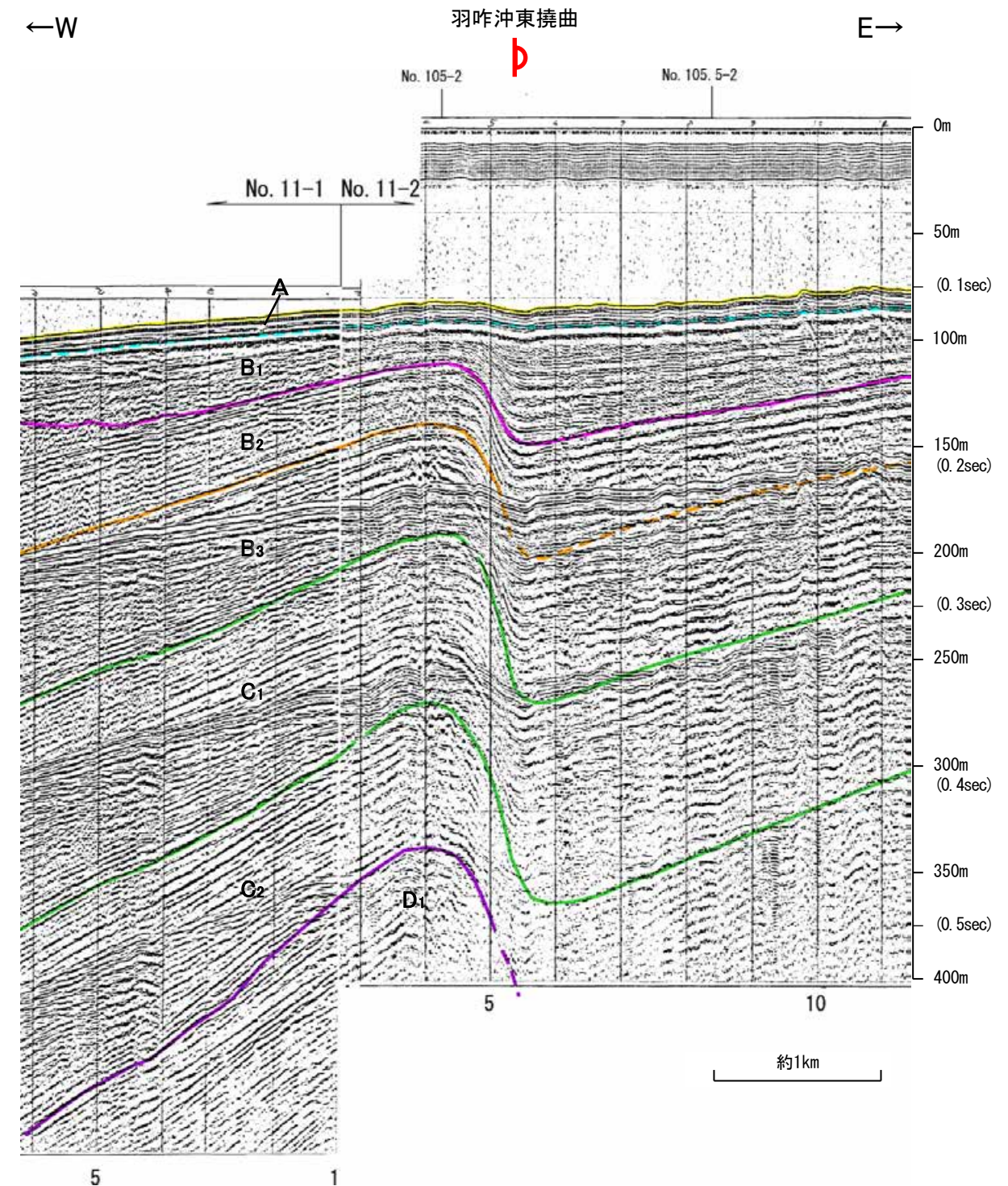
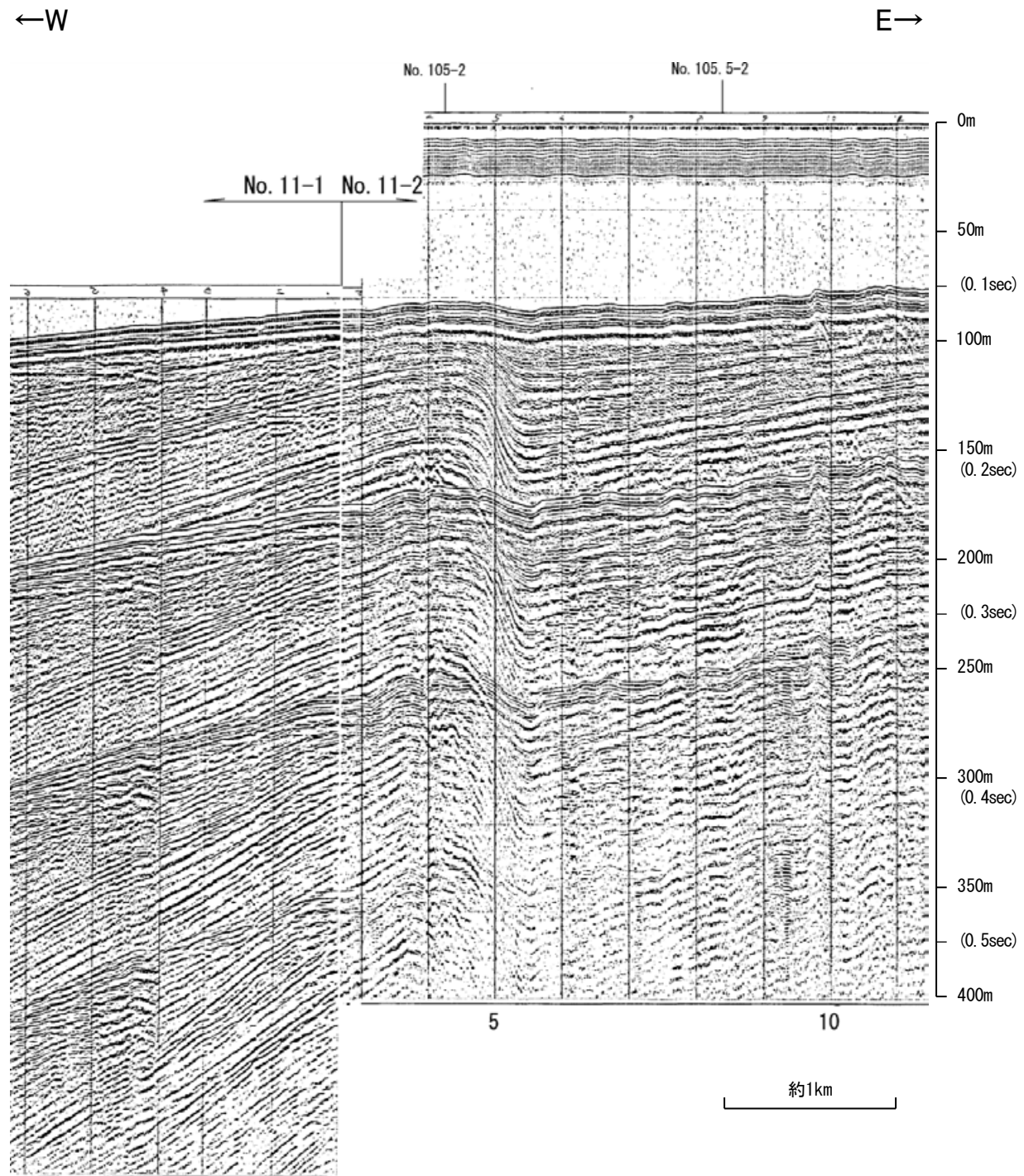
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B層	
	中期	B層	B層
	前期	C層	B層
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



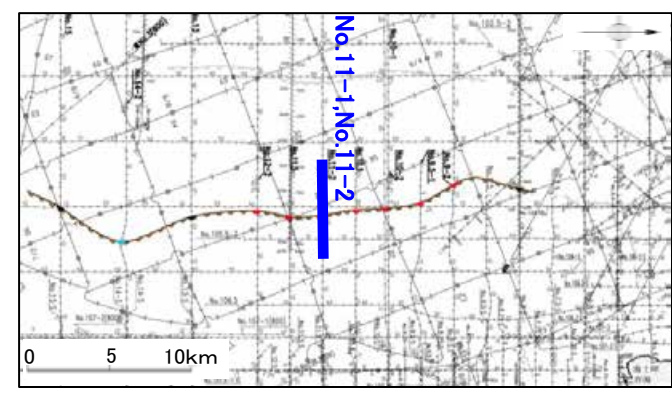
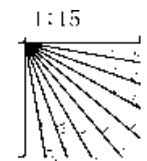
・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



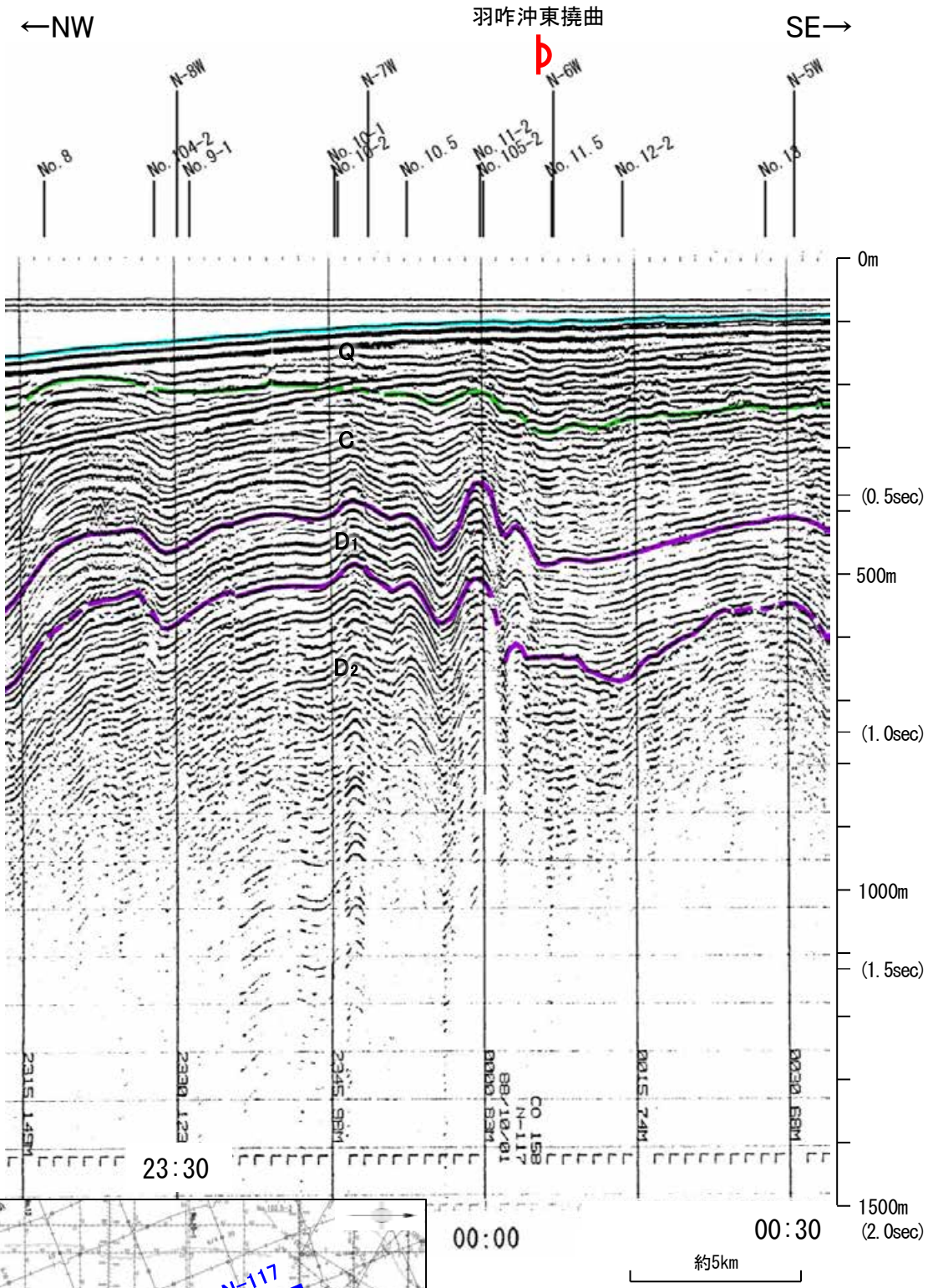
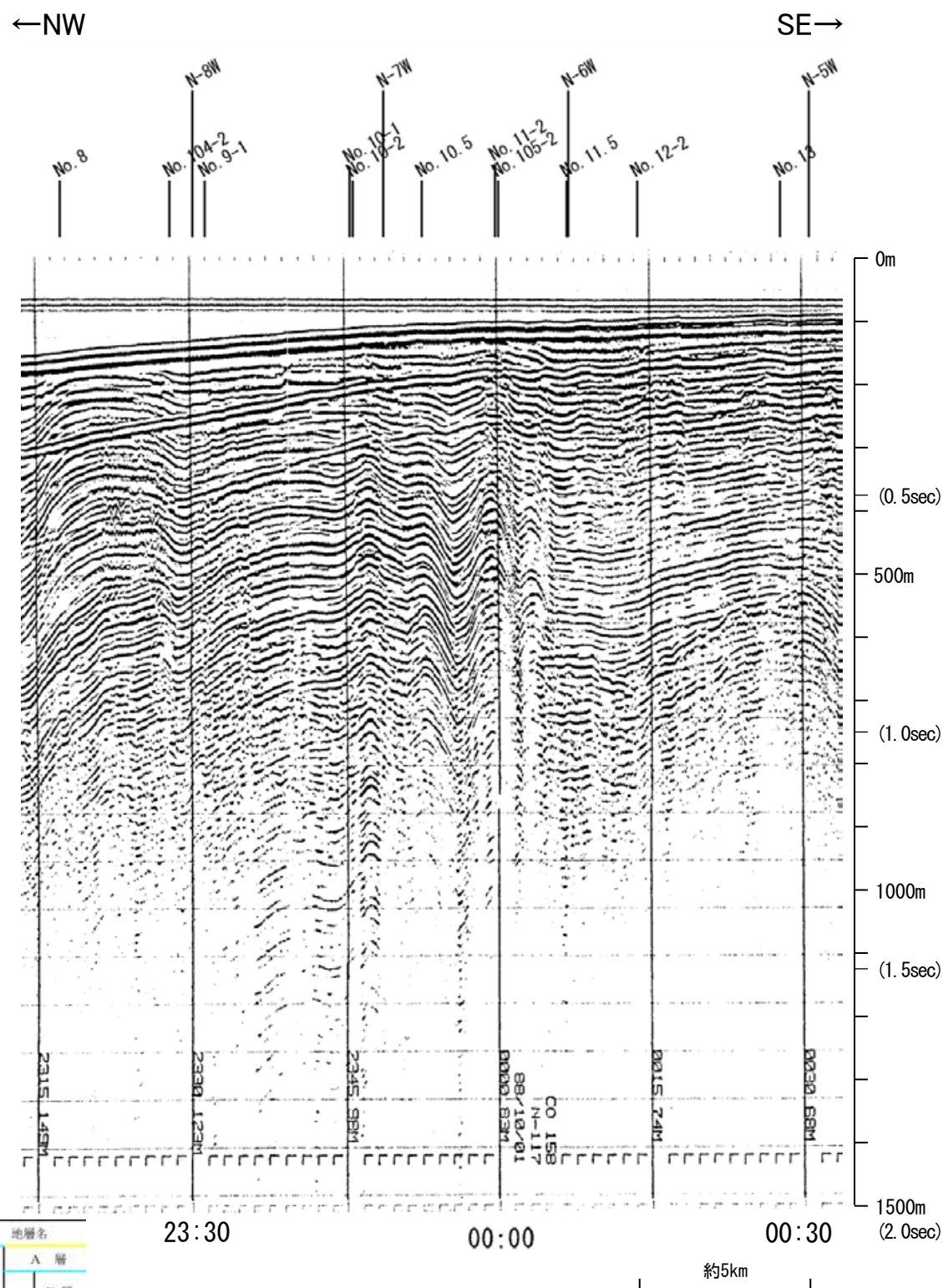
北陸電カスパーカー No.11-1, No11-2



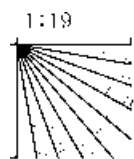
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層	
	中新世	C ₂ 層	
	D ₁ 層		
古第三紀	D ₂ 層		
先第三紀	D ₃ 層		



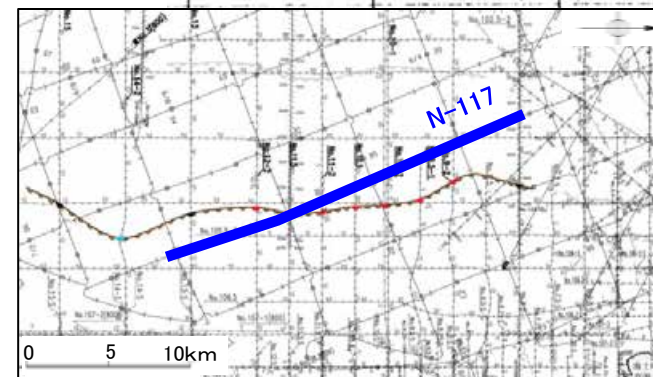
地質調査所エアガン N-117



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世	Q層
	中期	B層
第三紀	前期	B層
	鮮新世	C層
	中新世	C層
古第三紀	D層	
	D層	
先第三紀	D層	

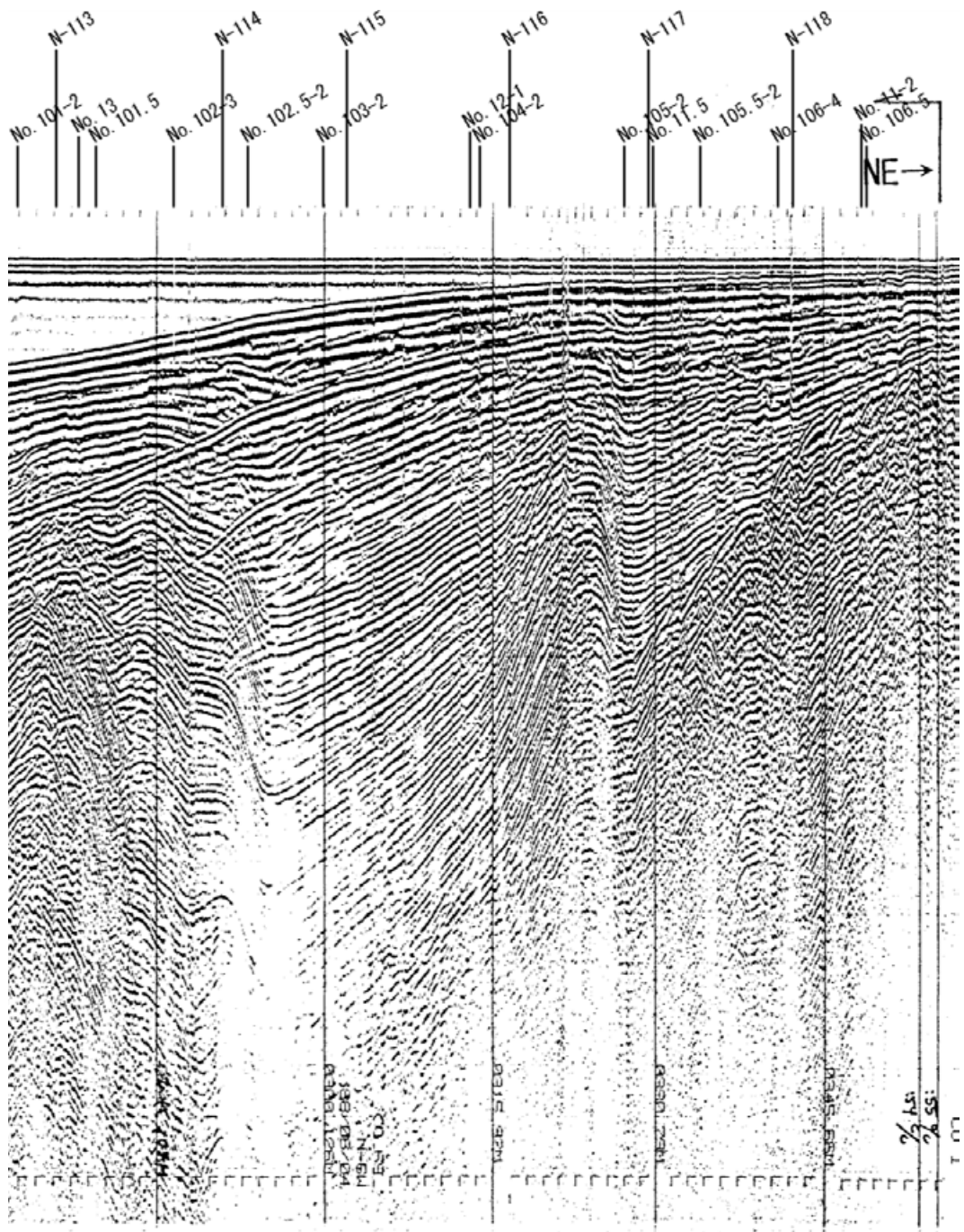


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

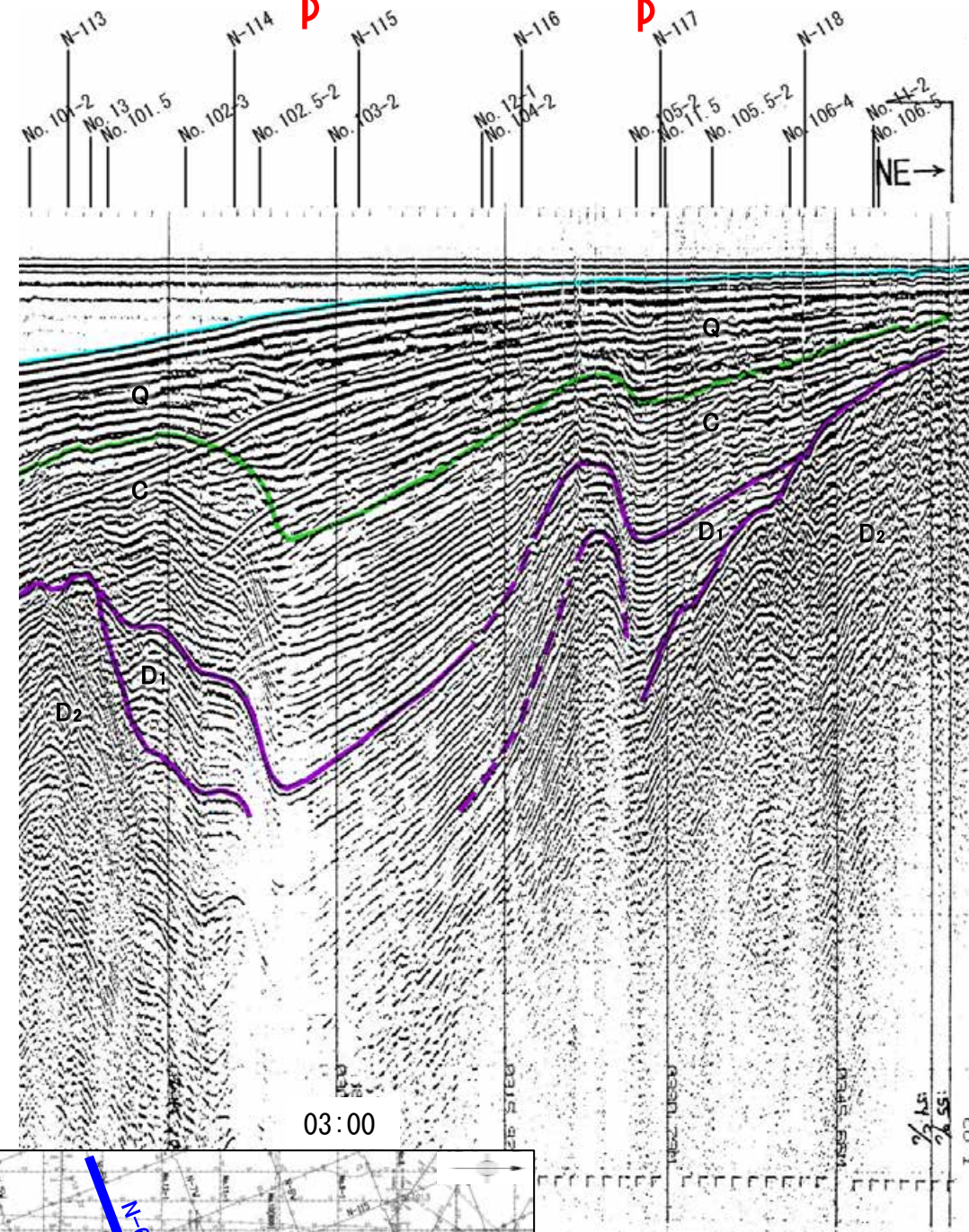


地質調査所エアガン N-6W

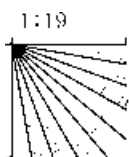
←SW NE→



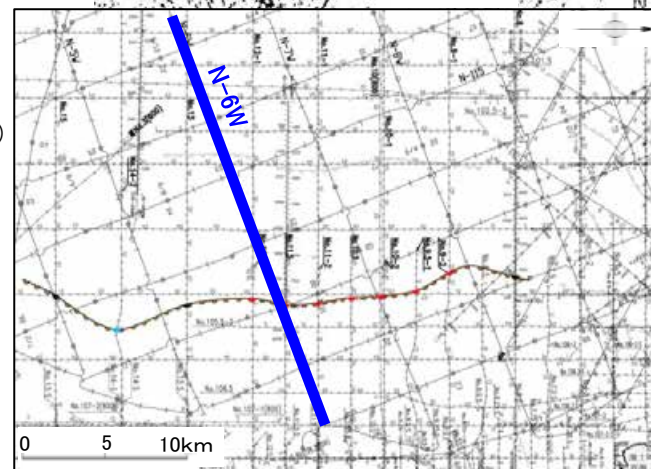
←SW 羽咋沖西撓曲 羽咋沖東撓曲 NE→



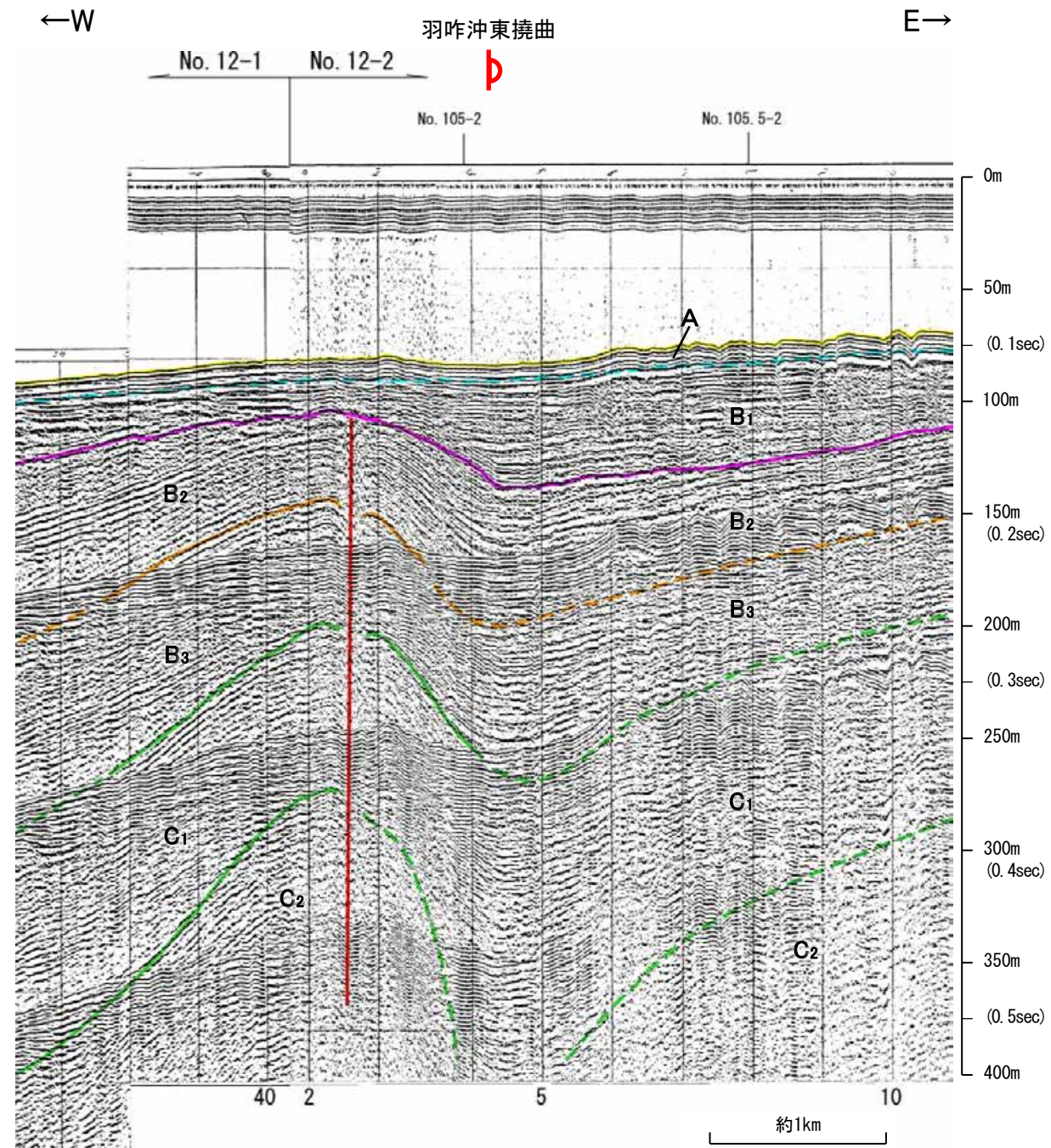
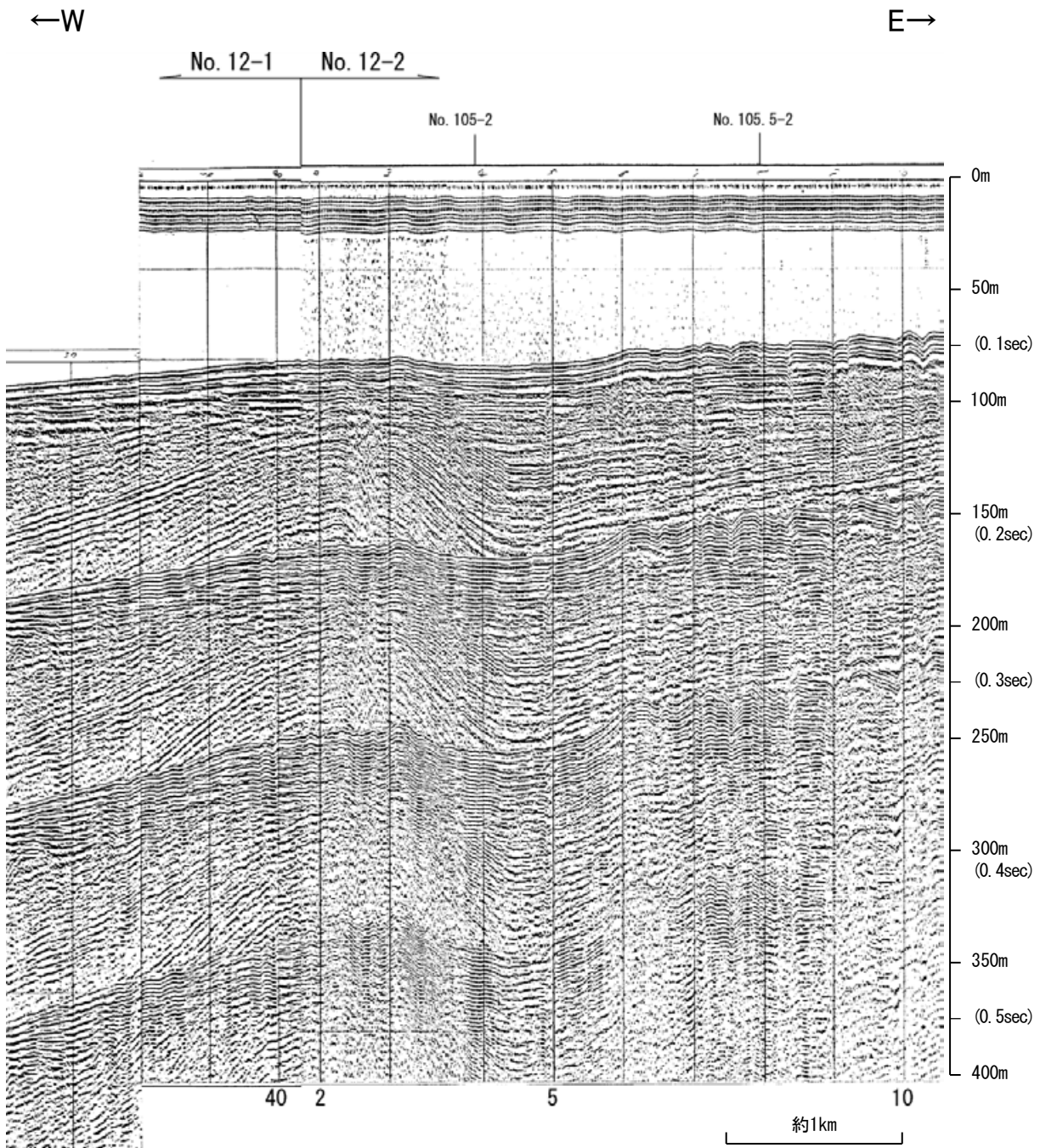
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世	Q層
	中期	B層
第三紀	前期	B層
	鮮新世	C層
	中新世	C層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



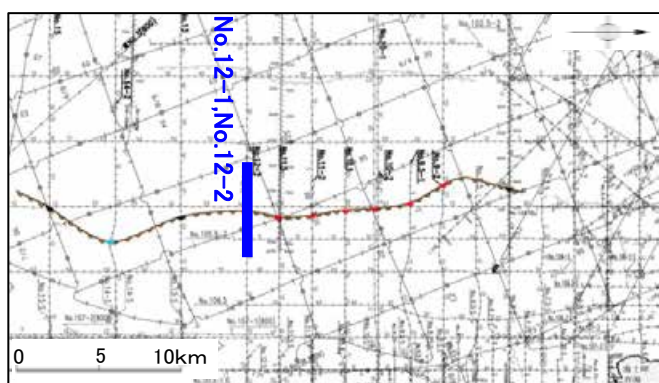
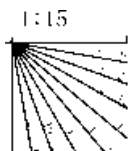
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



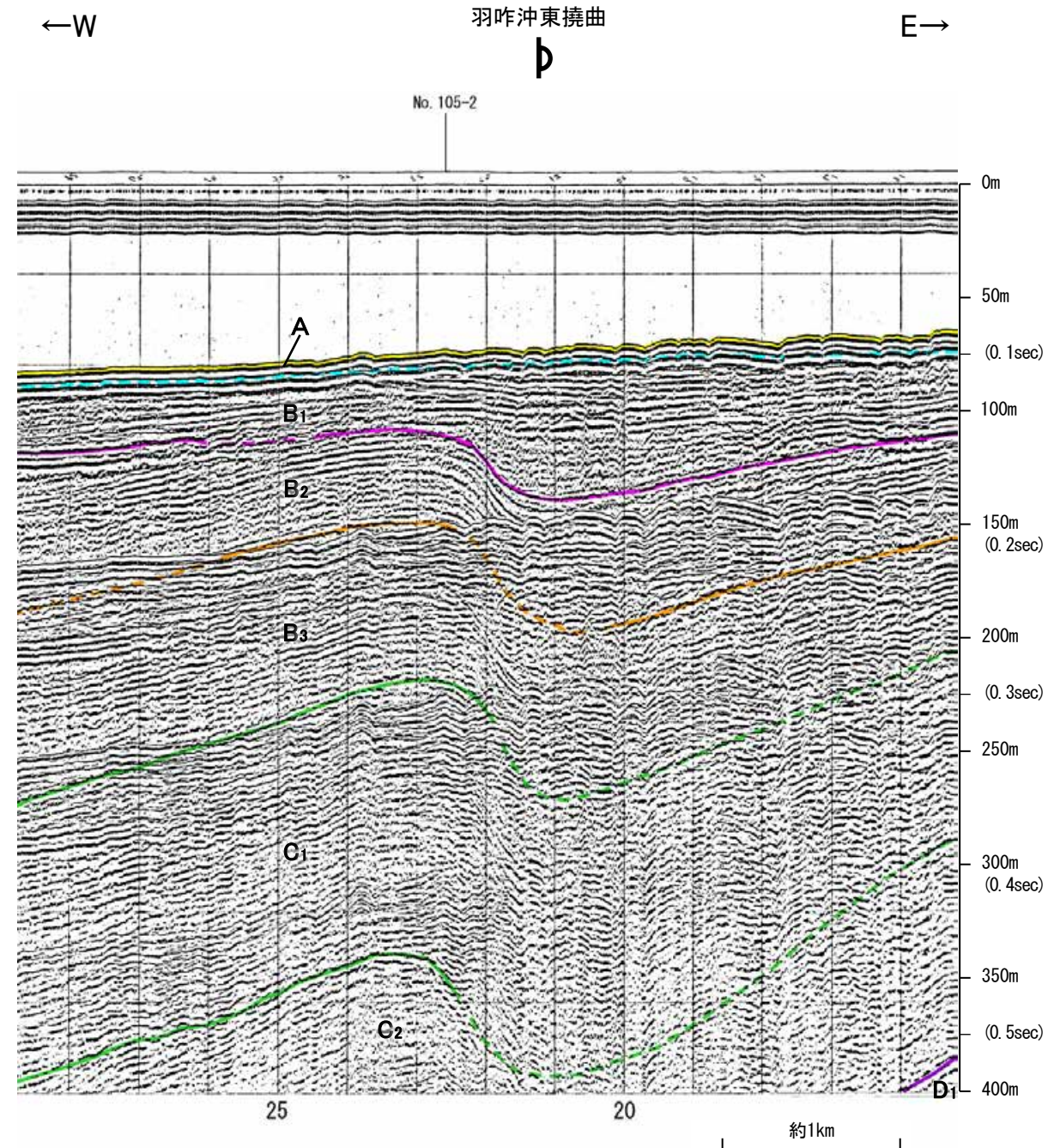
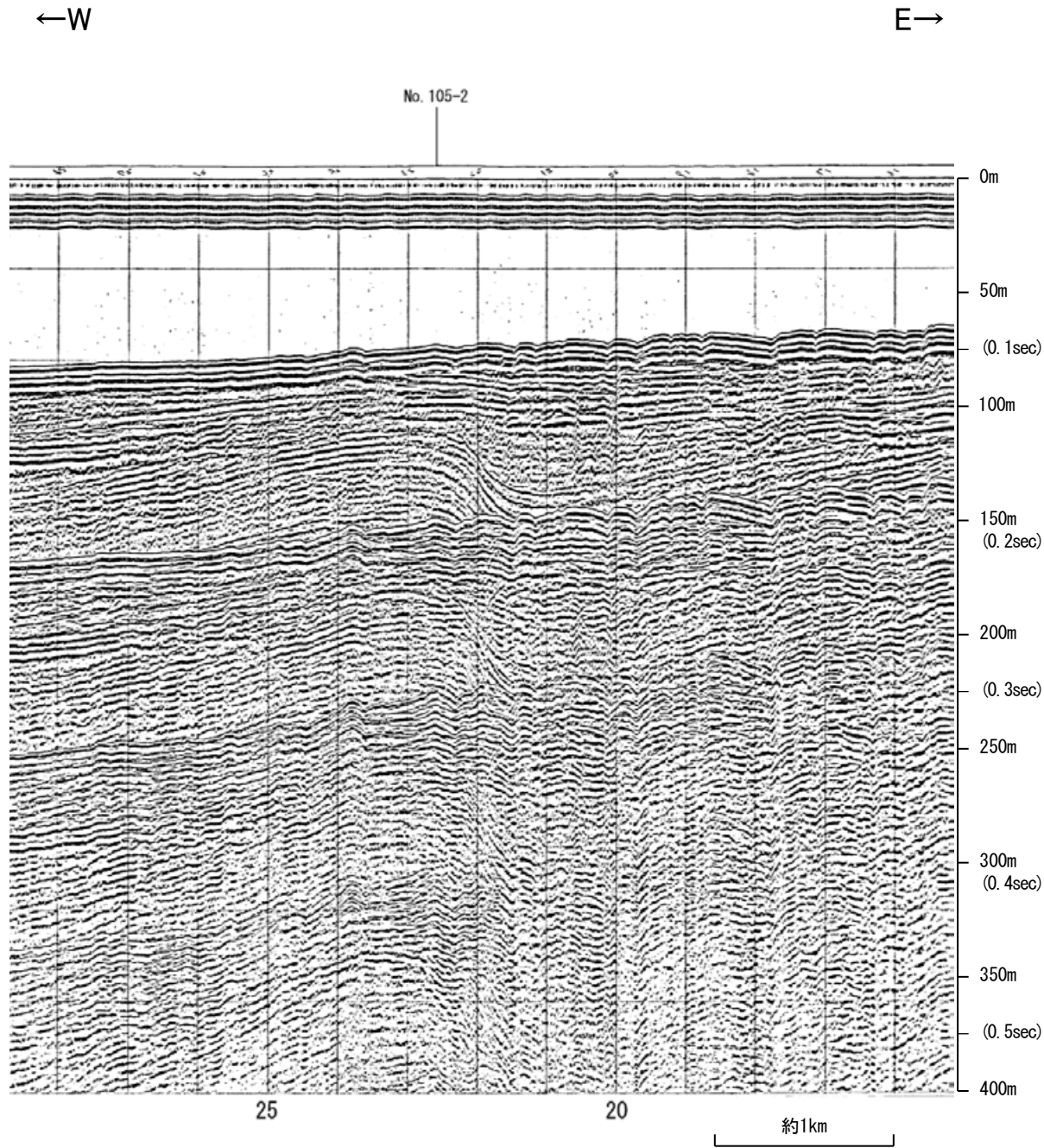
北陸電カスパーカー No.12-1, No.12-2



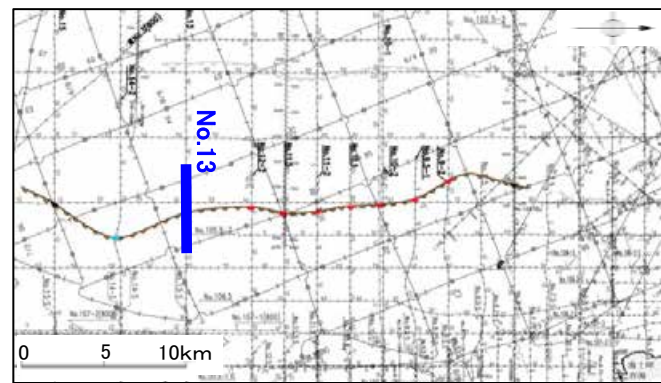
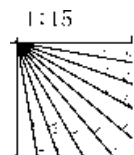
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層	
	中新世	C ₂ 層	
	D層	D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



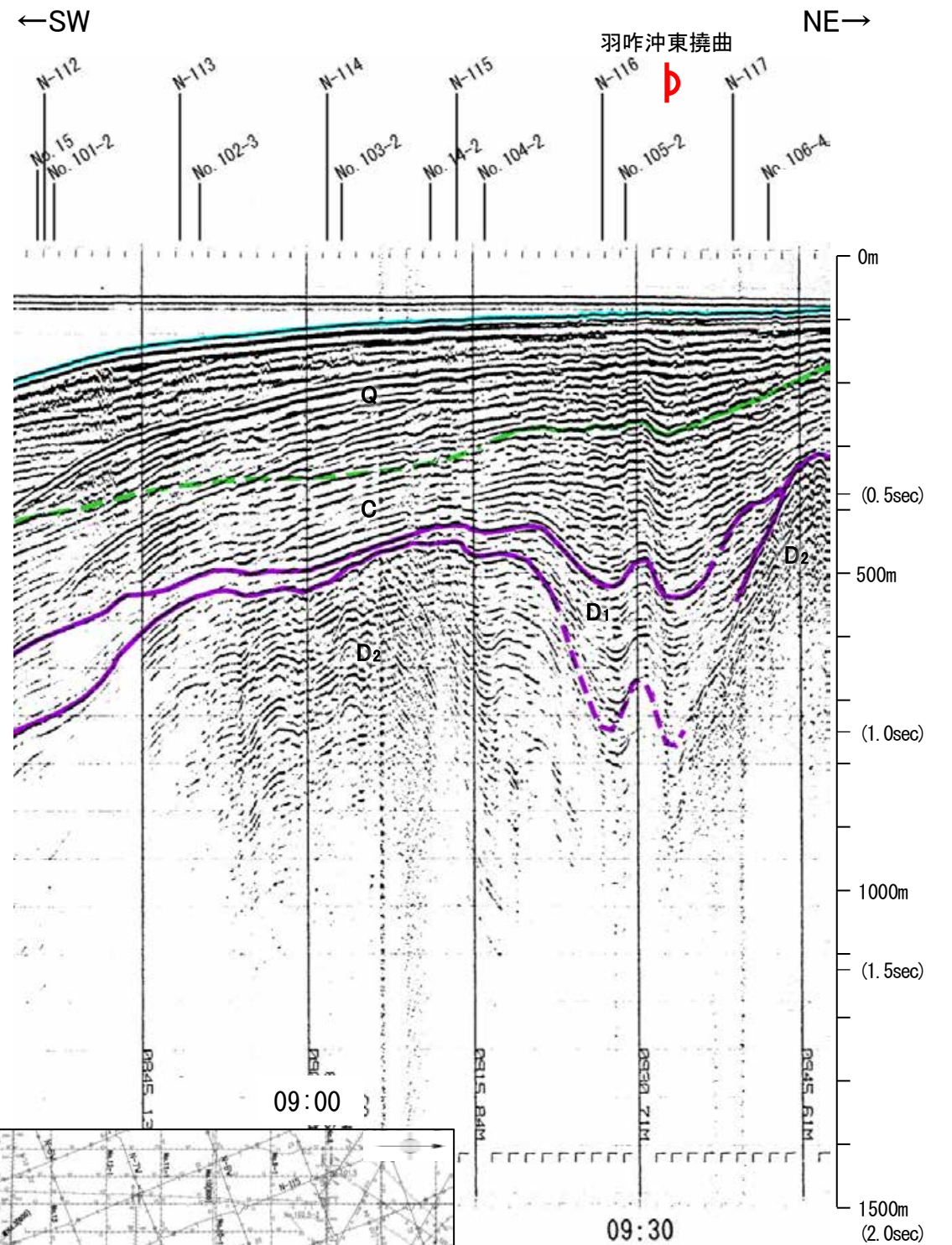
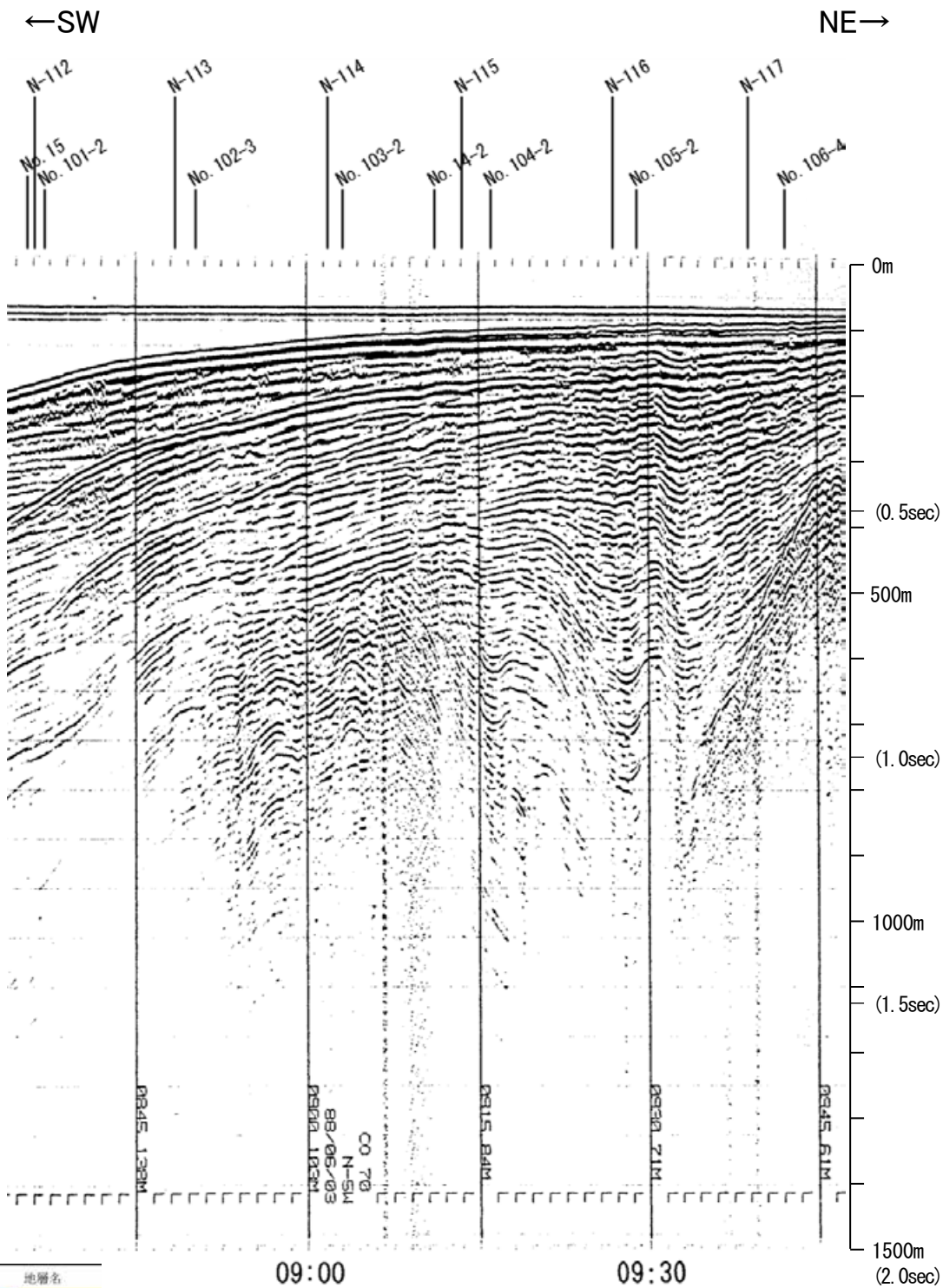
北陸電カスパーカー No.13



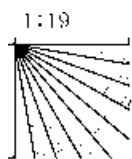
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	C ₁ 層
D層		D ₁ 層	
古第三紀	D層	D層	
先第三紀			



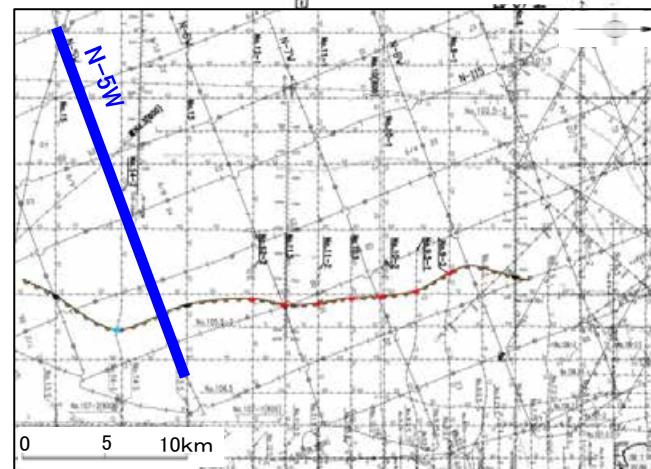
地質調査所エアガン N-5W



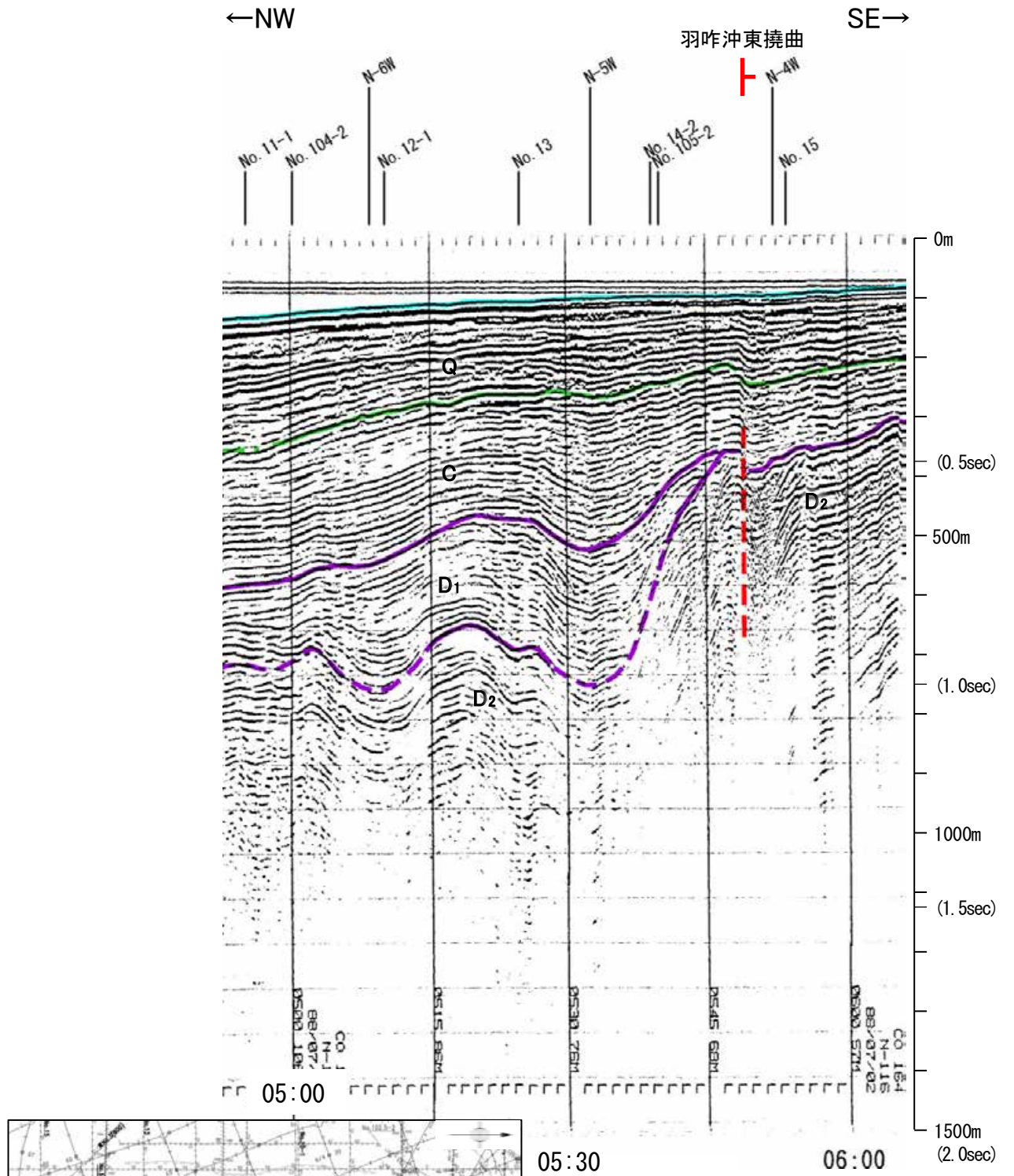
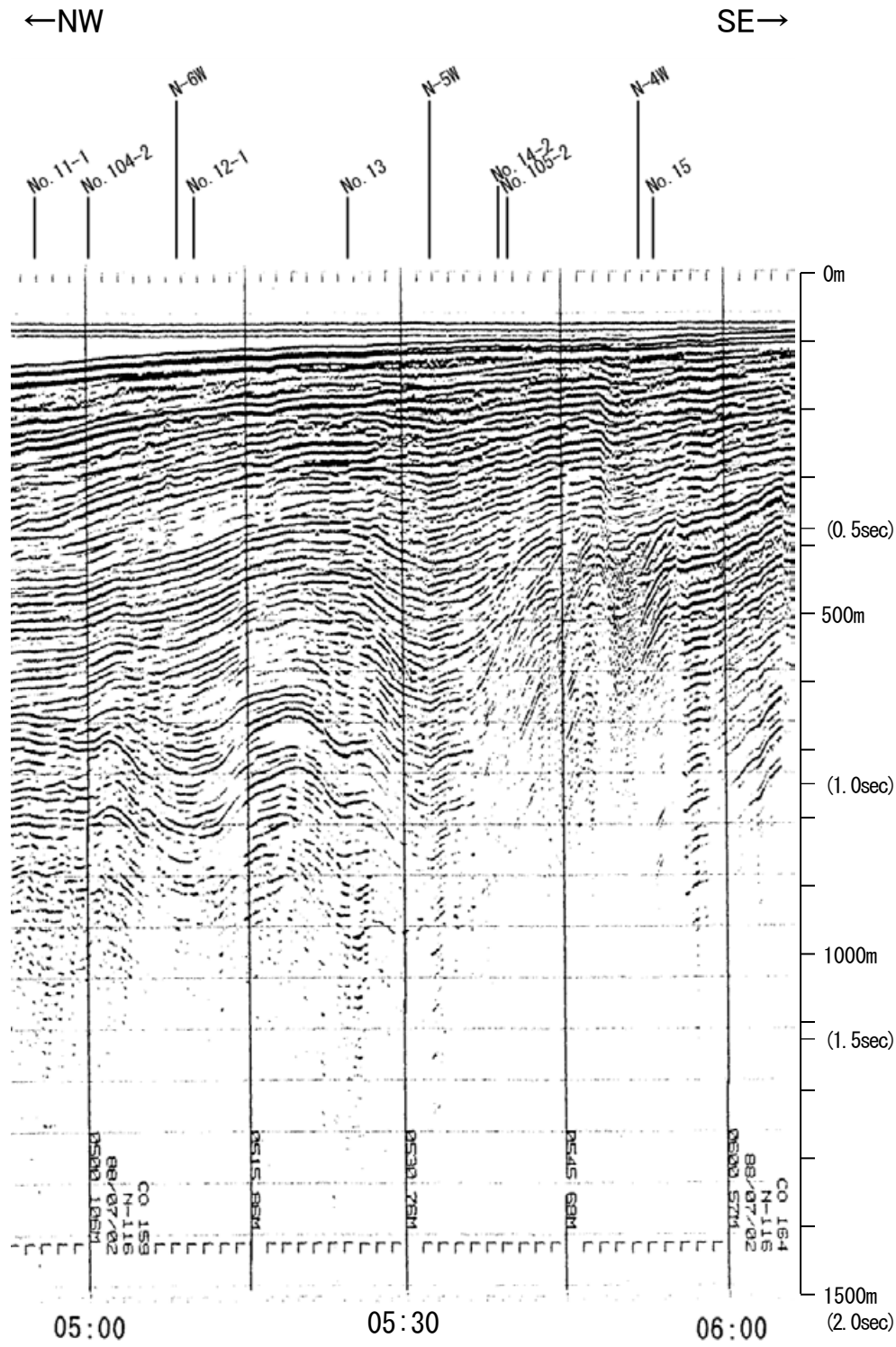
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世 中期	B層
	更新世 前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



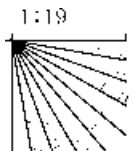
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



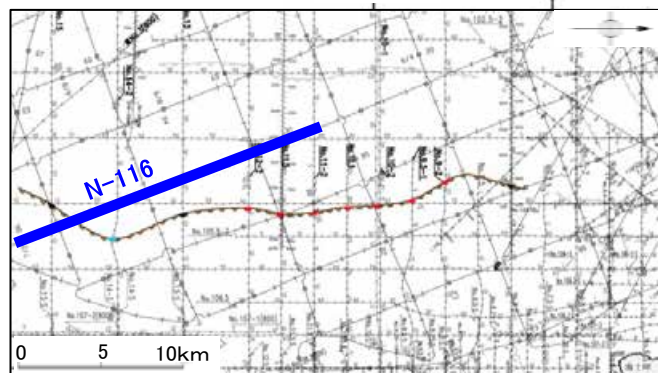
地質調査所エアガン N-116



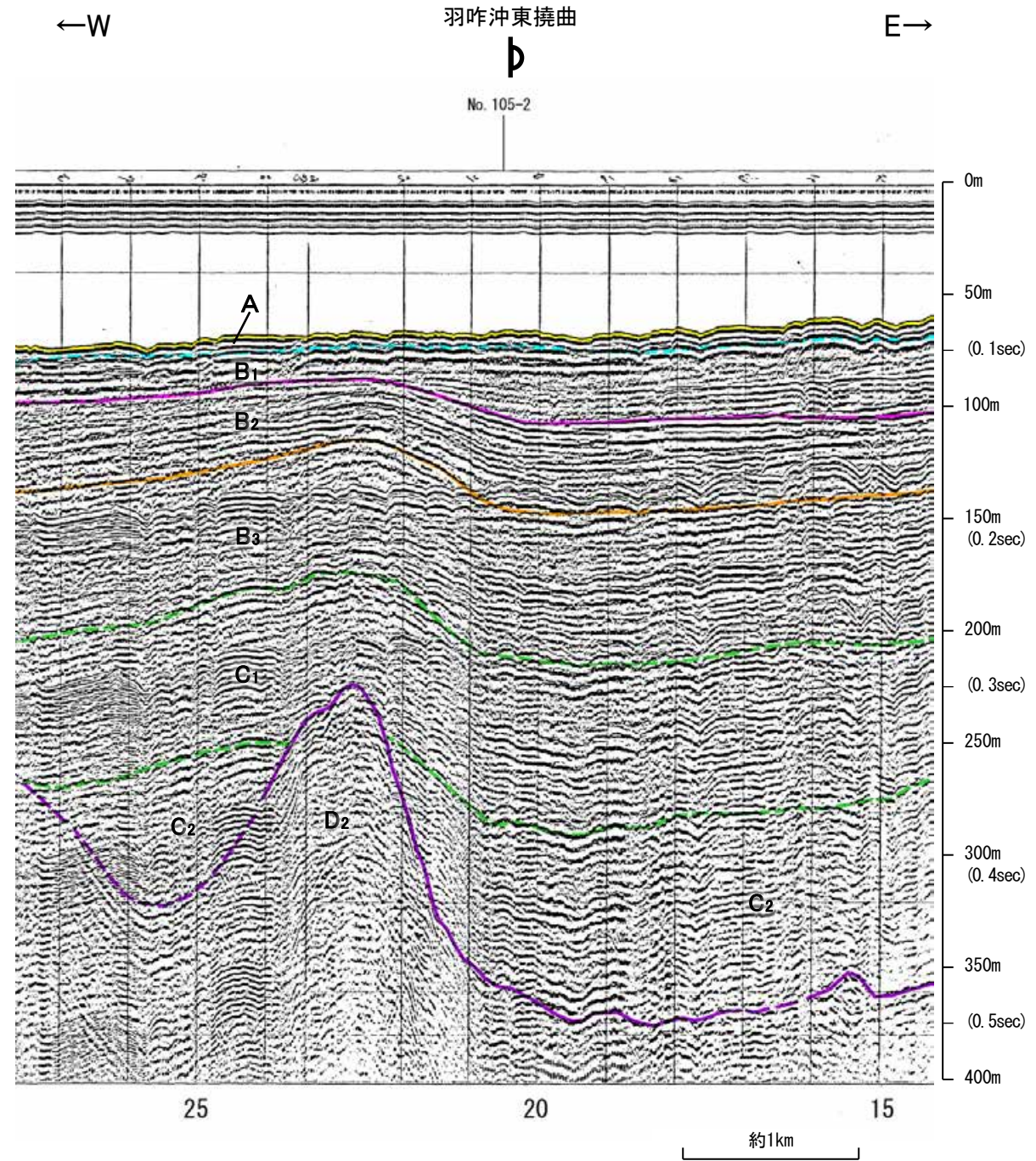
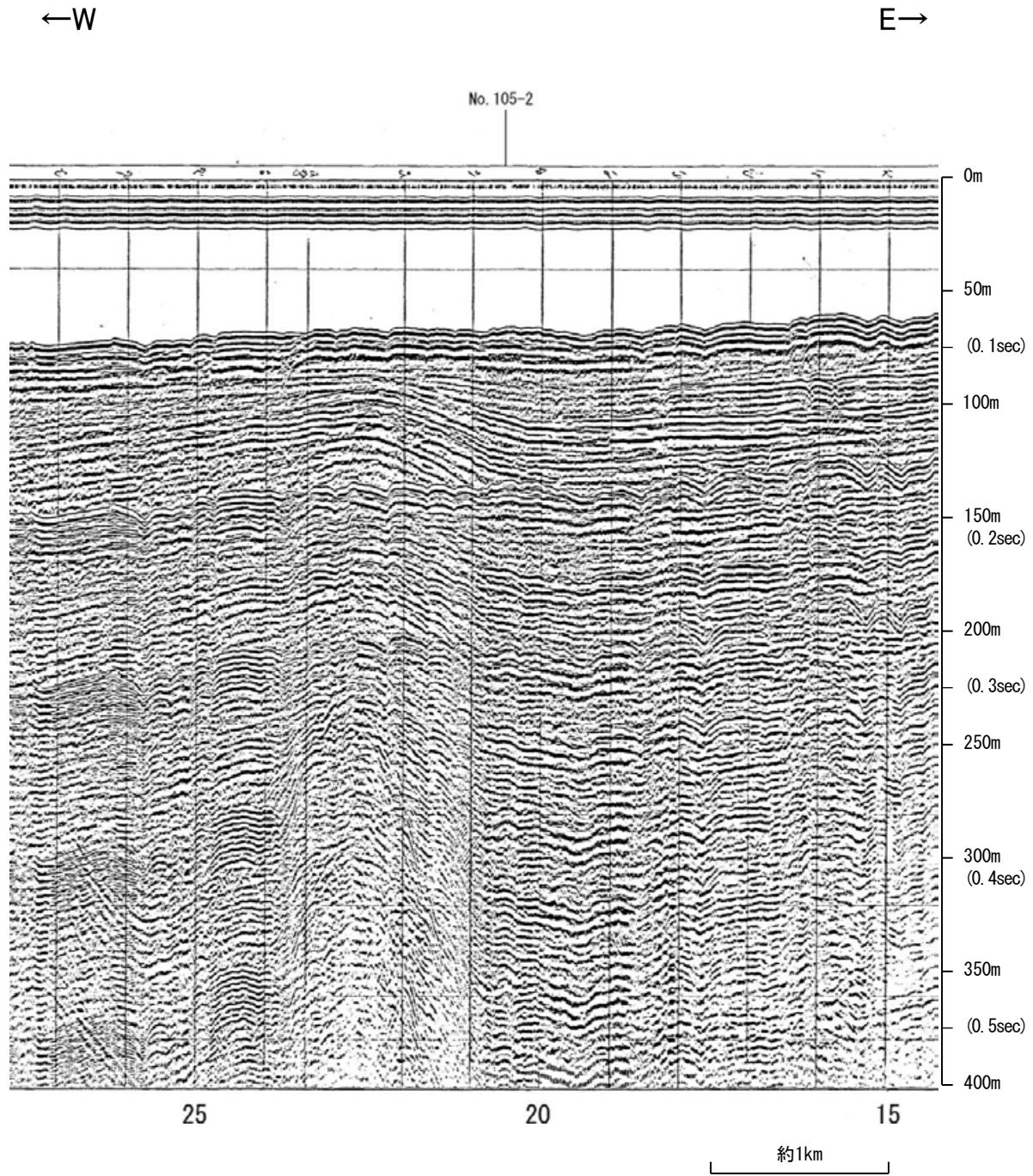
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世 中期	B層
	更新世 前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



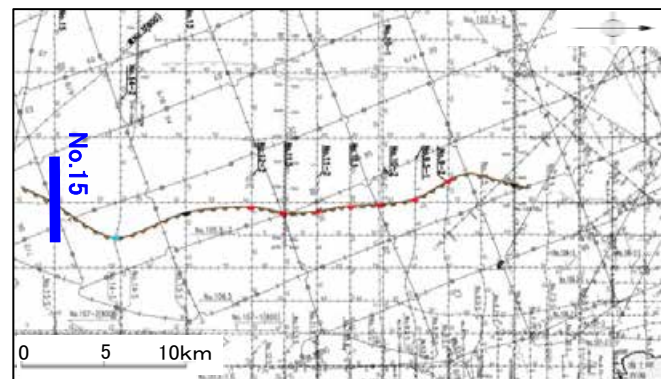
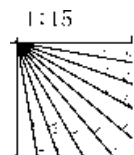
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



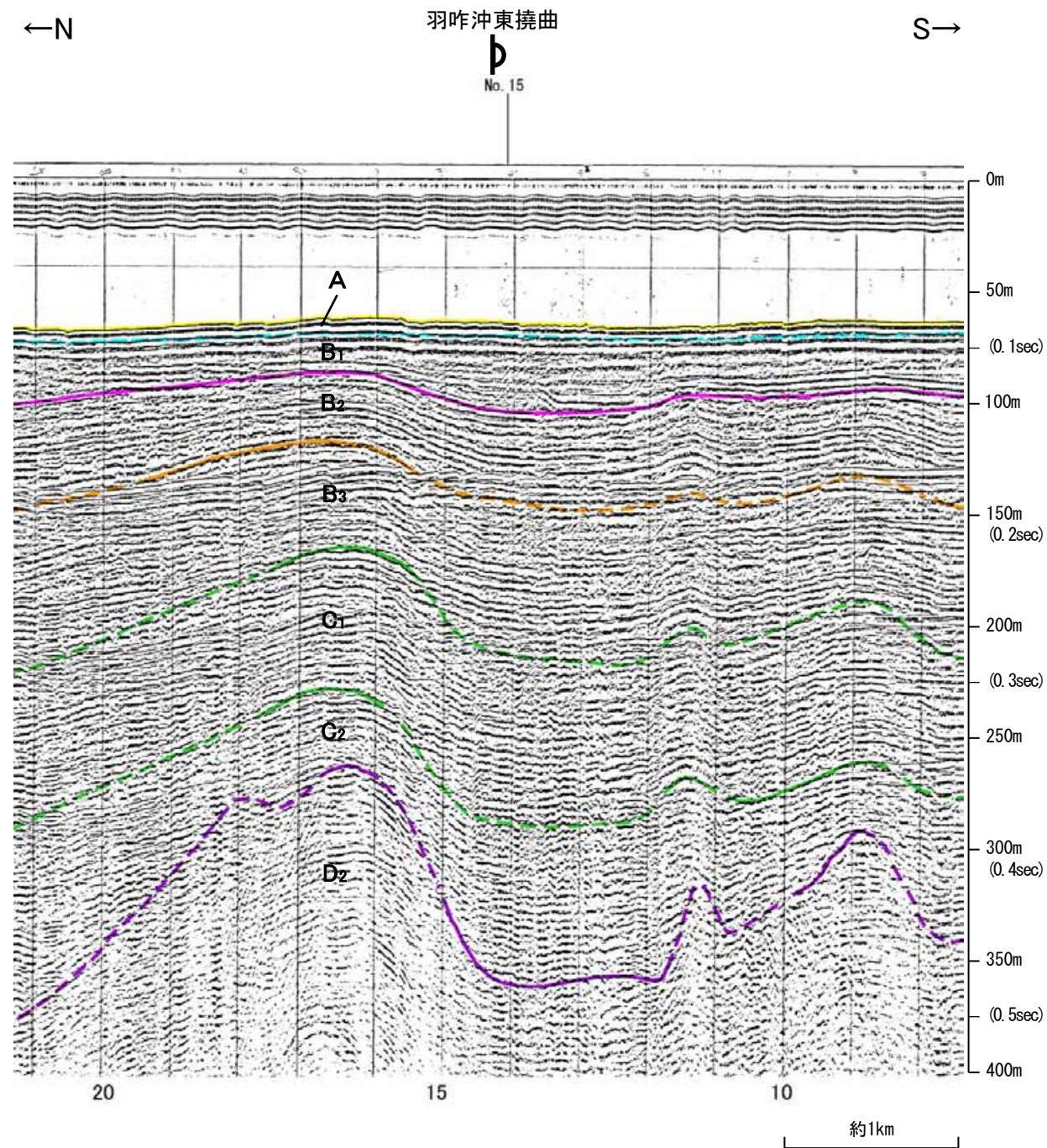
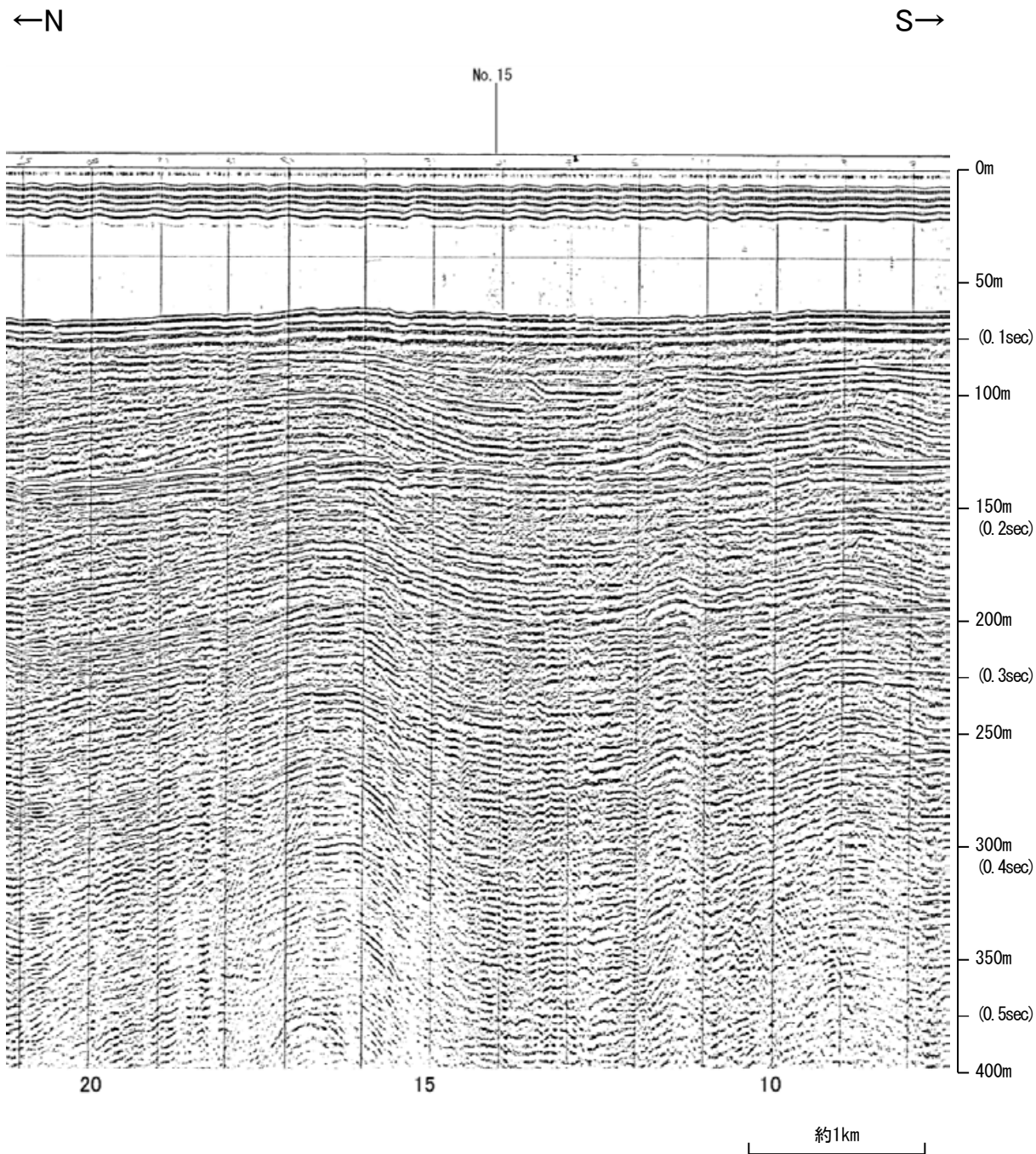
北陸電カスパーカー No.15



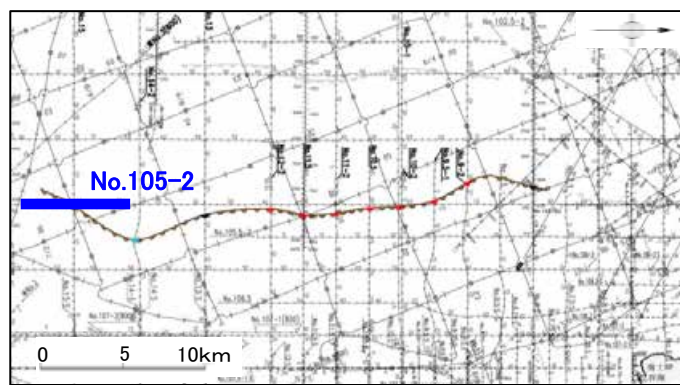
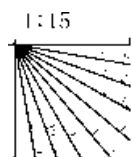
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層	
	中新世	C ₂ 層	
	D層	D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



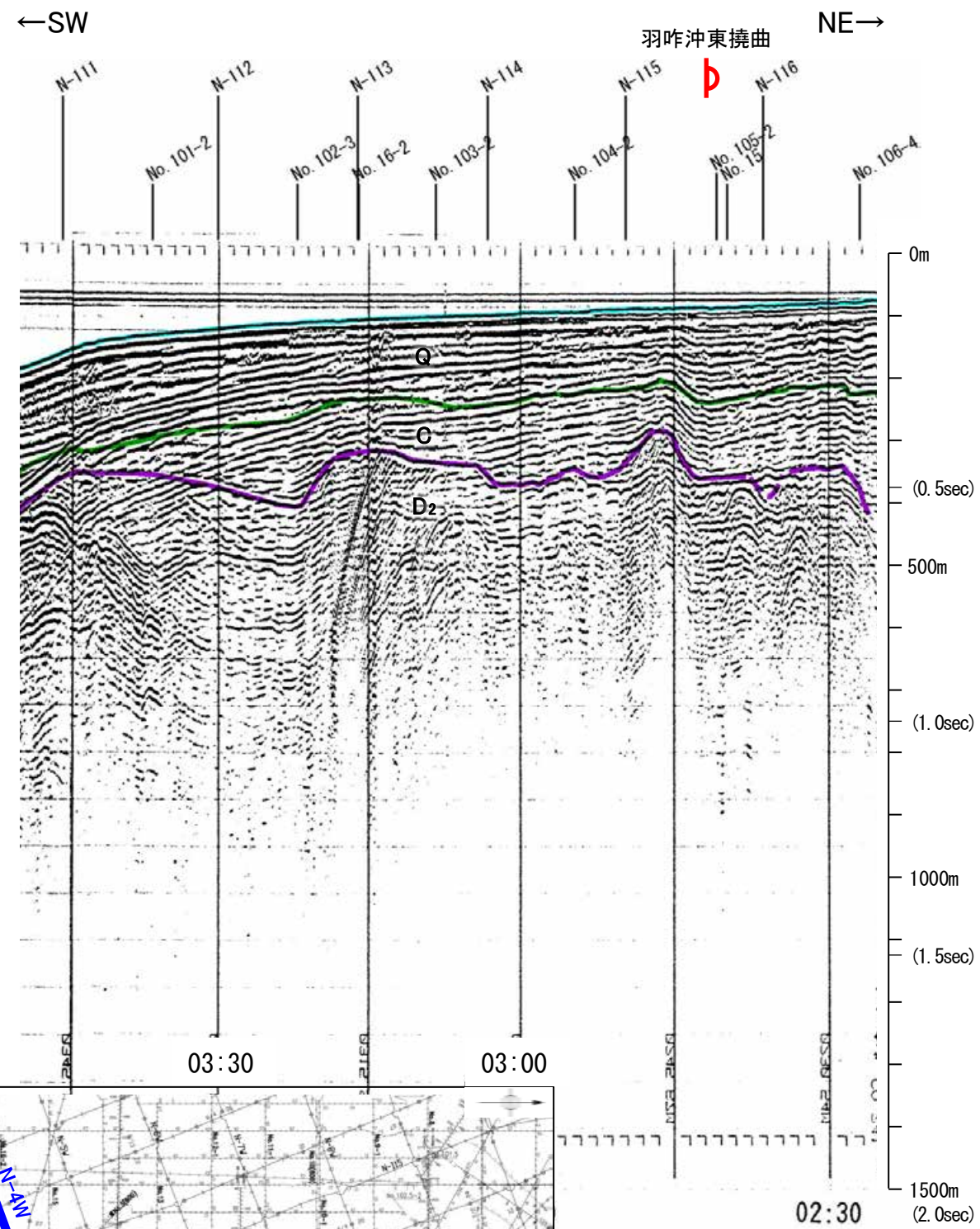
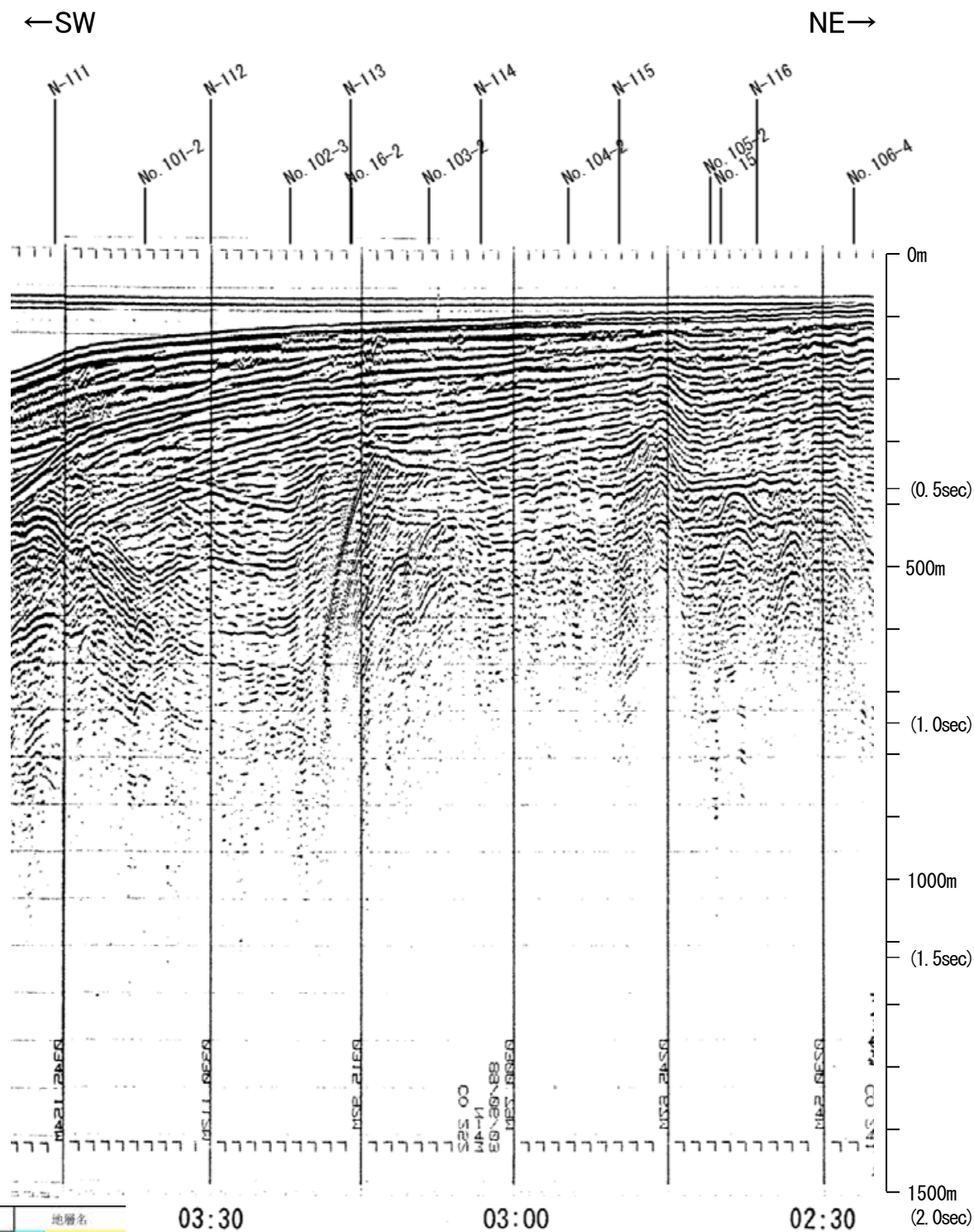
北陸電カスパーカー No.105-2



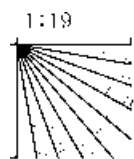
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
C ₂ 層		
第三紀	鮮新世	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
古第三紀		D層
先第三紀		D層



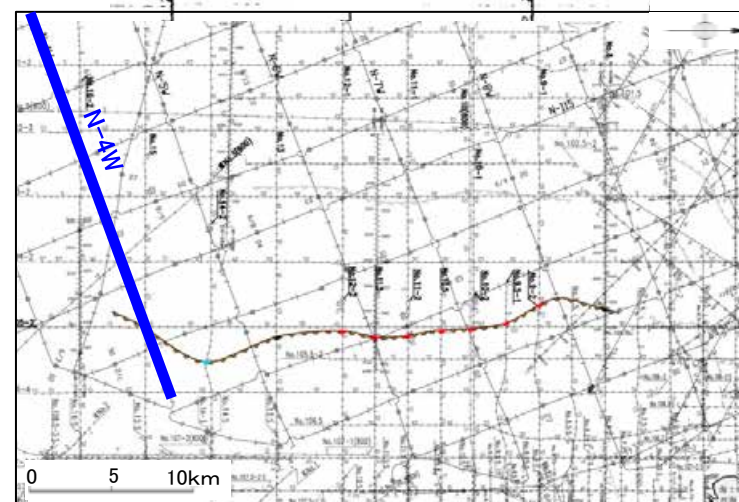
地質調査所エアガン N-4W



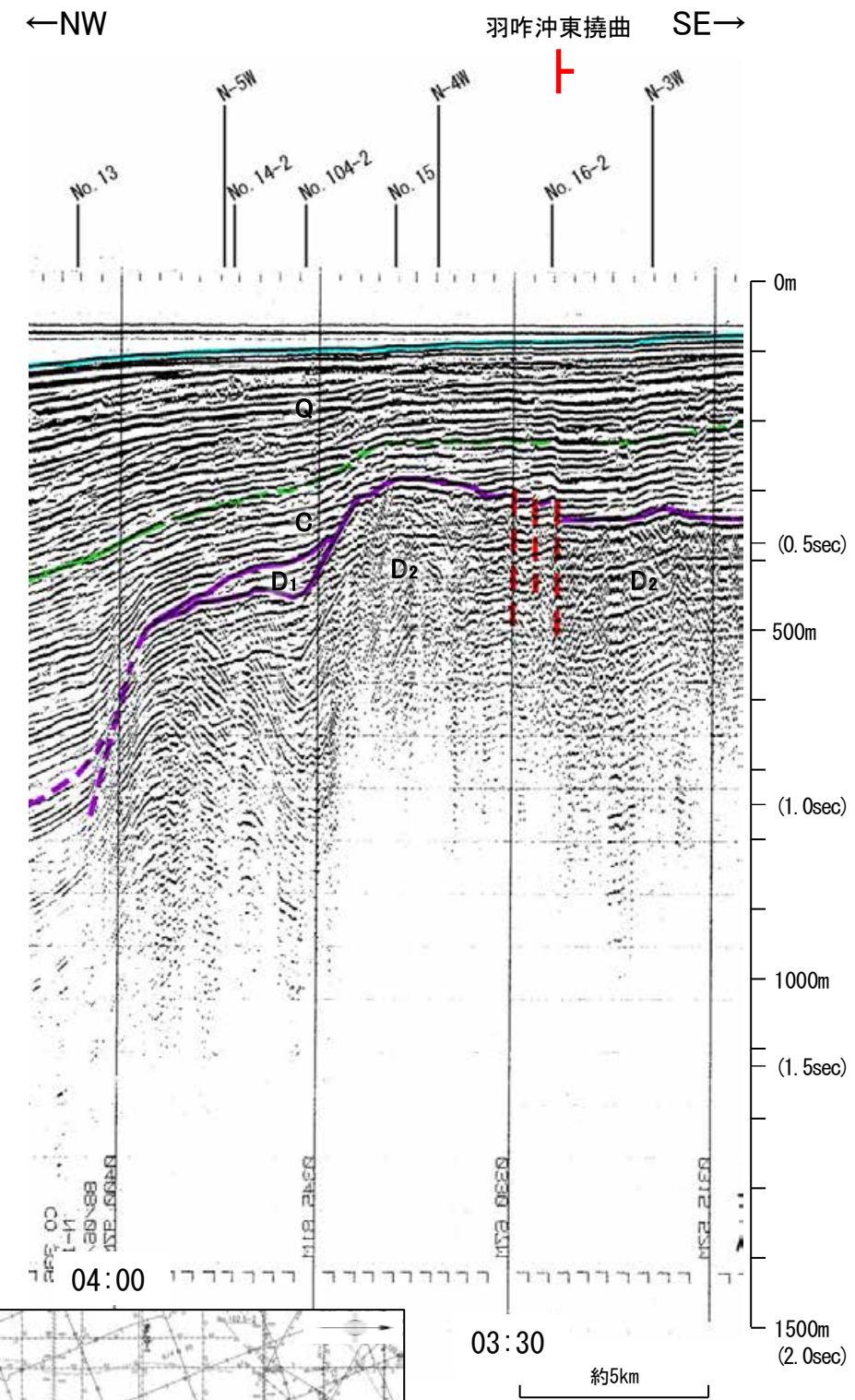
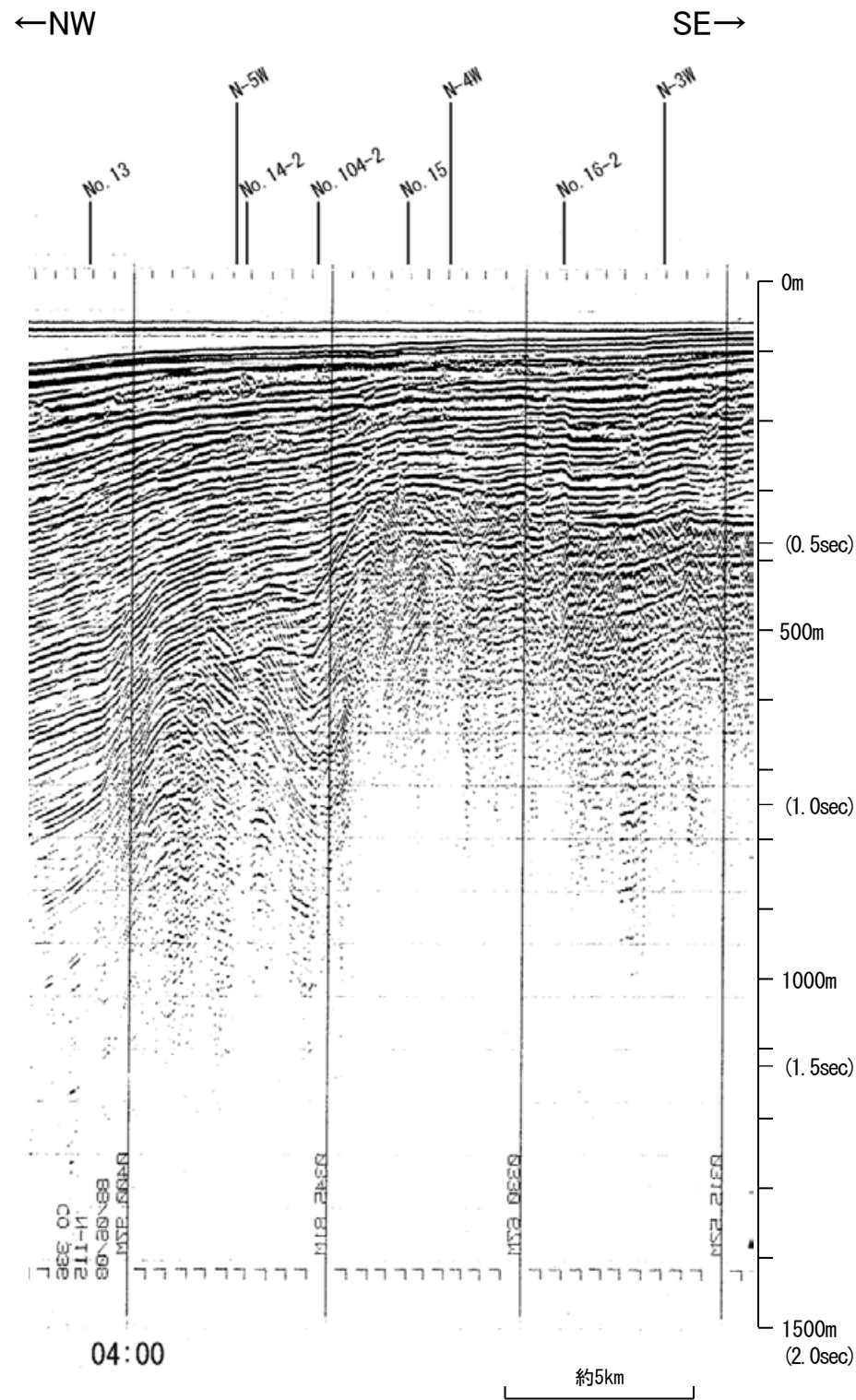
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	更新世 中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	古第三紀	D層
先第三紀	D層	



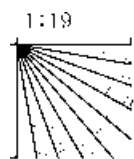
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



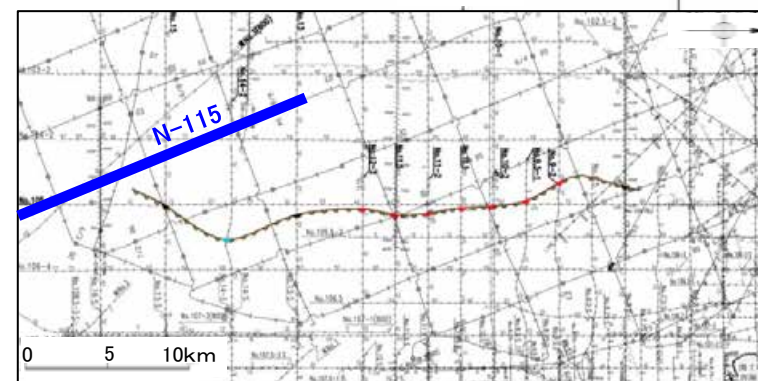
地質調査所エアガン N-115



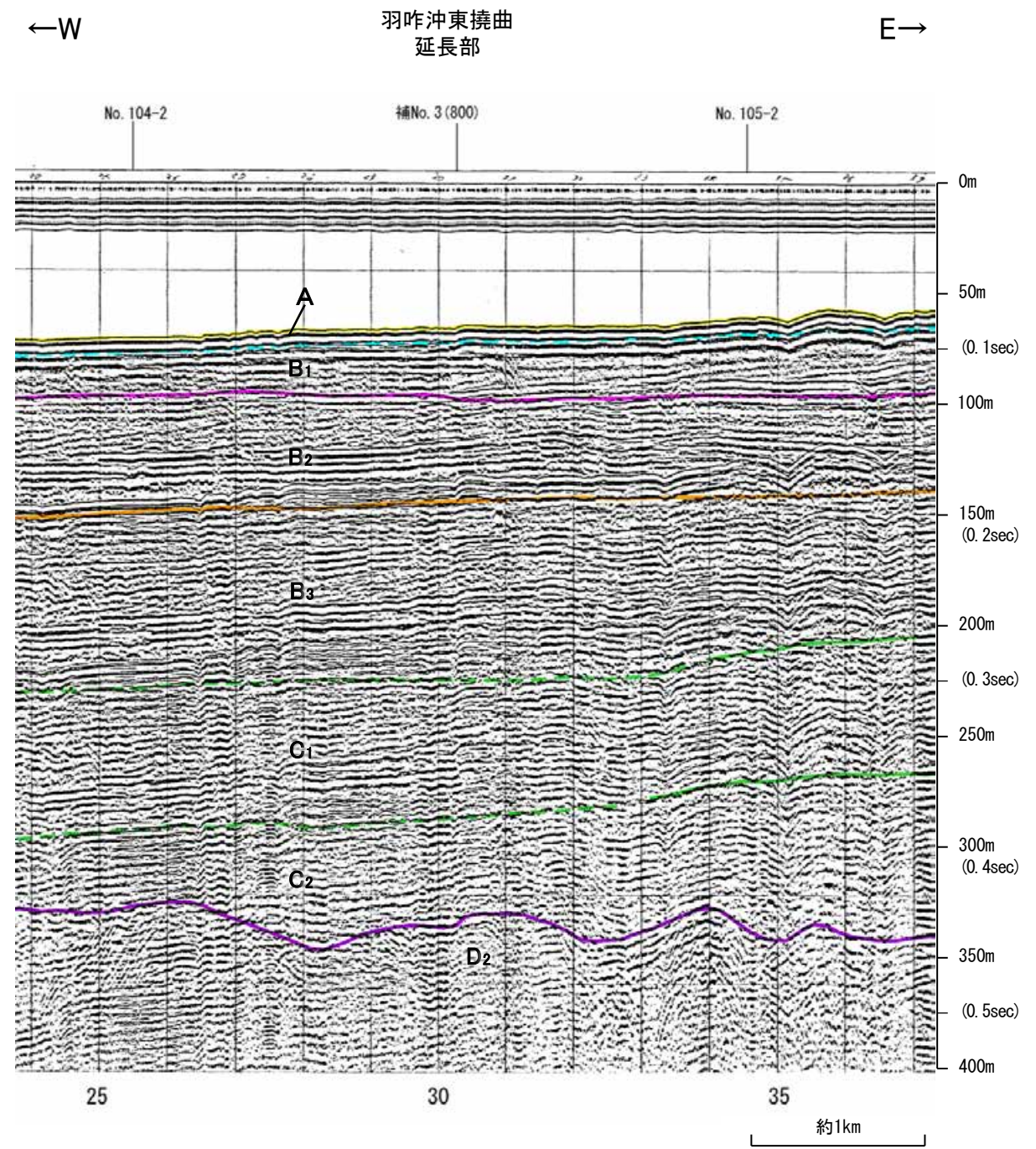
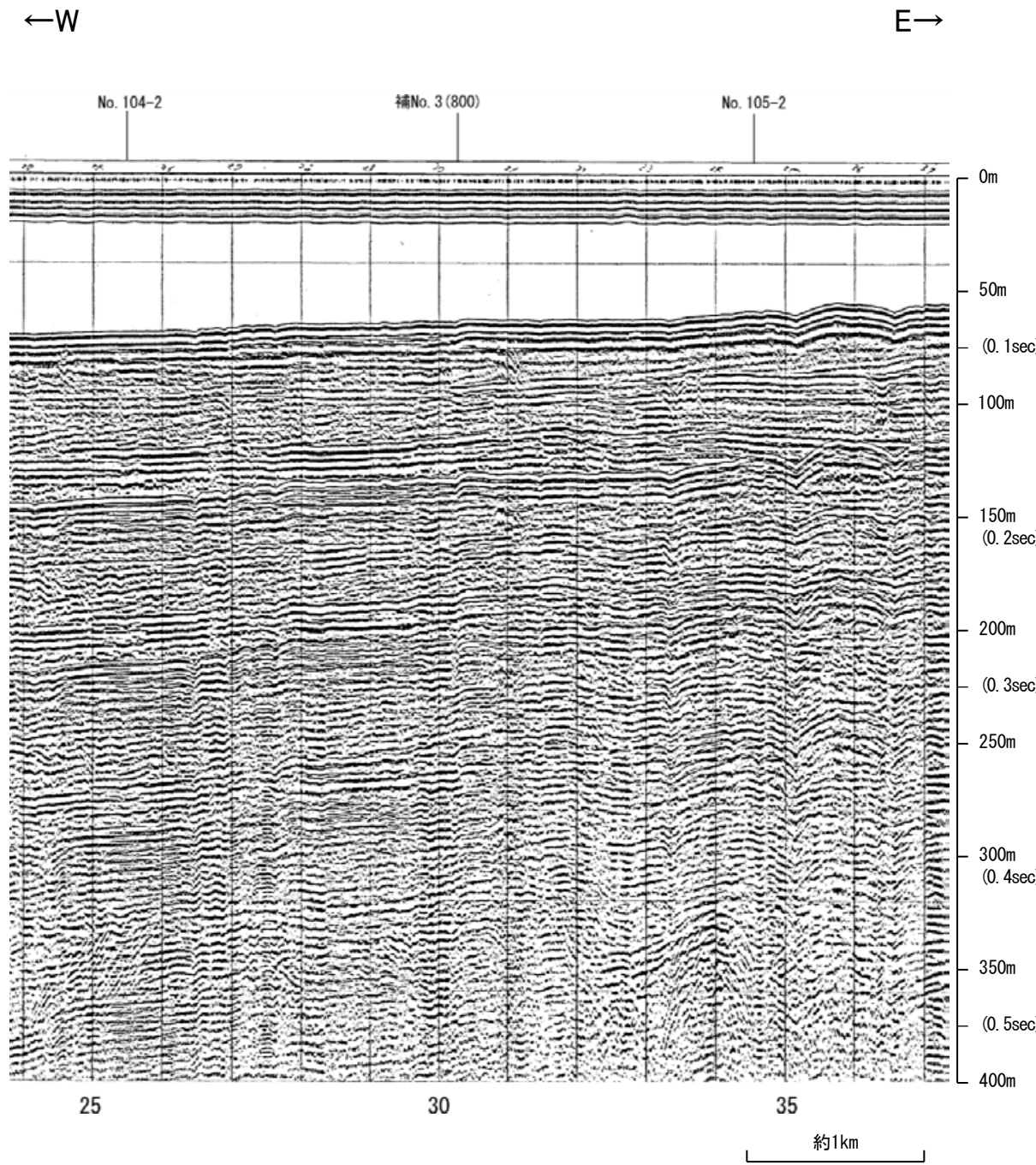
地質時代	地層名
第四紀	完新世 A層
	後期 B層
	更新世中期 B層
	更新世前期 C層
第三紀	鮮新世 C層
	中新世 D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層



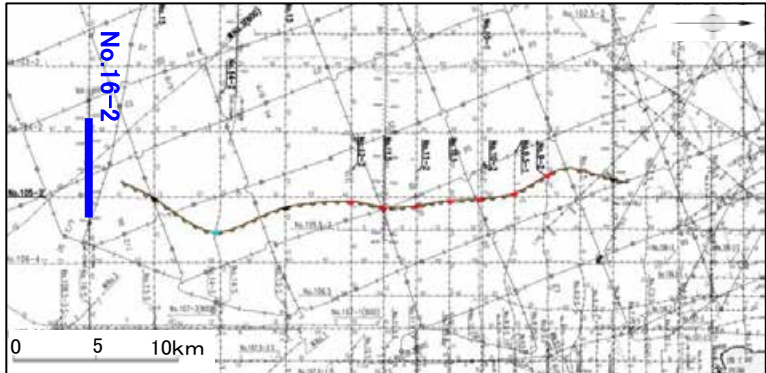
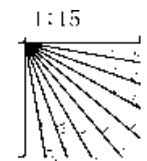
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである



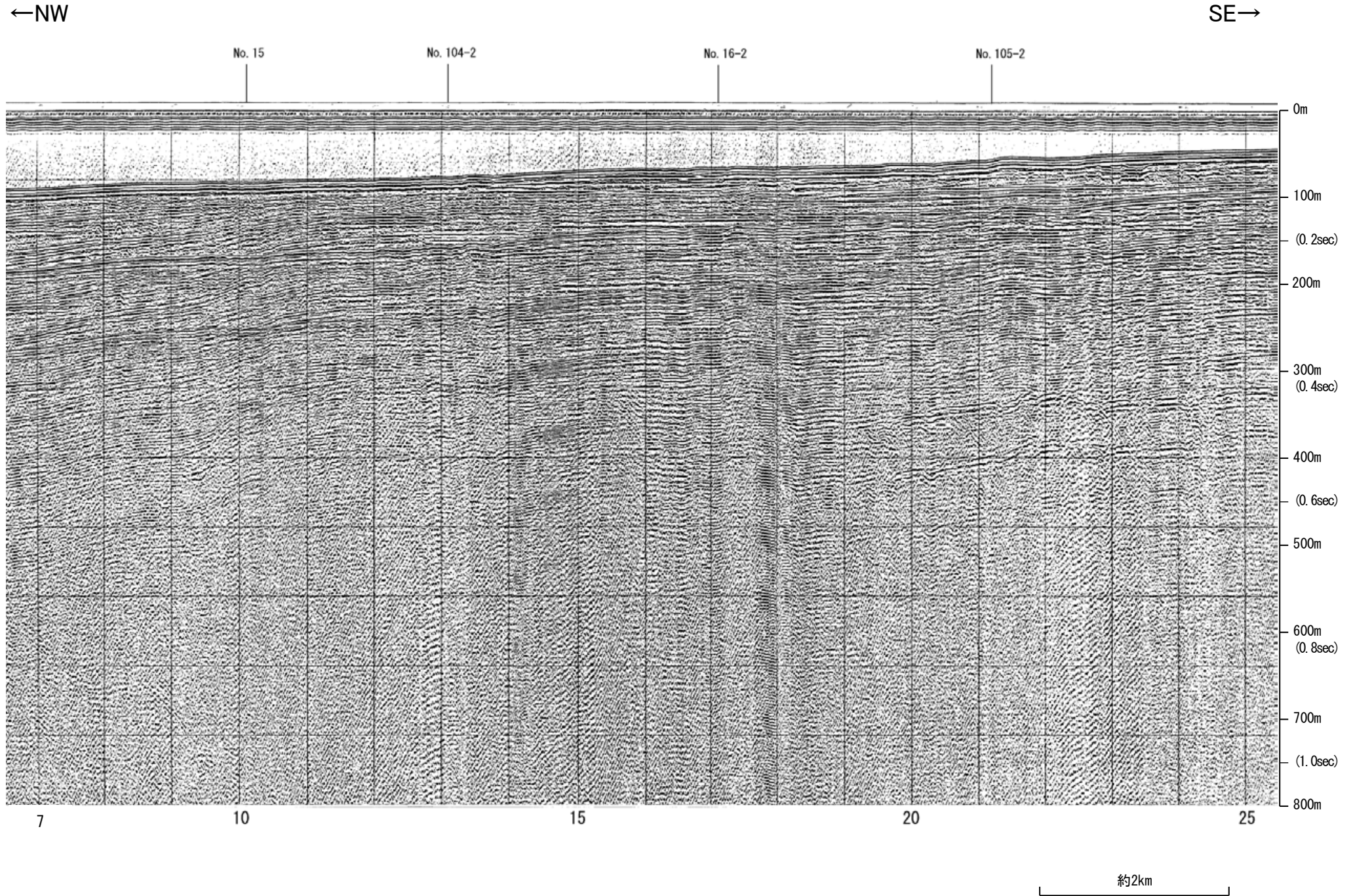
北陸電カスパーカー No.16-2



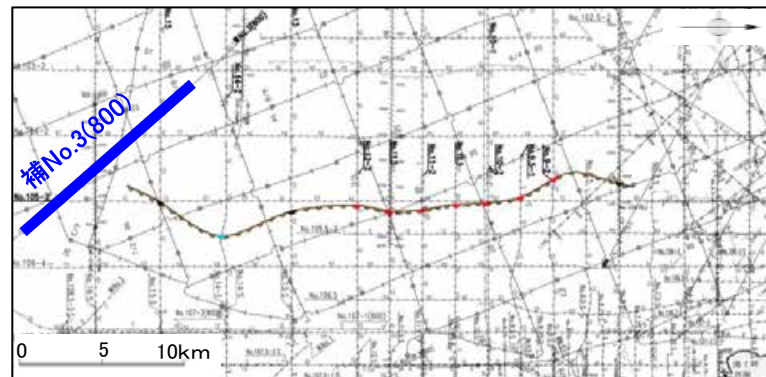
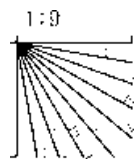
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
C ₂ 層		
鮮新世	D ₁ 層	
	D ₂ 層	
中新世	D層	
古第三紀		D層
先第三紀		D層



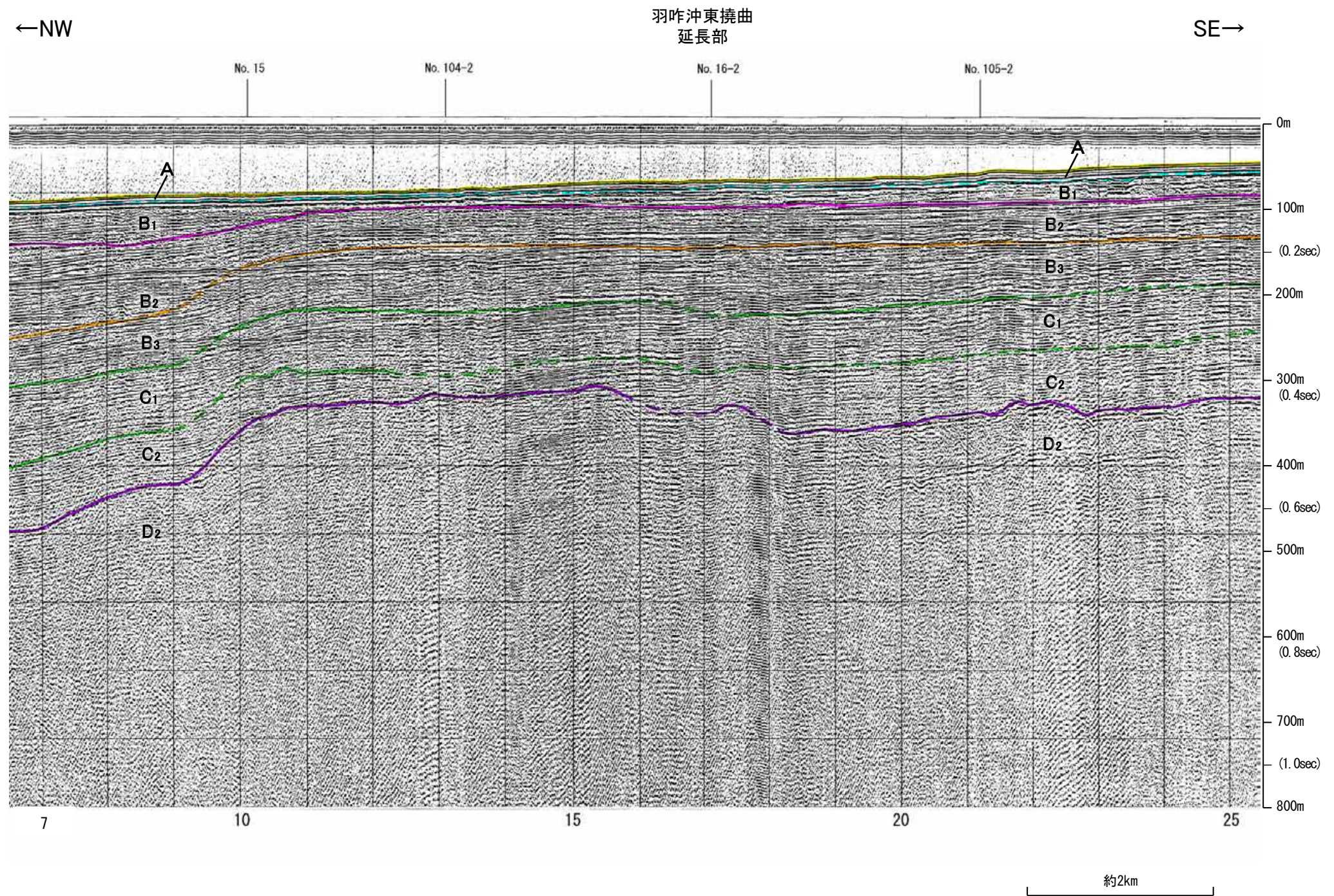
北陸電カスパーカー 補No.3(800)



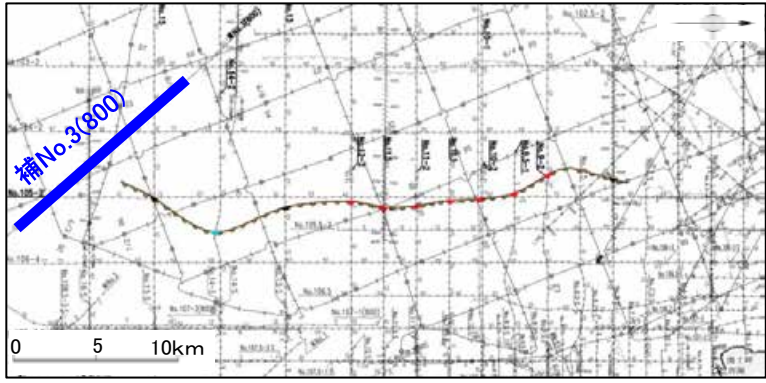
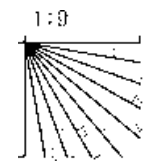
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
	第三紀	鮮新世	C ₂ 層
中新世		D ₁ 層	
古第三紀		D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	



北陸電カスパーカー 補No.3(800)



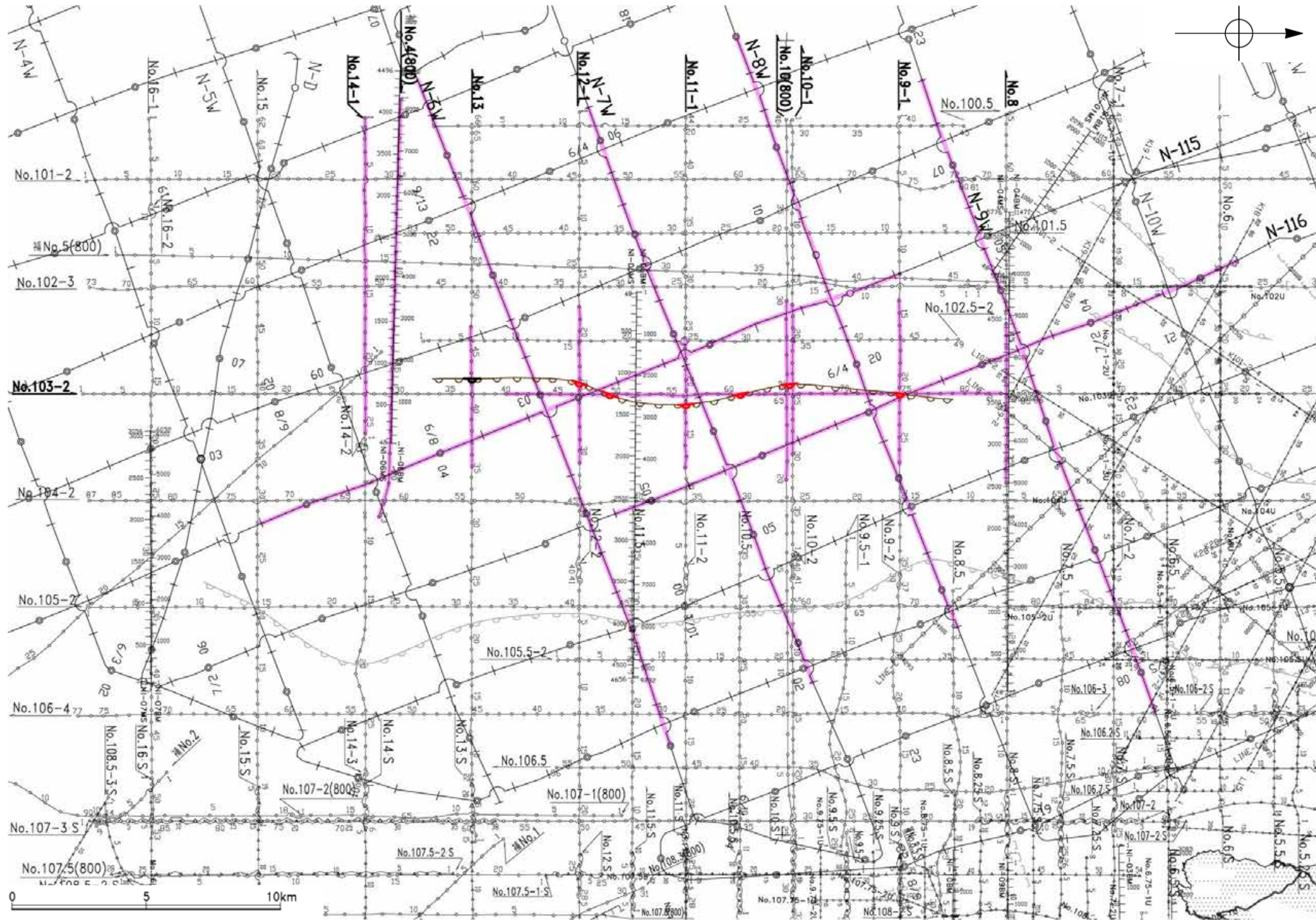
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C ₁ 層	
第三紀	中新世	C ₂ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀		D層	



余白

羽咋沖西撓曲

音波探査記録 添付測線(羽咋沖西撓曲)

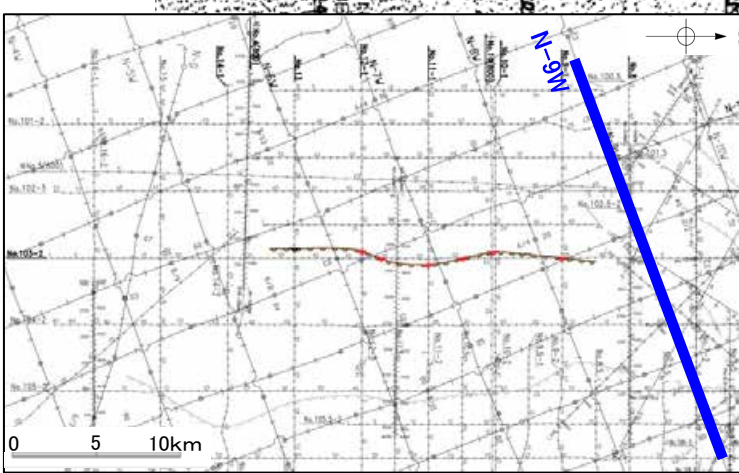
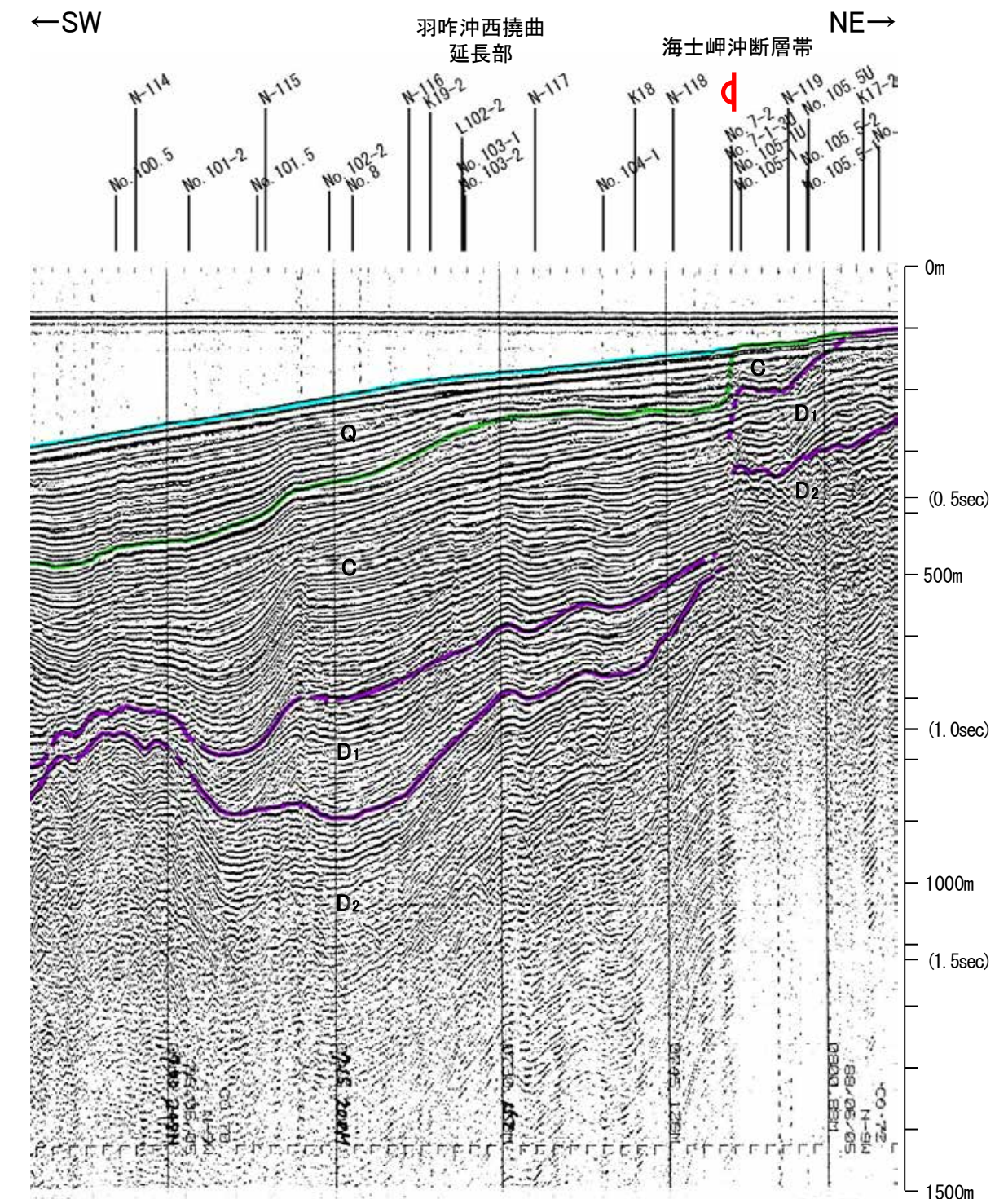
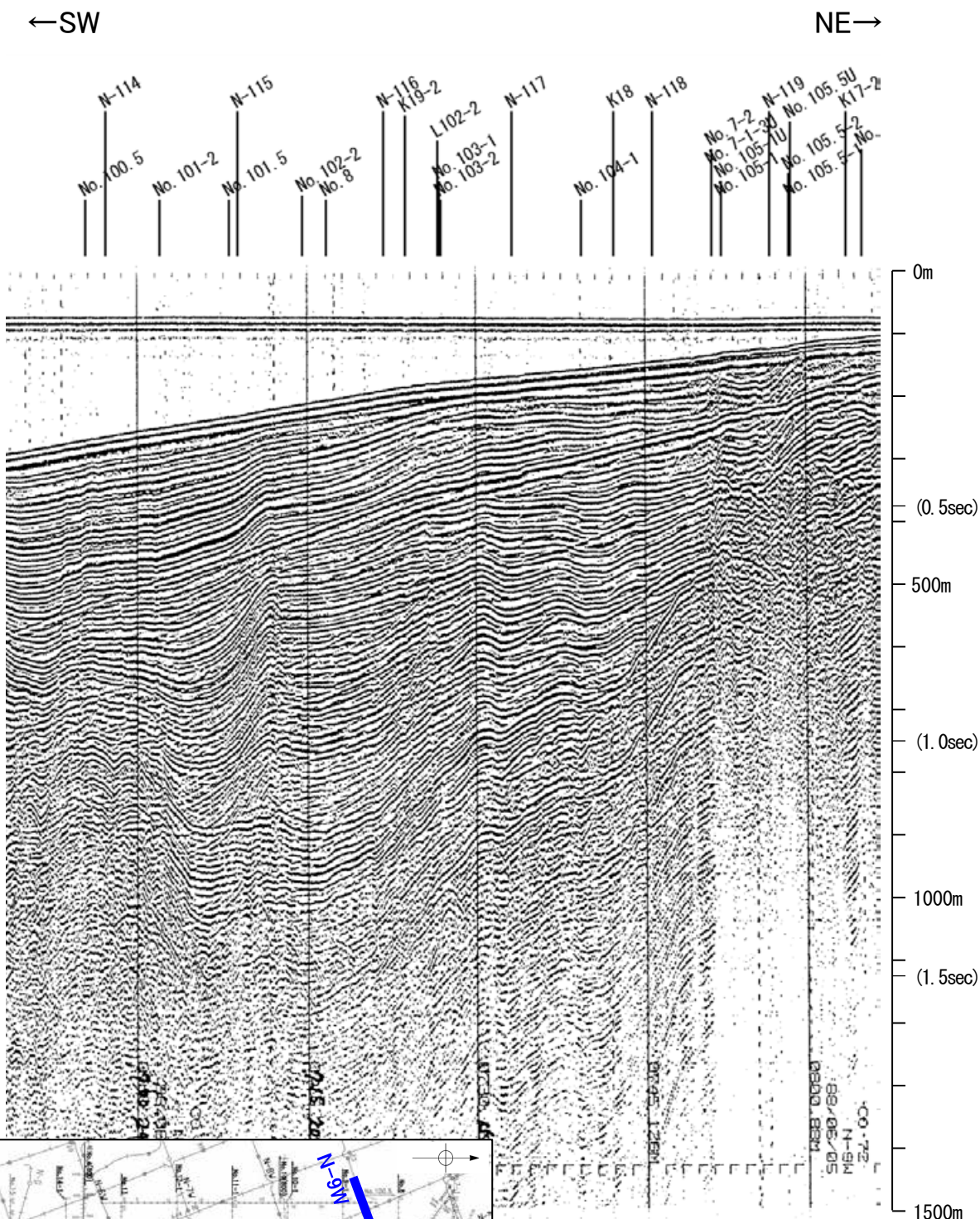


凡 例

- | | | |
|---|--|--|
| <p>
 断層 (伏在断層)
 断層
 伏在断層 } 連続性のない断層
 撓曲 </p> <p> (測線位置における活動性)
 B₁層以上に変位, 変形が認められる
 B₁層以上に変位, 変形の可能性が否定できない </p> | <p> No. 8 調査測線 (北陸電力: スーパー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
 No. 9・S 調査測線 (北陸電力: スーパー・シングルチャンネル・約360ジュール)
 No. 8U 調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)
 No. 11B 調査測線 (北陸電力: プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)
 LINE-A 調査測線 (東京大学地震研究所: エアガン・マルチチャンネル) </p> | <p> K17 調査測線 (東京大学地震研究所: プーマー・マルチチャンネル)
 L5 調査測線 (産業技術総合研究所: プーマー・マルチチャンネル)
 NI-06BM 調査測線 (原子力安全保安院: プーマー・マルチチャンネル)
 NI-06MS 調査測線 (原子力安全保安院: ウォーターガン・マルチチャンネル)
 N-118 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル) </p> |
|---|--|--|

添付した音波探査記録

地質調査所エアガン N-9W

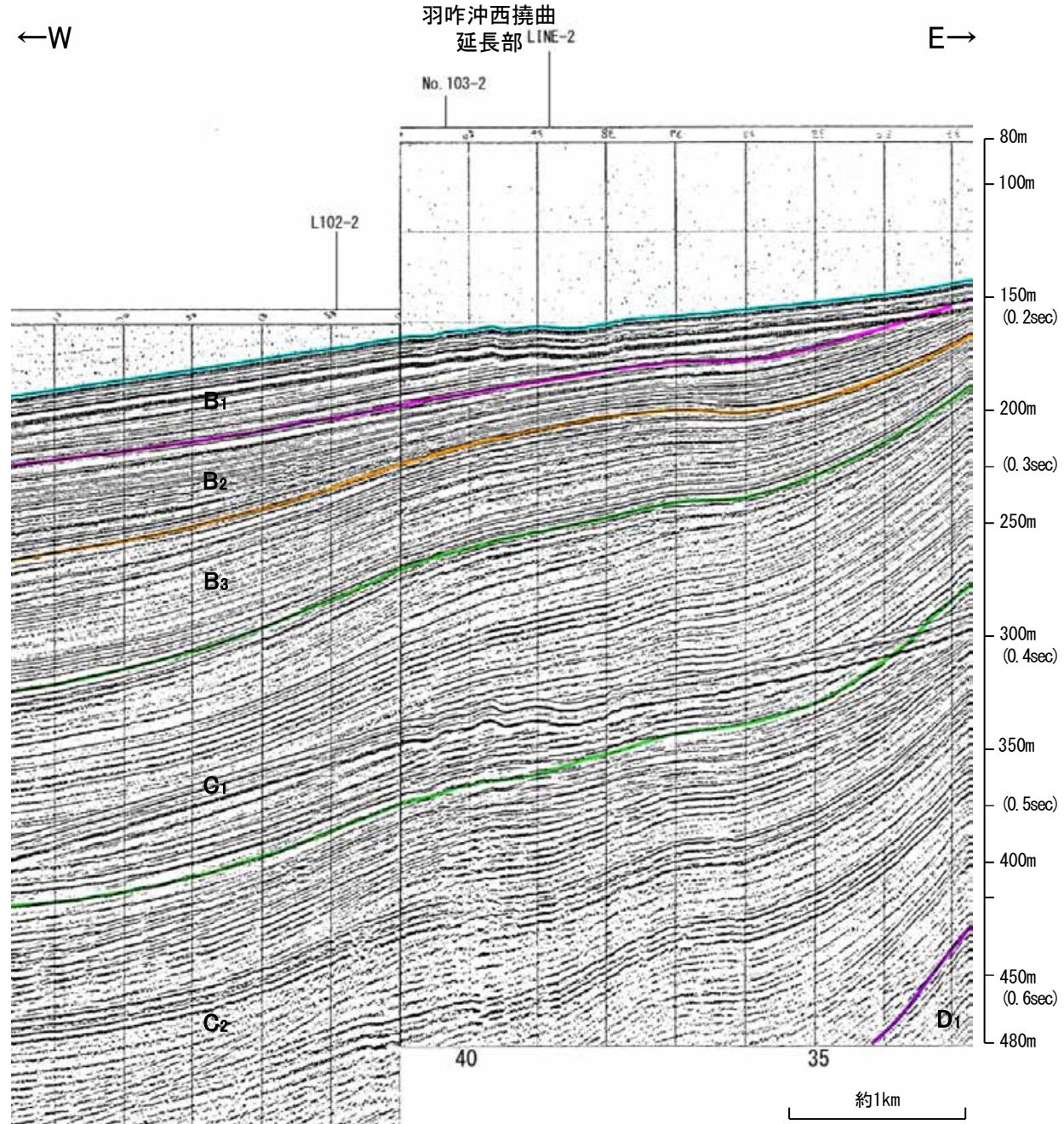
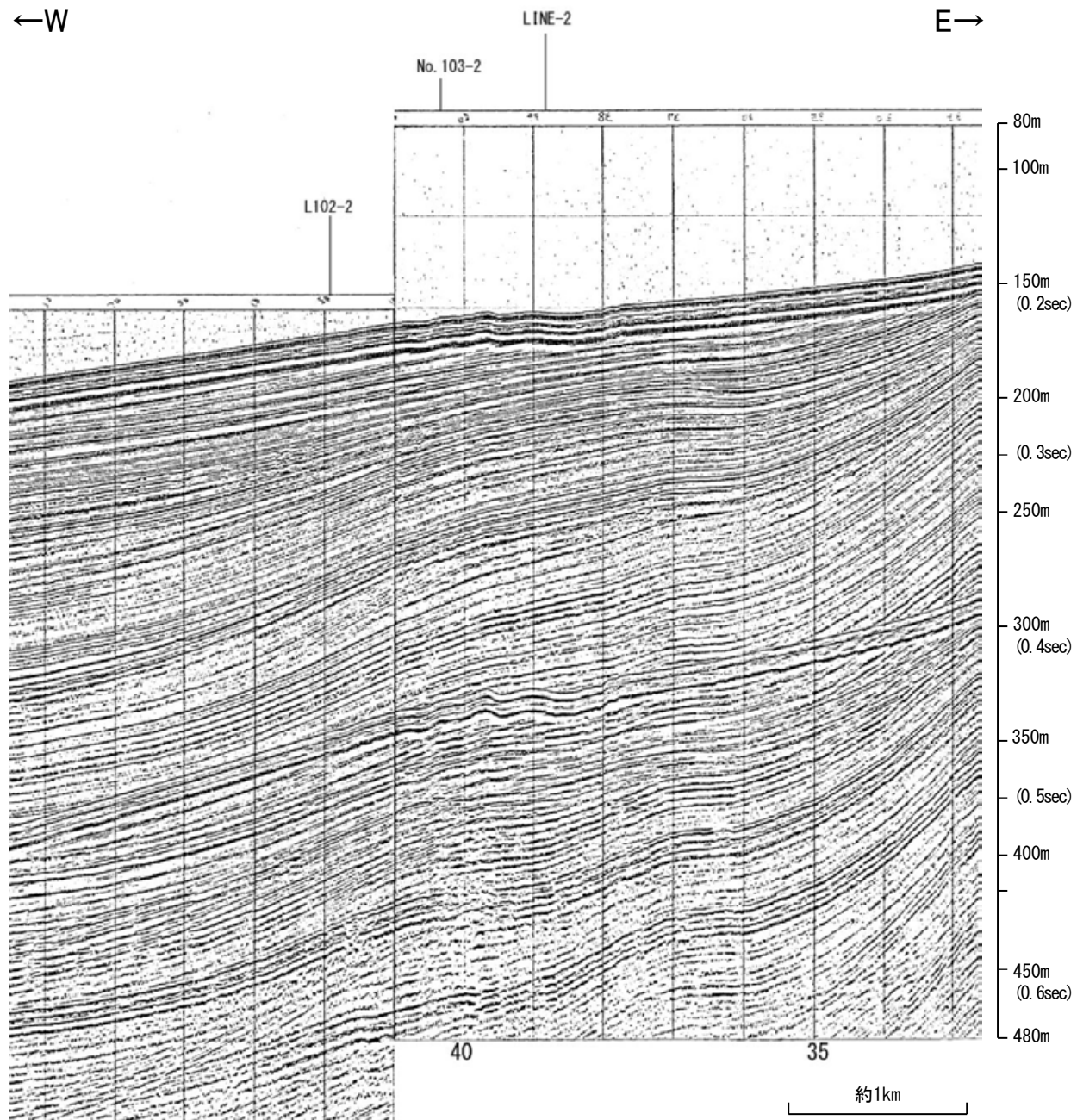


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

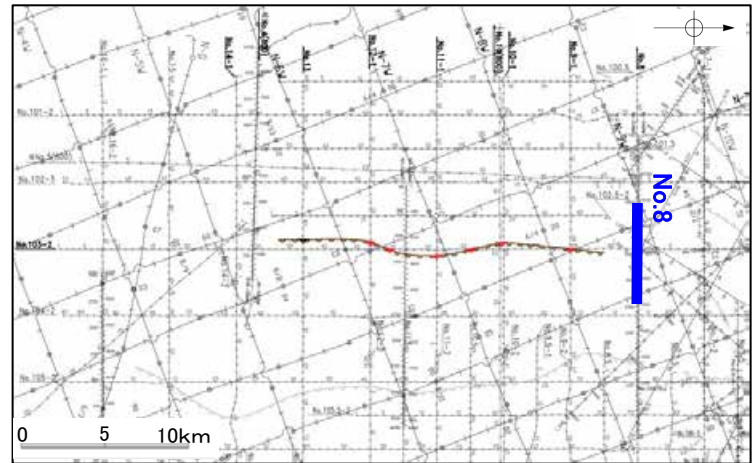
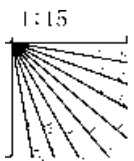
1:19

この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.8



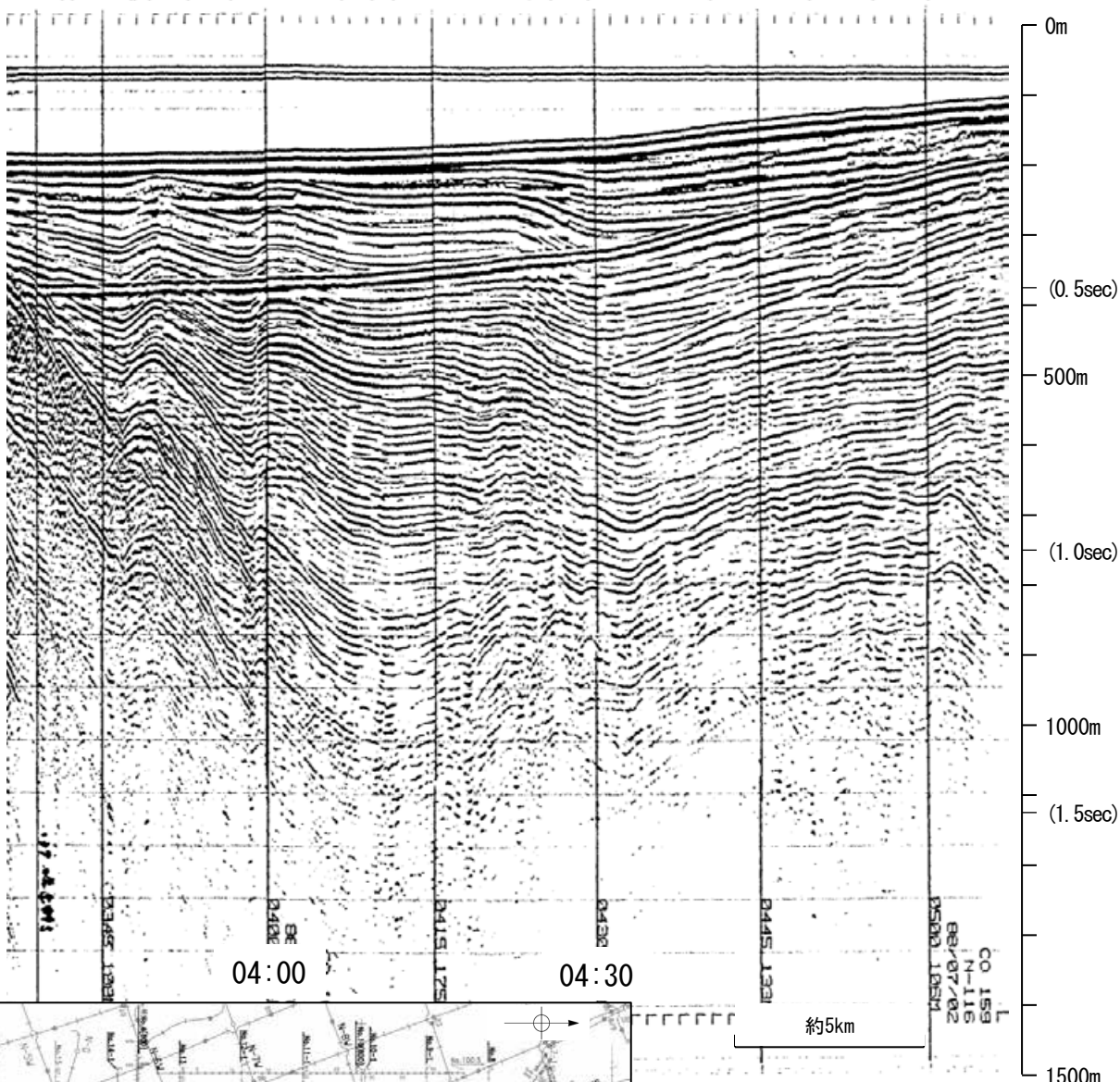
地質時代	地層名
第四紀	完新世 A層
	後期 B ₁ 層
	中期 B ₂ 層
	前期 B ₃ 層
	C層
第三紀	鮮新世 C ₁ 層
	中新世 D ₁ 層
古第三紀	D層
先第三紀	D層



地質調査所エアガン N-116

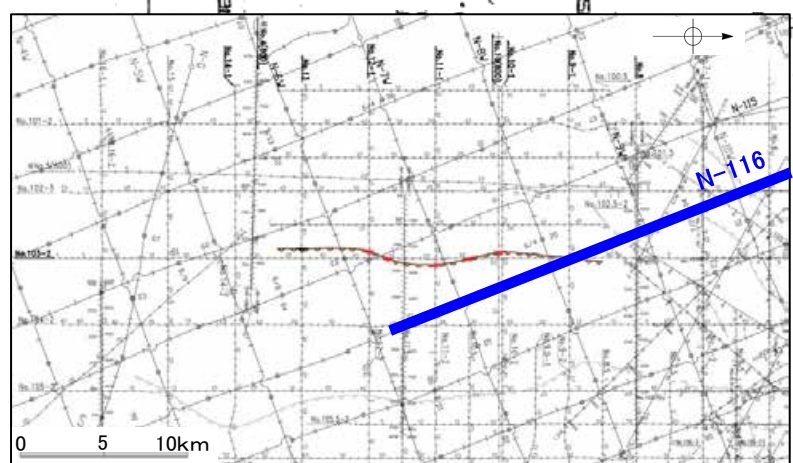
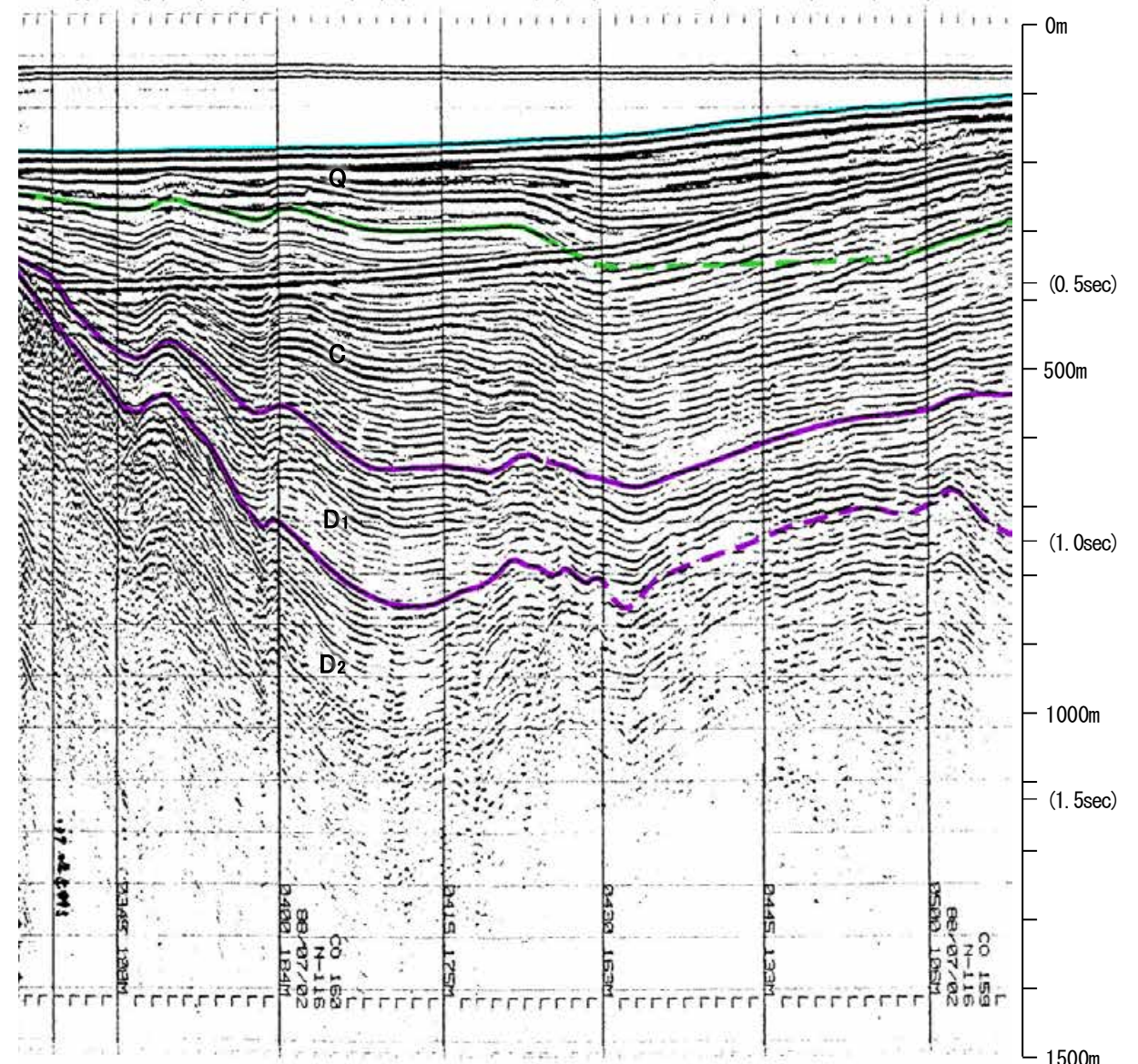
←NW SE→

K18 No. 6U No. 6
 N-10W K101-2 No. 102-2
 No. 7-1-1U No. 7-1
 K19-2 N-9W No. 8
 N-8W No. 103-2 No. 9-1
 No. 10-1
 N-7W No. 11-1
 No. 104-2



←NW SE→ 羽咋沖西撓曲 笹波沖断層帯(西部)

K18 No. 6U No. 6
 N-10W K101-2 No. 102-2
 No. 7-1-1U No. 7-1
 K19-2 N-9W No. 8
 N-8W No. 103-2 No. 9-1
 No. 10-1
 N-7W No. 11-1
 No. 104-2

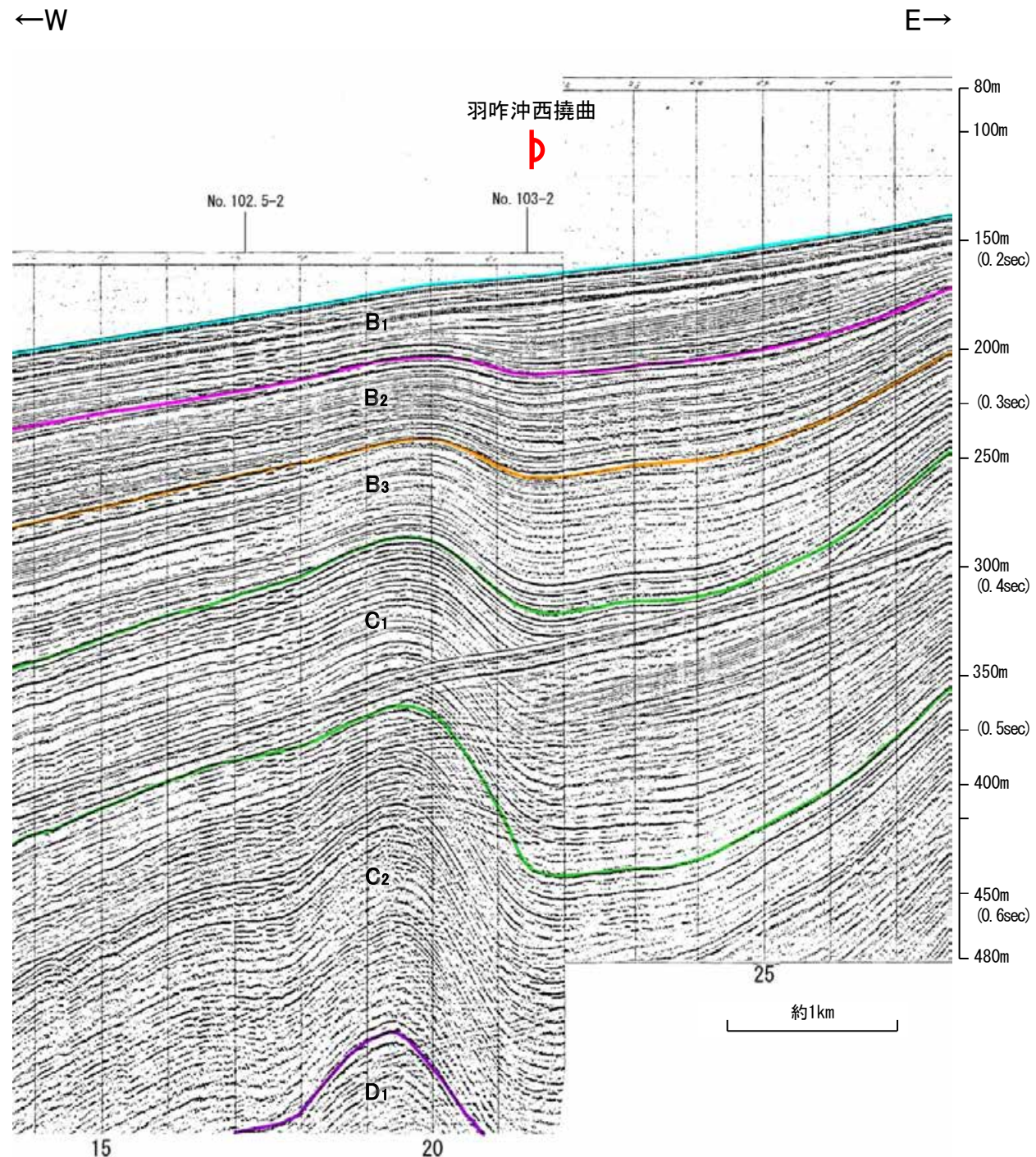
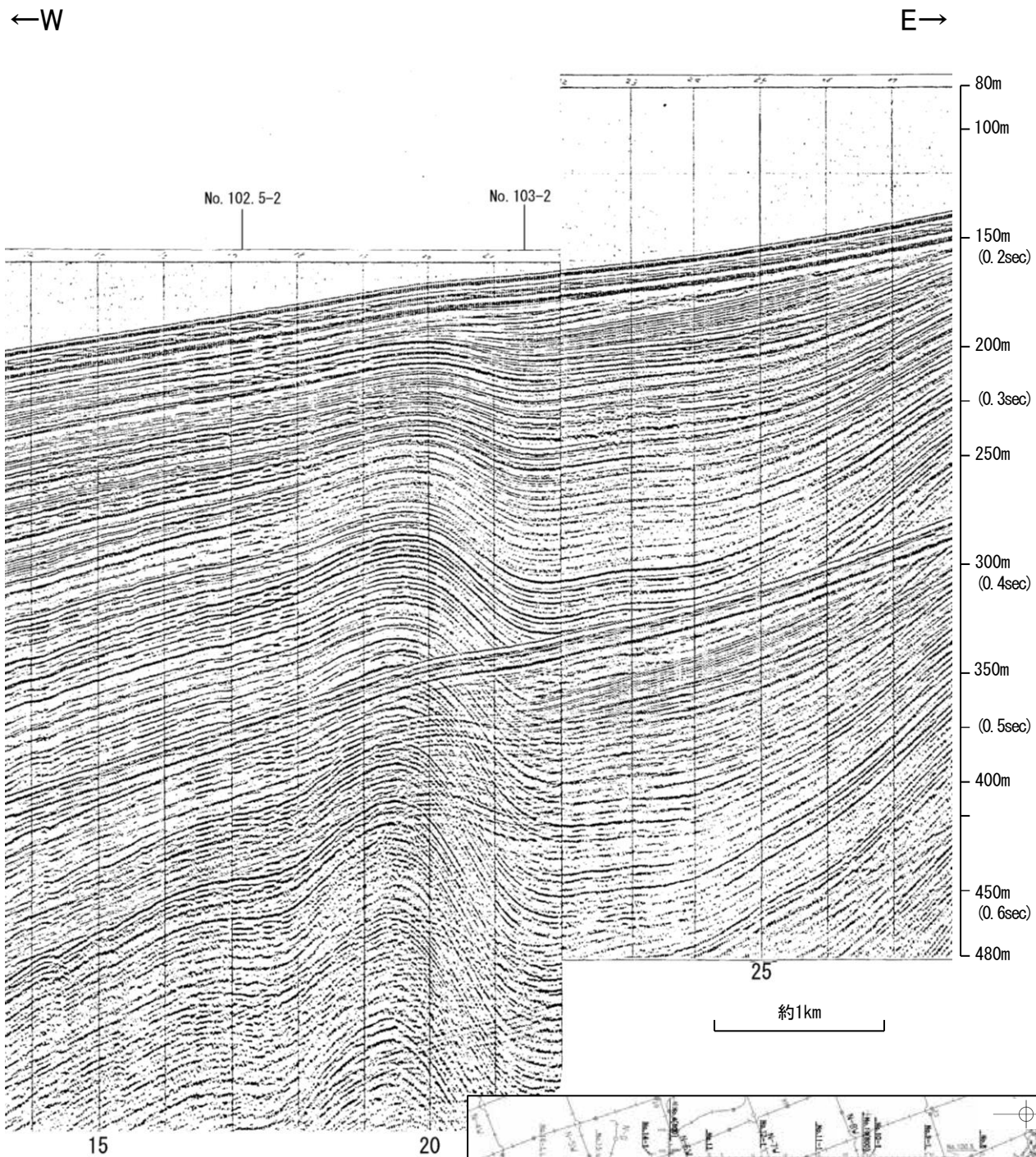


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	A層
	後期	B層
	中期	B層
	前期	B層
第三紀	C層	C層
	D層	D層
古第三紀	D層	D層
先第三紀	D層	D層

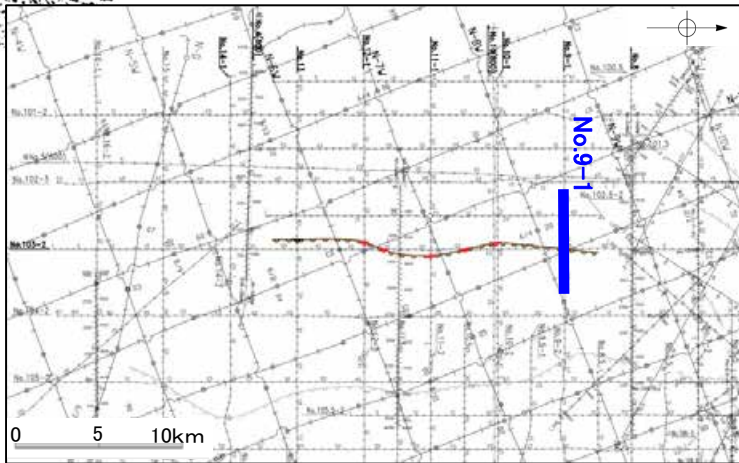
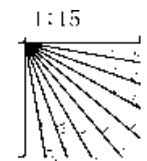
CO. 159 N-116 88/07/02
 CO. 163 N-116 88/07/02
 CO. 184M 88/07/02
 1:19

・この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

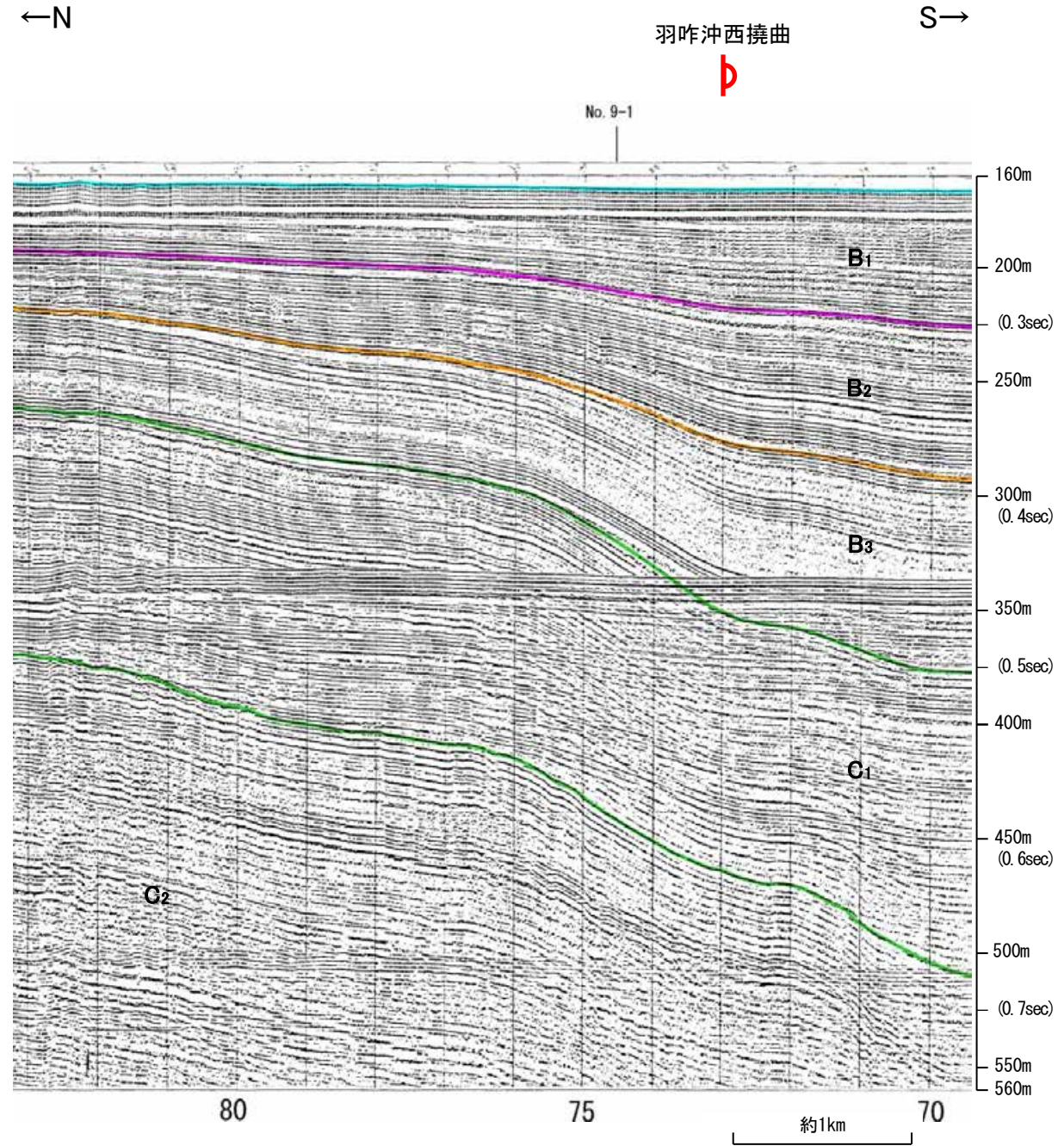
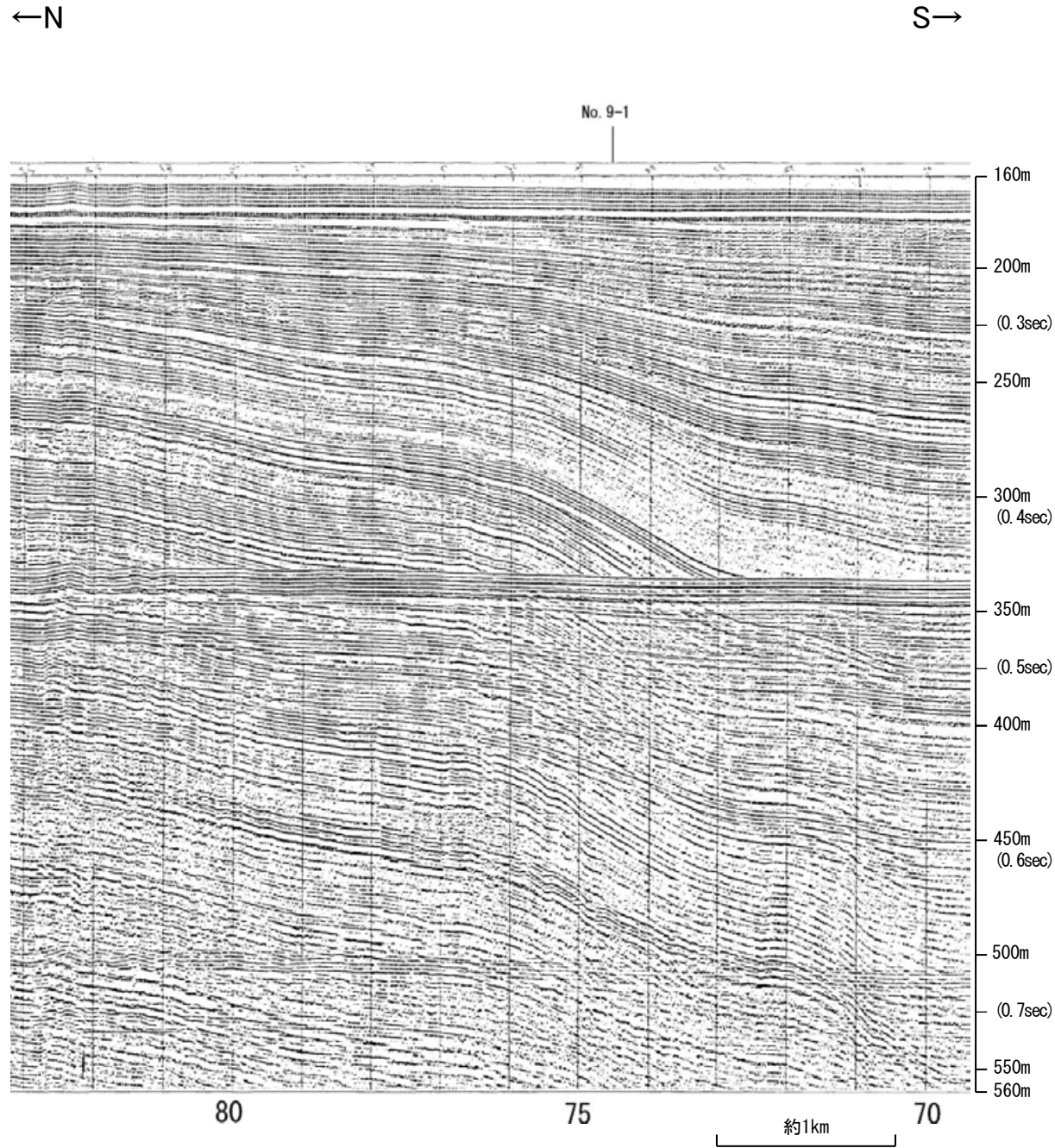
北陸電カスパーカー No.9-1



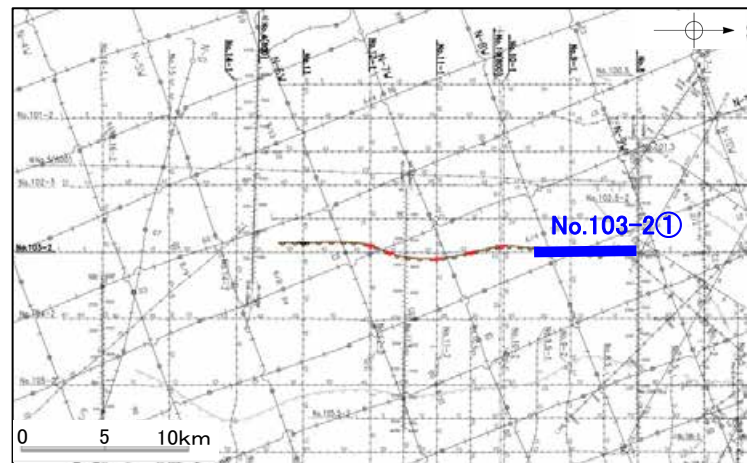
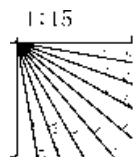
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	更新世	後期 B ₁ 層
		中期 B ₂ 層
		前期 B ₃ 層
	鮮新世	C ₁ 層
C ₂ 層		
中新世	D ₁ 層	
古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀	D ₃ 層	



北陸電カスパーカー No.103-2①



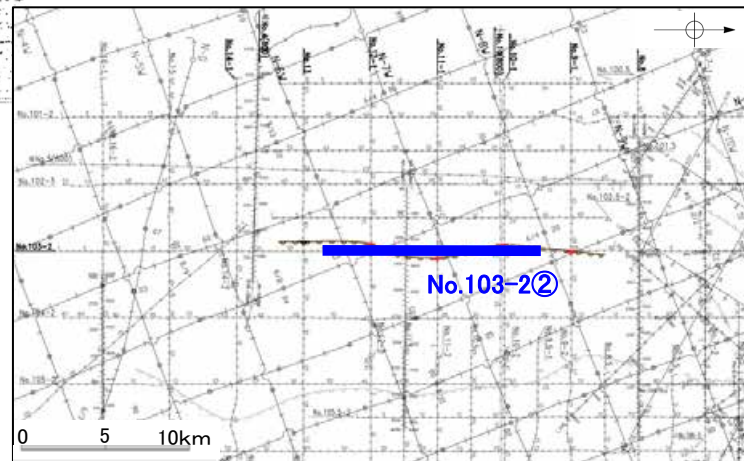
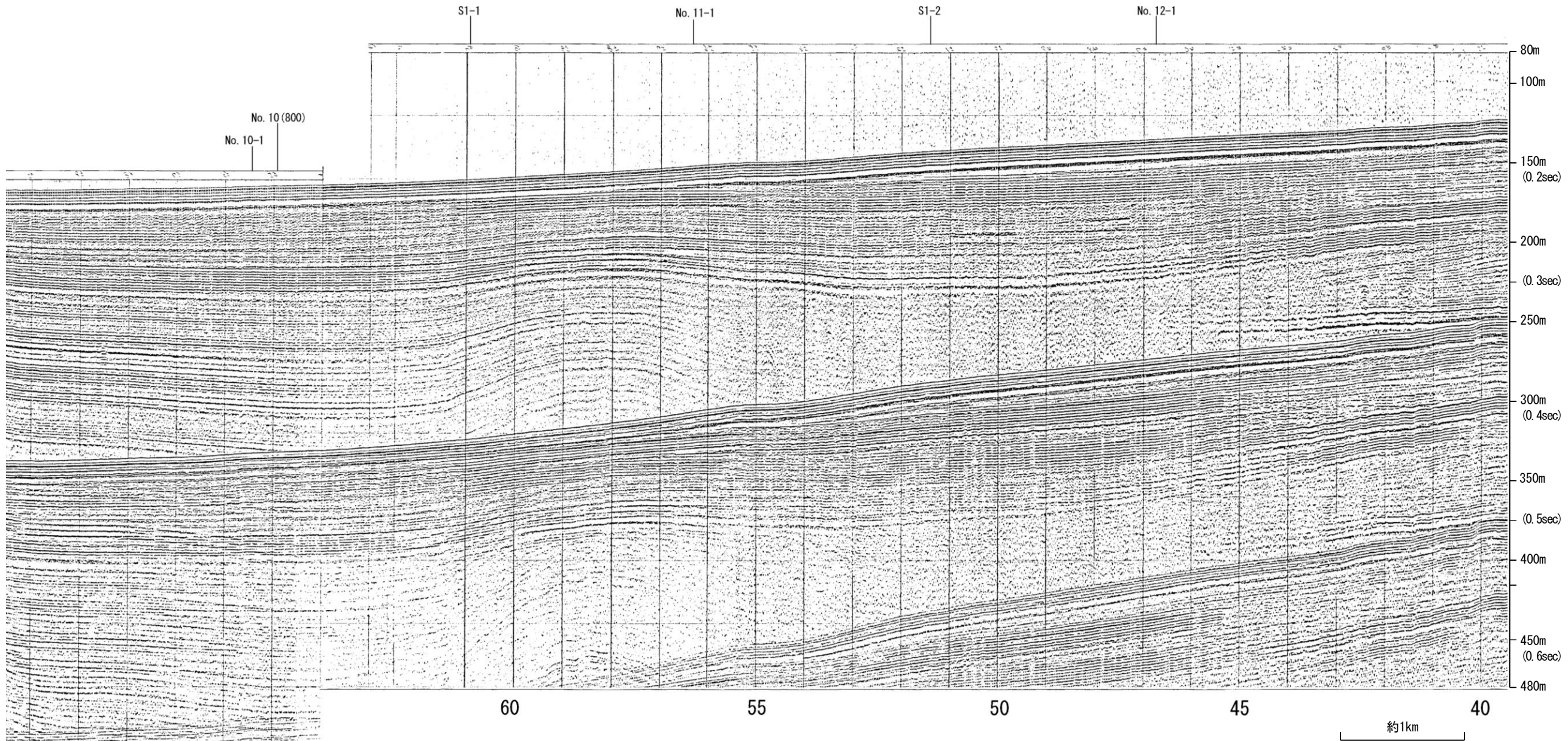
地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
C ₂ 層		
鮮新世	D ₁ 層	
	D ₂ 層	
中新世	D層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	



北陸電カスパーカー No.103-2②

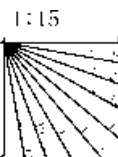
←N

S→



地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B層
		B ₂ 層
	前期	C層
第三紀	鮮新世	C ₁ 層
中新世	D層	
	D ₁ 層	
古第三紀	D層	
先第三紀	D層	

65

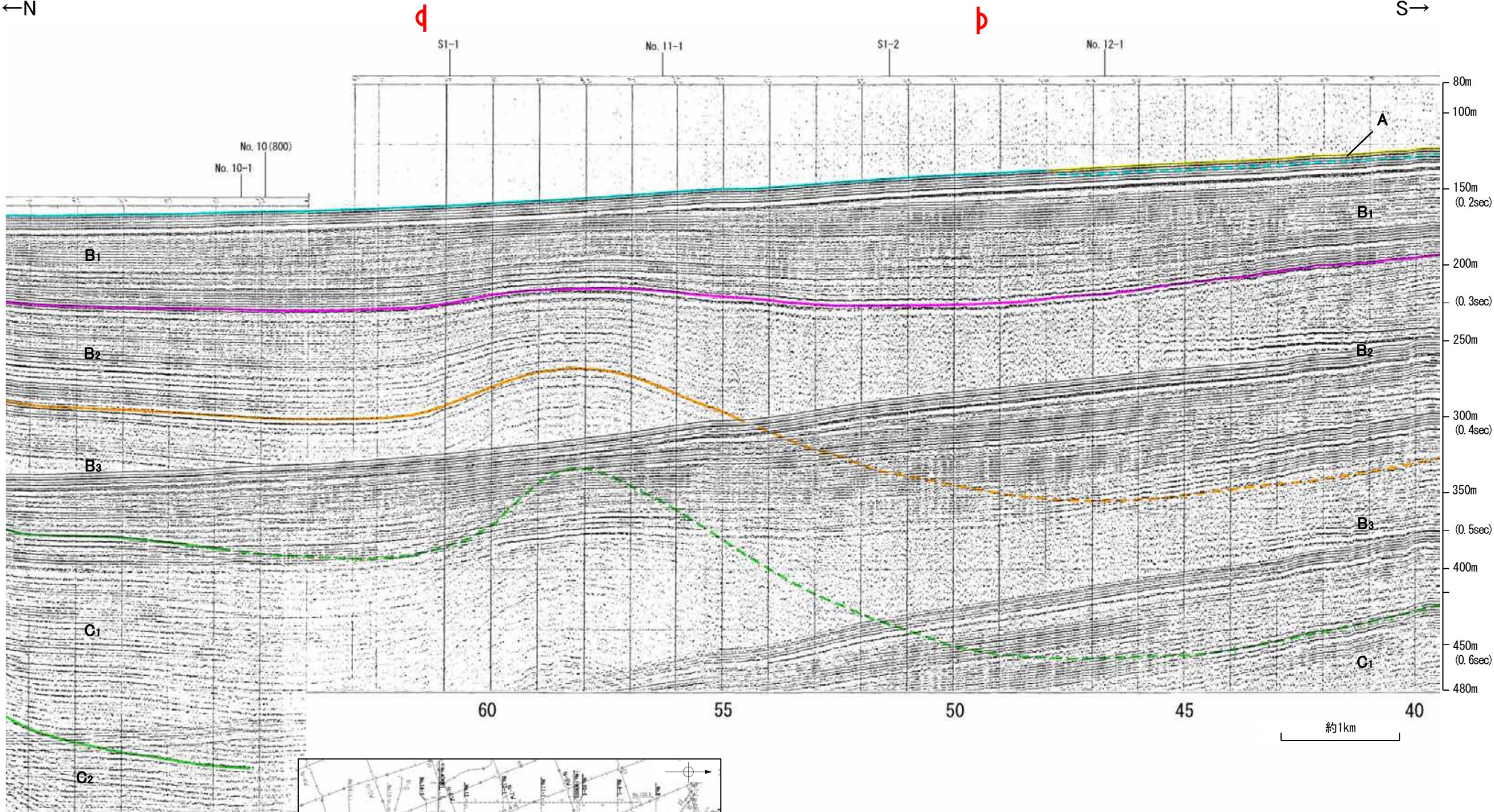


北陸電カスパーカー No.103-2②

羽 咋 沖 西 撓 曲

←N

S→



地質時代		地層名
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
	前期	C ₁ 層
C ₂ 層		
第三紀	鮮新世	D ₁ 層
	中新世	D ₂ 層
古第三紀		D ₃ 層
先第三紀		D ₄ 層

